



2025年度 科目登録の手引き

2025 年度 学部暦

学期	行事等	年月日
春学期	入学式	4月1日(火)
	授業開始(セメスター・春クォーター科目)	4月12日(土)
	授業終了(春クォーター科目)	6月3日(火)
	授業開始(夏クォーター科目)	6月4日(水)
	授業終了(セメスター・夏クォーター科目)	7月22日(火)
	授業予備期間	7月23日(水)～29日(火)
	夏季休業期間	7月30日(水)～9月20日(土)
	9月卒業式	9月20日(土)
秋学期	9月入学式	9月21日(日)
	授業開始(セメスター・秋クォーター科目)	10月2日(木)
	授業終了(秋クォーター科目)	11月22日(土)
	授業開始(冬クォーター科目)	11月24日(月)
	冬季休業期間	12月23日(火)～1月5日(月)
	授業終了(セメスター・冬クォーター科目)	1月27日(火) ※木曜日の科目のみ1月29日(木)実施(備考3) 参照
	授業予備期間	1月28日(水)～2月3日(火)
	春季休業期間	2月4日(水)～3月31日(火)
	卒業式	3月25日(水)～3月26日(木)

《備考》 1.授業を実施する祝日：4/29(火)昭和の日、7/21(月)海の日、10/13(月)スポーツの日、

10/21(火)創立記念日、11/3(月)文化の日、

11/24(月)勤労感謝の日の振替休日

2.臨時の休業日(授業無し)：8/7(木)、8/8(金)、10/30(木)、10/31(金)、12/26(金)、1/6(火)

3.文学研究科修士論文口述試験(授業無し)：2026/1/22(木)

※他学部・他研究科では授業が実施されます。

※代替として2026/1/29(木)に授業実施

4.オープンキャンパス：8/2(土)・8/3(日)

5.夏季一斉休業期間(事務所閉室)：8/12(火)～8/15(金)

6.早稲田祭(授業無し)：11/1(土)・11/2(日)

7.年末年始一斉休業期間(事務所閉室)：12/29(月)～2026/1/5(月)

8.授業予備期間は、定期試験や補講などに使われる場合があります。



他箇所設置科目については、当該科目設置箇所の日程に従ってください。

授業時間割

時限	時間		
1時限	8:50	—	10:30
2時限	10:40	—	12:20
昼休み	12:20	—	13:10
3時限	13:10	—	14:50
4時限	15:05	—	16:45
5時限	17:00	—	18:40
6時限	18:55	—	20:35

科目登録のお役立ち情報	P.1
2025 年度からの大きな変更点	P.1
科目登録でよくある質問	P.1
Support Anywhere	P.3
Learn Anywhere	P.4
Web 科目登録に関するお問い合わせ	P.4
第 1 章 科目登録をはじめるにあたって	P.5
1-1. 全体の流れを確認しよう	P.5
1-2. 新入生の科目登録	P.7
1-3. 留学生の科目登録	P.8
1-4. 延長生の科目登録	P.9
1-5. 未進級者の科目登録	P.9
1-6. 転部者の科目登録	P.9
第 2 章 卒業・進級要件	P.10
2-1. 卒業までの履修のイメージ (2020 年度以降入学者)	P.10
2-2. 副専攻制度 (任意)	P.10
2-3. 進級要件	P.11
2-4. 卒業要件	P.12
第 3 章 科目登録の日程	P.14
3-1. 登録機会ごとの申請可能科目	P.14
3-2. 論系ガイダンス (2 年生以上)	P.16
3-3. 春学期の科目登録	P.17
3-4. 秋学期の科目登録	P.18
3-5. 大学院文学研究科設置科目の登録方法 (先取り履修)	P.19
第 4 章 科目登録のルール	P.20
4-1. 単位の算入 / 非算入	P.20
4-2. 登録制限単位数	P.20
4-3. 授業方法区分とオンライン授業の算入制限	P.23
4-4. 履修上のルール	P.24
4-5. 登録時のエラー	P.25
第 5 章 科目の構成と種別	P.26
5-1. 科目の構成	P.26
5-2. 科目とクラス	P.26
5-3. 科目の種別	P.27
5-3-1. 文化構想学部設置科目 (文学研究科設置科目含む)	
5-3-2. 他箇所設置科目	
第 6 章 それでは科目登録をはじめよう	P.33
6-1. 自動登録結果を確認する	P.33
6-2. 科目を選ぶ	P.33
6-3. 科目登録する	P.34
6-4. 代理人登録について	P.35
6-5. 登録結果を確認する	P.35
6-6. 聴講料・実験実習料納入	P.36
資料編	P.37
資料 1. Web 科目登録画面操作手順	P.37
資料 2. 用語集	P.47
資料 3. 選外者多数発生科目 (50 名以上)	P.49
資料 4. Q&A	P.50
資料 5. 教職課程に関連する科目の「科目群」について	P.54
付録	
付録 1 教育職員免許状 (2018 年度以前入学者)	※文化構想学部・文学部共通 … (1)
付録 2 教育職員免許状 (2019 年度～2021 年度入学者)	※文化構想学部・文学部共通 … (27)
付録 3 教育職員免許状 (2022 年度以降入学者)	※文化構想学部・文学部共通 … (43)
付録 4 その他資格	※文化構想学部・文学部共通 … (59)

※Global Studies in Japanese Cultures Program (国際日本文化論プログラム JCulP) 所属の学生は、別途配付する JCulP 生用の科目登録の手引きをご覧ください。

科目登録のお役立ち情報

2025 年度からの大きな変更点

「Web 履修申請デیلیー情報通知メール」を廃止します。

従来は Web 科目登録申請翌日に「申請内容」が送付されていましたが、その運用を廃止します。申請状況は、都度、Web 科目登録画面から確認してください。

科目登録でよくある質問

Q. 科目登録できる単位数に制限はありますか？

A. 卒業必要単位として登録する場合には、年間、各学期、科目種別毎に登録できる単位に制限が設けられています。また、**履修学年ごとに登録制限単位数が異なります**ので、[P.20](#) をよく確認してください。



登録制限単位数は「修得」単位数ではなく、「登録」単位数です。春学期に不合格となった科目も登録単位数としてカウントされます。[P.21](#) の「登録制限単位数の考え方」を確認してください。

Q. 科目の取消はできますか？

A. 自学部のブリッジ科目（講義、選択英語、選択外国語）、選択基礎演習、自由科目および他箇所設置科目（一部科目を除く）については、**3 次登録期間中のみ** Web から取消することができます。どの科目が取消できるか等の詳細は [P.14-15](#) を確認してください。  Web での操作方法 P.41



【2 年生以上要確認】**専門演習**は、クラス数に十分な余裕がなく、多くの選外が発生するため、一律取消ができないルールとなっています。そのため、0 次登録を含めて登録する機会を 4 回設けています。

Q. 科目区分を変更するためには、どのタイミングで行えばよいですか？

A. 科目区分を選択できる科目は、**Web 科目登録システムで科目を検索して追加する時**または **3 次登録期間中**に科目区分を変更できます。  Web での操作方法 P.43
また、こういった種類の科目が科目区分を変更できるかは [P.14~15](#) や [P.20](#) をご確認ください。



科目区分を選択できる科目は、Web 科目登録画面上での**初期設定が「非算入」**（卒業所定単位数に算入しない）となっていますので、卒業単位に算入したい場合には **Web 科目登録時**または **3 次登録期間中**に科目区分を「算入」へ必ず変更してください。



グローバル・エデュケーション・センターの**保健体育科目**はスポーツ理論、スポーツ実習ともに「**他箇所設置科目(非算入)**」です。卒業単位には算入できませんので、ご注意ください。

Q. 履修したことのない科目を申請しているのに、「既得済・登録済エラー」が表示されてしまいます。

A. 過去に単位を修得した科目の**名称が変更となっている**可能性があります。科目名称が変更される前の科目の単位を修得済の場合、科目登録することができません。科目名称の変更一覧表は、学部ホームページから確認できます。

[文化構想学部ホームページ](#) > [在学生の方へ](#) > [科目登録](#) > [科目名変更一覧](#)

A. 単位修得済 or 登録済の科目と**クラスが異なる同一科目**を申請している可能性があります。クラス表記の見方について、[P.26](#) に詳細が記載されているので、確認してください。

＜クラスが異なる同一科目の例＞ ※○○は同じものが入る

「○○原論 A」と「○○原論 B」、「Academic Skills (○○) Us A」と「Academic Skills (○○) Us B」など

Q. 全学オープン科目と他学部提供科目の違いはなんですか？

A. 「全学オープン科目」は、1 次登録から他学部生に開放されている科目です。一方で「他学部提供科目」は、2 次登録が終わった時点で定員に余裕のある場合のみ 3 次登録で他学部生に開放される科目です。

Q. 聴講料・実験実習料の納入案内メールが届きません。

A. 納入案内メールや納入手順案内メール（納入方法選択後に送信）が、[迷惑メール]フォルダに入ってしまうことがあるため、メールが見つからない場合は、検索ボックスに【検索キーワード：[fee-payment]】を入力し、[迷惑メール]や[ゴミ箱]も含めて検索してみてください。それでもメールが見つからない場合は、下記までお問い合わせください。

＜納入方法に関する問い合わせ＞

fee-payment@list.waseda.jp（早稲田大学教務部教育企画課）

※お問い合わせの際は、Waseda メールアドレスを使用し、学籍番号・氏名・所属学部・携帯電話番号を明記すること

※お問い合わせ対応時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00（土日除く）



「図書館司書」と「学校図書館司書教諭」の資格取得にあたって履修が必要な、図書館司書および学校図書館司書教諭関連科目の聴講料については、**一度納入すれば、在学中有効**ですので、追加で納入する必要はありません。
※納入の要否に関わらず、Web 科目登録画面上の備考欄には「¥（要聴講料等）」が表示されてしまいます。
前学期までに図書館司書課程聴講料を納入済の場合は、放念ください。



聴講料・実験実習料納入期間は 2 回タイミングがあります。1 回目はグローバル・エデュケーション・センター設置科目「Tutorial English」の 1 次登録決定科目のみの納入期間です。「Tutorial English」以外の科目の聴講料・実験実習料は 2 回目の期間で納入してください。📄 [P.17～18](#)

Q. 3 次登録で申請する予定の科目への出席はどうしたらいいですか？

A. 申請予定・申請中の対面授業の科目には、**登録決定前であっても初回授業から登録（決定）見込みとして出席してください。**その際、必要に応じて担当教員に今後申請予定・申請中である旨を伝えてください。オンライン授業の場合は、3 次登録で申請する科目は、各登録最終日の翌日から Waseda Moodle にゲストとして仮登録されるので、授業に参加してください。（申請の結果、不可・選外となった科目はゲスト登録が解除され Waseda Moodle に表示されなくなります。）

Q. 科目登録できなかった科目を聴講することはできますか？

A. 全学的に正式な科目登録をせずに**授業を聴講することは、一切認められていません。**そのため、聴講の希望や個人的な Waseda Moodle へのゲスト登録に関して、事務所にご相談いただいても、教員にお繋ぎすることはできません。

Q. Web 科目登録システムで教職課程の関連科目を検索するときに「科目群」に何を選択してよいか分かりません。

A. 『資料 5.教職課程に関連する科目の「科目群」について』📄 [P.54](#) を確認してください。

Q. 授業の教室はどのタイミングで公開されますか？

A. 教室は授業開始日以降に Web 科目登録画面・Web シラバスで発表されます。

Support Anywhere サポエニ



Support Anywhere（サポエニ）は、早稲田大学の学生のみなさんの疑問や不安を
いつでも（Anytime）どこでも（Anywhere） 解決するために開設された
在学生向けお役立ち Web サイトです。

例えば科目登録については以下のような情報が掲載されています！

科目登録で注意しなければいけないことは何？

Web 科目登録はどうやってやるの？

科目登録でわからないことはどこに問い合わせればいいのか？

全学オープン科目って何？ 他学部提供科目と何が違うの？

科目登録でエラーが出たのはどうして？

資格や副専攻について知りたい！

Etc…

※ 学部・研究科・センターのカリキュラムや科目に関する情報は該当する学部・研究科・センターから配付される科目登録
関連書類（学部要項・科目登録の手引き・学科目配当表など）を十分確認してください。

その他にも、

#証明書発行 #学費・奨学金 #教員免許状 #成績 #施設利用 #学生生活

など豊富な学内情報をひとまとめに掲載しています。



分からないことや知りたいことがあれば、辞書で調べるような感覚でまずは Support Anywhere
（サポエニ）を使ってください。

そして、それでも問題が解決できない場合は、窓口にお問い合わせください。

ブックマークに登録を！

➤ URL: <https://wnpspt.waseda.jp/student/supportanywhere/>

Learn Anywhere

早稲田大学のオンライン授業を受講するために必要な準備や、参考になる情報を掲載しているお役立ちサイトです。オンライン授業に関する内容は Learn Anywhere で確認してください。日々変わる状況に応じて、適宜内容を更新していますので、折に触れ本サイトを訪れてみてください。

URL: <https://wnpspt.waseda.jp/student/learnanywhere/>

※閲覧 ID・パスワードは、MyWaseda ログイン時のユーザ ID、パスワードと同じです。



Web 科目登録に関するお問い合わせ

Web 科目登録に関する質問は、下記のお問合せフォームからしてください。ただし、疑問点の多くは、「科目登録の手引き」を確認すれば、解決することが大半です。まずは、本手引きを熟読することを心がけてください。

※24 時間利用可能です。（科目登録期間中のお問い合わせは余裕をもって申請してください。お問い合わせ時間や内容によっては、回答が翌日以降になり、科目登録期間内に回答できない場合がありますのでご注意ください。）

● Web 科目登録に関するお問い合わせ

[MyWaseda ログイン画面](#) > 左下の緑のボタン（成績照会・科目登録専用） > お問合せフォーム

成績照会・科目登録専用メニュー

《成績照会・科目登録専用メニュー》

- ▶ [科目登録](#)
- ▶ [成績照会](#)
- ▶ [Waseda-netメール](#)

※学部等によって締め切り日時が異なります。[科目登録関連情報](#)にてご確認ください。

■ ガイド

科目登録日程(締切日時)や利用方法を確認したい

曜日・時限などが講義要項と異なる(変更情報)

よくある質問を確認したい

その他、Web科目登録について質問したい

科目登録関連情報

Web科目登録対応履歴

FAQ

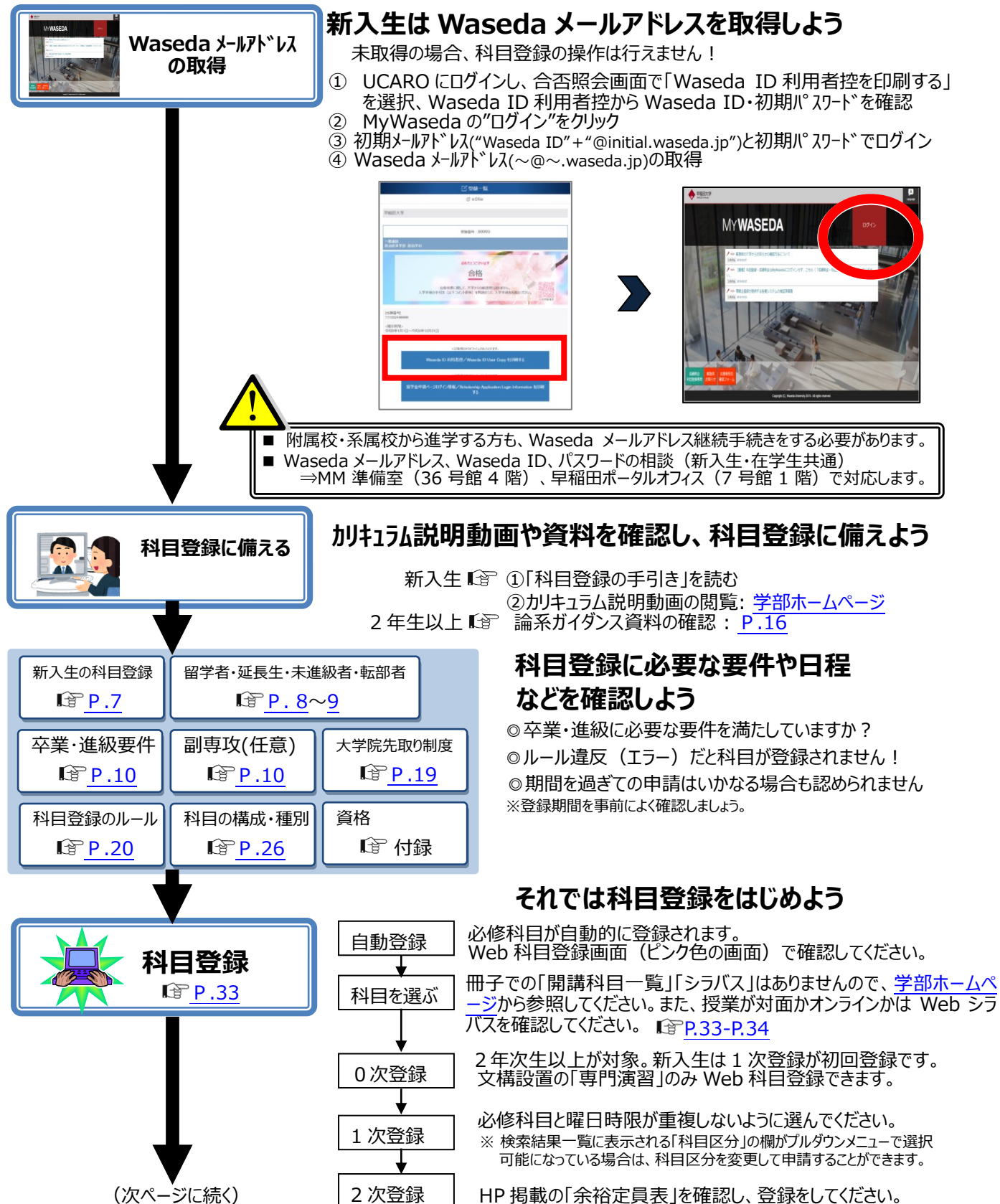
お問い合わせフォーム

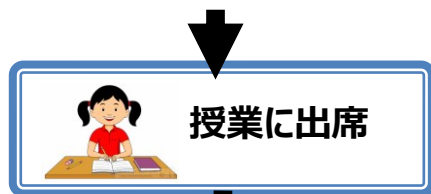
[Waseda-netポータルログイン画面へ戻る](#)

1

科目登録をはじめるにあたって

1-1. 全体の流れを確認しよう

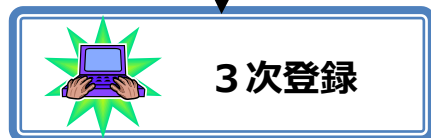




授業に出席

授業に出席する

教室は授業開始日に Web 科目登録画面・Web シラバスで発表されます。
3 次登録予定の科目については、登録（決定）見込みで出席してください。



3 次登録

必要に応じて 3 次登録も

3 次登録

科目区分の変更

科目取消

HP 掲載の「余裕定員表」を確認し、登録をしてください。

3 次登録では、これまで登録したブリッジ科目等の取消や、他箇所設置科目等の科目区分変更も可能！

※全ての科目が「変更・取消」の対象ではありません。

取消・変更の対象科目 [P.14-15](#)

※対象科目が Web 科目登録画面上から変更できない場合は、3 次登録期間終了前までに文学学術院事務所まで申し出てください。期間外での「科目区分変更」や「取消」は、いかなる理由があっても認められません。

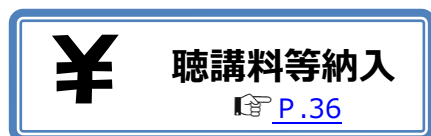


Q. 保健体育の科目区分が変更できない

A. 保健体育科目はスポーツ理論、スポーツ実習ともに「他箇所設置科目（非算入）」です。卒業単位には算入できませんので、ご注意ください。

Q. 取消できない科目がある

A. 取消できる科目は自学部のブリッジ科目（講義、選択英語、選択外国語）、選択基礎演習、自由科目および他箇所設置科目（一部科目を除く）です。どういった科目が取消できるか等の詳細は [P.14-15](#) を確認してください。



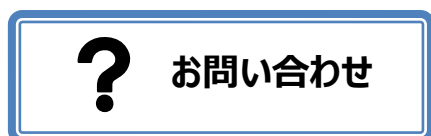
聴講料等納入

[P.36](#)

聴講料・実験実習料を納入

聴講料・実験実習料の必要な科目（Tutorial English、体育、教職課程など）が登録決定となったら、聴講料・実験実習料を納入してください。

納入を忘れると、当該科目が取り消しになってしまいます！

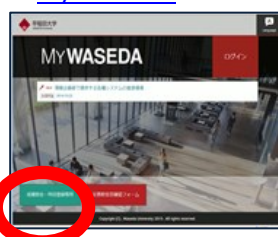


? お問い合わせ



Web 科目登録に関する問い合わせ

[MyWaseda](#) > 緑のボタン > お問い合わせフォーム



緑の ⇒
ボタン



※24 時間受け付けますが、内容によっては、回答が翌日以降になることがあります。

■ 申請する科目や登録方法に関する問い合わせ・相談

文学学術院事務所 (〒162-8644 東京都新宿区戸山 1-24-1)	
窓口 (34 号館 1 階)	事務所開室：月～金 10:00～16:00 電話受付：月～金 9:00～17:00 土曜日、日曜日、祝日(授業実施日を除く):閉室
お問い合わせ メールフォーム	※春季・夏季・冬季の休業期間中は開室・受付時間が異なります。 文化構想学部ホームページ > お問い合わせ > お問い合わせフォーム

1-2. 新入生の科目登録

文化構想学部では、ほとんどの科目が2単位です。新入生の1年生の自動登録科目、選択履修科目、制限単位数などは以下のとおりです。選択履修の可能な範囲で選んでみてください。

	春 学 期	秋 学 期
1年生の 学期上限	22 単位までが上限 ※1※2	22 単位までが上限 ※1※2
自動登録	・必修基礎演習(2 単位) ・基礎講義 (2 単位) ・基礎外国語 (2 単位) × 4 科目 ※3 ・必修英語 (2 単位) 合計 14 単位	・基礎外国語(2 単位) × 4 科目 ※3 ・必修英語 (2 単位) 合計 10 単位
選択履修	22 - 14 = 8 単位まで選択履修可能 ※1 ブリッジ科目(講義・選択英語・選択外国語)、 全学オープン科目などから選択	22 - 10 = 12 単位まで選択履修可能 ※1 ブリッジ科目(講義・選択英語・選択外国語)、 選択基礎演習、全学オープン科目などから選択
1年生の 年間制限	【要注意】春学期 + 秋学期 = 42 単位までが上限 ※1※2 例) 春学期 22 単位 + 秋学期 20 単位 = 42 単位	

※1：卒業単位に含まれない「自由科目」「他箇所科目(非算入)」「資格関連科目」は登録制限単位数、進級所定単位数、GPAにカウントされません。

※2：2年生以上になると制限単位数が変わりますのでご注意ください。

※3：「日本語」(外国人留学生が選択可)は自動登録されませんので、1次登録～3次登録で登録してください。

外国人留学生の方は要注意

■ 春学期の科目登録の例

ブリッジ科目(講義・選択英語・選択外国語)や他箇所科目などから選んでみよう。

	月	火	水	木	金	土
1 時限		1 年独語イ 自動登録		必修 English 自動登録		
2 時限		【他箇所科目(算入)】 ビジネス入門		【他箇所科目(非算入)】 バドミントン	1 年独語ハ 自動登録	
3 時限	【ブリッジ科目】 講義		1 年独語ロ 自動登録		必修基礎演習 自動登録	
4 時限	1 年独語ニ 自動登録		【ブリッジ科目】 選択英語		【ブリッジ科目】 講義	
5 時限						

上記のほか、フルオンデマンド

基礎講義

自動登録

注) 卒業単位に含まれない「自由科目」「他箇所科目(非算入)」「資格関連科目」は登録制限単位数、進級所定単位数、GPAにカウントされません。

自動登録

14 単位

(7 科目 × 各 2 単位)

ブリッジ科目

6 単位

(3 科目 × 各 2 単位)

他箇所科目(算入)

2 単位

(1 科目 × 2 単位)

他箇所科目(非算入)

制限単位数に
含まれない

= "22 単位"



新入生からよくある「科目登録」や「学生生活」に関する質問を Q&A で
まとめているので、科目登録をする前に、確認することをオススメします！



P.50~53

1-3. 留学者の科目登録

■ 科目登録について

留学期間が 2025 年度秋学期－2026 年度春学期の場合、通年科目については、原則として出発年度の春学期と帰国年度の秋学期を併せて履修することによって、単位を修得することができます。その場合、「履修保留／継続履修」制度の申請をする必要がありますので、留学出発前に必ず学部ホームページをご確認ください。ただし、科目内容・担当教員変更・科目廃止等の理由から「履修保留／継続履修」対象外となる場合があります。履修保留を行う前に、文学学院事務所にて対象外科目を確認してください。

 [文化構想学部ホームページ](#) > [在学生の方へ](#) > [科目登録](#) > [年度途中で留学する場合の科目の取扱い](#)

科目配当学期	科目登録学期	試験受験学期	成績付与学期	継続履修
春学期	2025 年度春学期	2025 年度春学期	2025 年度春学期	×
秋学期	2025 年度秋学期	2025 年度秋学期	2025 年度秋学期	×
通年	2025 年度春学期	2025 年度春学期 2026 年度秋学期	2026 年度秋学期	○
夏季集中	2025 年度春学期	2025 年度夏季	2025 年度夏季	×

■ 通年配当科目について

- ・留学によって 2025 年度春学期に試験を受験できない場合は担当教員まで申し出てください。
- ・グローバル・エデュケーション・センター設置の協定他大学提供科目は継続履修できません。
- ・2026 年度に廃止となった科目は継続履修できません。

■ 春学期配当科目について

- ・留学によって試験を受験できない場合は担当教員まで申し出てください。

■ 夏季集中配当科目について

- ・留学出発年度に登録した科目で、留学によって授業を履修できない場合は登録を放棄することになります。
- ※ 論系ゼミについては文学学院事務所まで相談してください。

■ クォーター留学について

夏クォーターまたは冬クォーターに、海外大学のサマースクール等に参加するために授業期間の途中で留学に行く場合、登録決定となった対象の春学期・秋学期および通年科目について、履修を保留し（「履修保留」）、翌学期または翌年度に開講される同一科目を継続して履修する（「継続履修」）ことができます。履修保留・継続履修については、それぞれ所定の期間に手続きを行う必要があります。詳しくは学部ホームページを参照してください。

 [文化構想学部ホームページ](#) > [在学生の方へ](#) > [科目登録](#) > [年度途中で留学する場合の科目の取扱い](#)

■ 単位認定について

1 年または半期留学については、留学期間中に留学先の大学等において修得した単位のうち、教務主任の書類審査や面接等の結果に基づき教授会が適当と認めたものに限り、36 単位を超えない範囲で、卒業に必要な単位として認定します。ただし、認定単位と他箇所設置科目の卒業所定単位数の合算の上限は 60 単位までです。留学先で履修したい科目がある場合は、事前に所属する論系に、どの科目として認定できるかを確認した上で、出発してください。

在学中認定制限単位数 (A)	他箇所設置科目 在学中修得制限単位数 (B)	(A) + (B) 制限単位数
36 単位	36 単位	60 単位

※ 単位認定申請方法・必要書類等の詳細は出発前に実施される留学説明会（学部主催）にて案内します。また申請書等の書式は学部ホームページからもダウンロードが可能です。

※ 短期・クォーター留学についても、単位認定が認められることがあります。詳細は学部ホームページをご確認ください。

※ 留学期間中の単位に関しては、自動的には算入されません。申請を希望する場合は、必ず指定された期間に申請してください。

※ 学士入学者の単位認定に関しては、別途定められています。詳細は文学学院事務所からの案内を参照してください。

■ 復学手続について

留学後の復学手続方法は、復学予定日 1 か月前までに学生本人の Waseda メールアドレス宛にお知らせします。

■ 帰国後登録について

帰国後登録とは、留学（主として長期留学）から帰国した学期に復学までの時間を利用して、夏クォーター／冬クォーターに開講する科目や夏季／春季休業期間中の集中科目を新たに登録し、履修することができる制度です。帰国後登録については、それぞれ所定の期間に手続を行う必要があります。詳しくは学部ホームページを参照してください。

 [文化構想学部ホームページ](#) > [在学生の方へ](#) > [科目登録](#) > [帰国後登録](#)

■ 留学出発者の登録科目について

2025 年度春学期または秋学期に学籍状態が「留学」となった場合、期間中の登録科目は取消となります。ただし、処理の関係上、春学期は 6 月、秋学期は 12 月以降の取消となる場合があるので、それまでは Web 科目登録画面及び Waseda Moodle 上で記載されます。そのため留学中に担当教員からアナウンスメント等が届く場合がありますが、放念ください。

1 - 4. 延長生の科目登録

■ 科目登録について

科目登録は在学生と同様の日程にて実施してください。

■ 学費について

授業料は前学期終了時点での卒業所定単位数の不足単位数をもとに算出されます。詳細は HP を参照してください。

 [文化構想学部ホームページ](#) > [在学生の方へ](#) > [学費・奨学金](#) > [延長生の学費](#)

1 - 5. 未進級者の科目登録

■ 科目登録について

- ・ 科目登録は在学生と同様の日程にて実施してください。
- ・ 履修学年は 1 年次です。2 年次以上配当の科目は登録できません。
- ・ 進級判定の基準となる G P A は、進級所定単位数に算入される科目（不合格科目も含む）のみで算出され、自由科目は含まれません。
- ・ 進級判定に使用する G P A には前年度までに不合格となった科目の単位は算入されませんが、合格となった科目の単位は算入されます。

■ 学費について

授業料は前学期終了時点での進級所定単位数の不足単位数をもとに算出されます。詳細は HP を参照してください。

 [文化構想学部ホームページ](#) > [在学生の方へ](#) > [学費・奨学金](#) > [未進級者の学費](#)

1 - 6. 転部者の科目登録

■ 科目登録について

- ・ 科目登録は在学生と同様の日程・方法にて実施してください（ただし、2 年生の春学期 0 次登録は MyWaseda 申請フォームから、2 年生の春学期 1 次登録は新入生 1 次登録期間に実施）。
- ・ 2 年生は、ガイダンスメールで科目登録の詳細を確認してください。
- ・ 今年度に「選択英語」・「選択外国語」として登録した科目を「必修英語」・「基礎外国語」に科目区分を変更する必要がある場合は原則、3 次登録期間中に文学学術院事務所の窓口で手続きをしてください。詳細は、転部時の文学学術院事務所からの案内を確認してください。

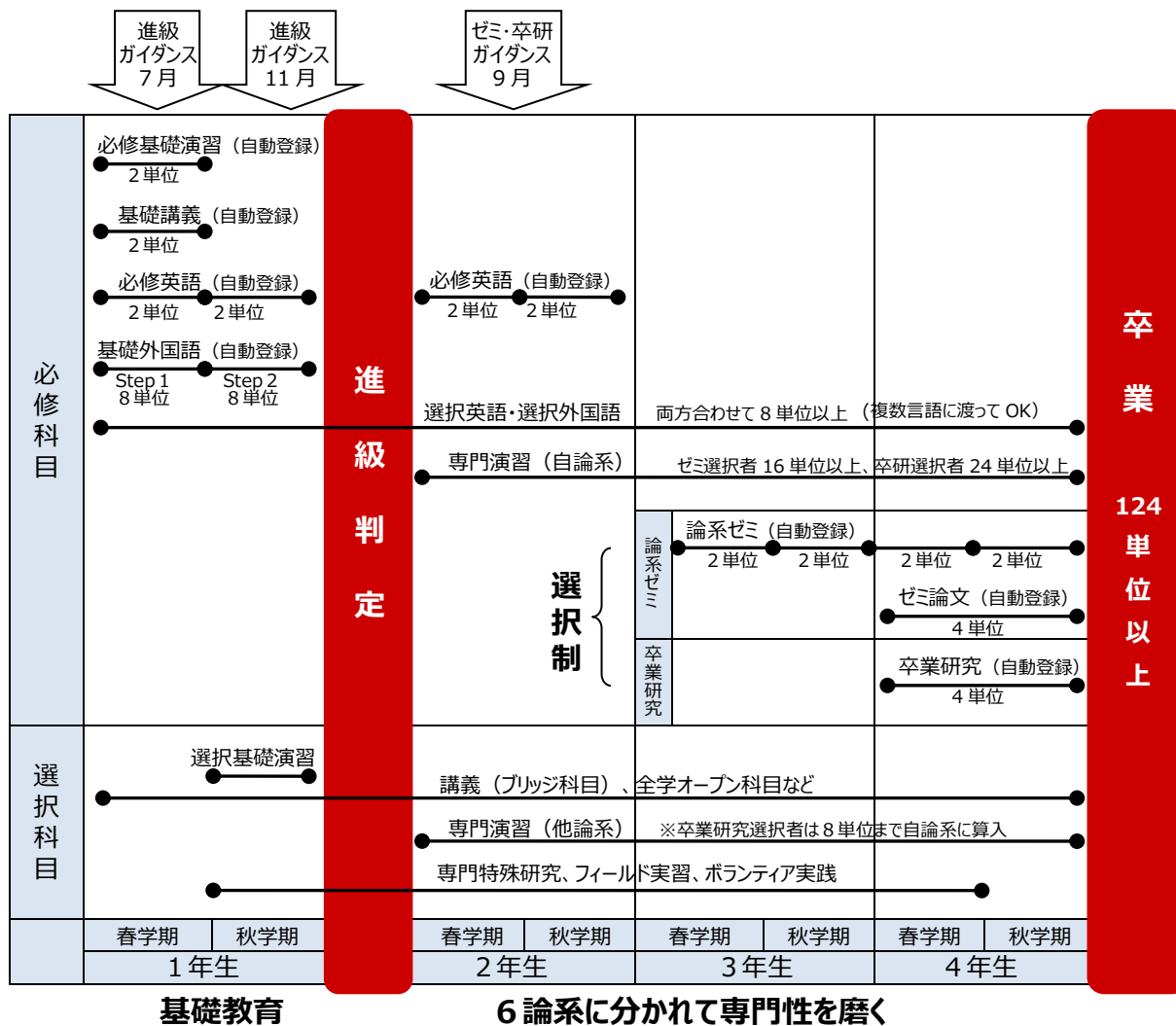
2

卒業・進級要件

2-1. 卒業までの履修のイメージ（2020年度以降入学者）

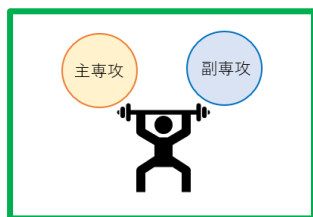
1・3制カリキュラム

1年次の基礎教育で論理的思考や言語能力といった基礎的スキルを習得。2年次から自分のコアテーマとなる論系を選択し、専門演習やゼミで専門性を磨いていきます。



2-2. 副専攻制度（任意）

詳細はホームページ掲載



文化構想学部・文学部副専攻は、所属の論系・コースにおいて主専攻となる専門領域を学びながら、その他の学問分野を体系的に学ぶことができる制度です。主専攻の補強となるだけでなく、新たな強みの獲得が可能になります。文化構想学部・文学部の枠を超えて興味がある学問分野を選び、積極的に履修してください。

文化構想学部・文学部副専攻の指定科目を必要単位数修得することにより、副専攻修了証明書等を発行することが出来ます。それにより、就職活動の際などにも、自分が学んできた学問の幅を知ってもらうことができます。

学部 HP
[> 在学生の方へ](#)
[> 副専攻](#)



2-3. 進級要件

2年生になるための進級要件は以下のとおりです。

科目種別	1 年次		進級に必要な 最低単位数
	春	秋	
必修基礎演習	2	－	2
選択基礎演習	－	○	0
基礎講義	2	－	2
必修英語	2	2	0
基礎外国語	Step1 8	Step2 8	4※1※2
選択英語	○		0
選択外国語	○		0
講義	○		0
進級所定単位数 28			

進級できないと
次年度まで待つ
ことに...



・必修だけでは28単位を満たさないため、○印欄の科目群から適宜選択して履修し、単位を満たしてください。

・認定科目は進級所定単位数に算入されません

・2025年度が1年次にあたる場合は、2026年2-3月に授業が実施される春季集中科目の修得単位は進級所定単位数には算入されません（卒業所定単位数には算入されます）。

※1. 基礎外国語4単位のうち、最低2単位はStep2を修得する必要があります。

※2. 日本語（外国人留学生が選択可）の場合はStep1、Step2の区別が無いため、4単位以上を「基礎外国語（日本語）」として単位を修得することで、基礎外国語の進級要件を満たすことになります。

コラム

文学学術院の第一・第二文学部に進級制度が導入されたのは1978(昭和53)年4月のことでした。それまで複数の専修（現論系・コース）をまとめて「類別」に行われてきた入試を一律にすることで入試選考の格差を是正するとともに、専門の学問を深めるには決して十分とはいえなかった専門教育課程を3年間に延長して、専門教育の充実化を図ることが目的でした（それまでは入学時に専修が決定するものの入学後の2年間は教養課程で学ぶこととなっていました）。以来40年間、1・3制は文化構想学部、文学部に引き継がれて、その特色を生かした教育プログラムが展開されています。では、どうすれば後悔しない論系・コース選びができるのでしょうか。先輩の声の一部を紹介します。

・基礎講義は進級先を選ぶうえでたいへん参考になりました。もともと入学したときには○○と決めていましたが、基礎講義で視聴したコンテンツで○○にも興味が湧き、秋学期にはその関連講義科目を受講して、進級先を決めました。

・必修基礎演習で、グループがたまたま題材に選択した論文がおもしろくて、その先生が所属しておられる○○に行きたくなり、いまは○○を深めてさらに関連のゼミに入りたいと思っています。

その他にも、必修基礎演習では、各論系・コースが選書した「テキスト100」を紹介し、秋学期には、専門教育課程の架け橋となる選択基礎演習も開講されています。

このように、論系・コース選びには、たくさんの機会が準備されています。ぜひ、それらの機会を活用して、後悔しない進級先選びを実現してください。

2-4. 卒業要件

■2020年度以降入学者

科目種別	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		修得制限 単位数	必修 単位数
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
必修基礎演習	2	－	－		－		－		2	2
選択基礎演習	－	○	－		－		－		2	0
基礎講義	2	－	－		－		－		2	2
必修英語	2	2	2	2	－		－		8	8
基礎外国語	Step1 8	Step2 8	－		－		－		16	16
選択英語	○		○		○		○		上限なし	8※1
選択外国語	○		○		○		○		上限なし	
講義	○		○		○		○		上限なし	
自由科目（講義算入可）	○		○		○		○		上限なし	
専門特殊研究	－	○	○		○		○		8	0
フィールド実習	－	○	○		○		○		8※3	0
ボランティア実践	－	○	○		○		○			0
論系ゼミを履修する場合										
専門演習（自論系）	－		○		○		○		上限なし	16
専門演習（他論系）	－		○		○		○		上限なし	0
論系ゼミ	－		－		2	2	2	2	8	8
ゼミ論文	－		－		－		4		4	4
卒業研究を履修する場合										
専門演習（自論系）	－		○		○		○		上限なし	24※2
専門演習（他論系）	－		○		○		○		上限なし	0※2
卒業研究	－		－		－		4		4	4
卒業所定単位数 124※4										

1
2
4
単位
超え
て
履
修
OK

- ・必修だけでは 124 単位を満たさないため、○印欄の科目群から適宜選択して履修し、単位を満たしてください。
- ・2 月中旬に卒業判定を行う関係で、登録した他箇所設置科目のうち、〔春季集中講座〕など 2 月以降に開講される科目や 2 月上旬までに授業を終了しない科目は、卒業判定対象科目から除きます。

※1. 選択英語・選択外国語は以下の事項を留意して履修してください。

- ◎ 選択英語のみで 8 単位修得することや選択外国語のみで 8 単位修得することも可能とする。
- ◎ 基礎外国語と異なる言語の選択を可能とする。
- ◎ 2 年生以上で基礎外国語と同一の言語を履修する場合には、中級レベル以上の履修を推奨する。
- ◎ 古典語（ギリシャ語・ラテン語・サンスクリット語・チベット語）は「講義」に含まれるため、選択外国語に算入されない。
- ◎ グローバル・エデュケーション・センター設置科目「Tutorial English」も算入を認める。
 - 「Tutorial English」の履修には実験実習料（1 単位につき 2 万数千円）の支払いが必要です。
 - 初期設定が「他箇所設置科目（非算入）」（卒業単位に算入しない）となっていますので、8 単位に算入したい場合は Web 科目登録時または 3 次登録期間中に科目区分を「選択英語」へ必ず変更してください。

※2. 卒業研究を履修する場合には、8 単位を上限として専門演習（他論系）を専門演習（自論系）の扱いとして卒業要件に算入することができます。自動的に処理が行われるため、事務所等への申請は不要です。

※3. 在学中に修得できるフィールド実習・ボランティア実践・インターンシップ（グローバル・エデュケーション・センター設置）は 8 単位までです。

※4. 卒業所定単位数 124 単位の内、最低 64 単位を対面授業で修得する必要があります。📄 P.23

■2007～2019 年度入学者

科目種別	1 年次		2 年次	3 年次		4 年次		修得制限 単位数	必修 単位数
	春	秋		春	秋	春	秋		
必修基礎演習	2	－	－	－		－		2	2
選択基礎演習	－	○	－	－		－		2	0
基礎講義	2	－	－	－		－		2	2
必修英語	2	2	－	－		－		4	4
基礎外国語	Step1 8	Step2 8	－	－		－		16	16
選択英語	○		○	○		○		上限なし	0
選択外国語	○		○	○		○		上限なし	0
講義	○		○	○		○		上限なし	0
自由科目（講義算入可）	○		○	○		○		上限なし	0
専門特殊研究	－	○	○	○		○	－	8	0
フィールド実習	－	○	○	○		○	－	8※2	0
ボランティア実践	－	○	○	○		○	－		0
論系ゼミを履修する場合									
専門演習（自論系）	－		○	○		○		上限なし	16
専門演習（他論系）	－		○	○		○		上限なし	0
論系ゼミ	－		－	2	2	2	2	8	8
ゼミ論文	－		－	－		4		4	4
卒業研究を履修する場合									
専門演習（自論系）	－		○	○		○		上限なし	24※1
専門演習（他論系）	－		○	○		○		上限なし	0※1
卒業研究	－		－	－		4		4	4
卒業所定単位数 124※3									

1
2
4
単位超えて履修OK

・必修だけでは 124 単位を満たさないため、○印欄の科目群から適宜選択して履修し、単位を満たしてください。

・2 月中旬に卒業判定を行う関係で、登録した他箇所設置科目のうち、〔春季集中講座〕など 2 月以降に開講される科目や 2 月上旬までに授業を終了しない科目は、卒業判定対象科目から除きます。

※1. 卒業研究を履修する場合には、8 単位を上限として専門演習（他論系）を専門演習（自論系）の扱いとして卒業要件に算入することができます。自動的に処理が行われるため、事務所等への申請は不要です。

※2. 在学中に修得できるフィールド実習・ボランティア実践・インターンシップ（グローバル・エデュケーション・センター設置）は 8 単位までです。

※3. 卒業所定単位数 124 単位の内、最低 64 単位を対面授業で修得する必要があります。📖 P.23

3

科目登録の日程

3-1. 登録機会ごとの申請可能科目

科目の取消は
3次登録期間のみ

		配当 年次	算入 区分	自動 登録 ※1	0次 登録	1次 登録	2次 登録	3次登録 ※2			備考
								登録	区分 変更	取消	
必修基礎演習		1年	算入	○	×	×	×	×	×	×	再履修の場合、翌学期に自動登録されます。
選択基礎演習		1年	算入	×	×	○	○	○	×	○	秋学期開講
基礎講義		1年	算入	○	×	×	×	×	×	×	再履修の場合、翌学期に自動登録されます。
必修 英語	2020年 以降入学者	1年, 2年	算入	○	×	×	×	×	×	×	再履修の場合、翌年度に自動登録されます。
	2019年 以前入学者	1年									
基礎外国語		1年	算入	○	×	×	×	×	×	×	再履修の場合、翌年度に自動登録されます。
※3 ブリ ッジ 科目	選択英語	1年以上	算入	×	×	○	○	○	×	○	
	選択外国語	1年以上	算入	×	×	○	○	○	×	○	古典語（ギリシャ語・ラテン語・サンスクリット語・チベット語）は「講義」に含まれます。
	講義	1年以上	算入	×	×	○	○	○	×	○	
専門特殊研究		1年以上	算入	申請方法・詳細はホームページ参照							1年次の春学期は申請不可
フィールド実習				 学部ホームページ > 在学生の方へ > 科目登録							
ボランティア実践											
専門演習（自論系）		2年以上	算入	×	○	○	○	○	×	×	
専門演習（他論系）		2年以上	算入	×	○	○	○	○	×	×	
論系ゼミ		3年以上	算入	○	×	×	×	×	×	×	3年次、4年次に自動登録されます。再履修の場合、翌学期に自動登録されます。
ゼミ論文		4年以上	算入	○	×	×	×	×	×	×	
卒業研究		4年以上	算入	○	×	×	×	×	×	×	
自由科目（講義算入可）		1年以上	非算入 算入	×	×	○	○	○	○	○	算入区分が選択できます。非算入は「自由科目(講義算入可)」、算入は「講義」
大学院文学研究科設置科目		4年以上	非算入	申請方法・詳細は P.19 参照							
他箇所設置科目		1年以上	非算入 算入	×	×	次ページ参照			△ 対象科目のみ	△ ※4	●「保健体育科目」「教職等資格関連科目」は非算入のみ

要注意！

※1.自動登録科目は、春学期の科目登録時に秋学期科目も含めて登録されます。（春学期に休学・留学の学生は復学時に登録）

※2.科目区分を選択できる科目は、Web 科目登録画面上での初期設定が「非算入」（卒業所定単位数に算入しない）となっていますので、卒業単位数に算入したい場合には Web 科目登録時または 3 次登録期間中に科目区分を「算入」へ必ず変更してください。Web 科目登録画面上から変更できない場合は、3 次登録期間終了前までに文学学術院事務所で申し出てください。それ以降の変更は、いかなる理由があっても認めることができません。

※3.ブリッジ科目について

文化構想学部・文学部の外国語科目と講義科目を共通化した科目群。人文・社会科学等の古典から先端領域まで幅広く履修できます。「講義」「選択英語」「選択外国語」がブリッジ科目となっています。

※4.他箇所設置科目について、一部取消不可の科目があります。詳細は次ページを確認してください。

■他箇所設置科目

科目申請時に算入・非算入の選択、
3次登録時に変更が可能

(「保健体育科目」・「教職等資格
関連科目」は非算入のみ)

3次登録での
取消可否を確認

分類	科 目	科目区分 ※ 1	参照先要項・手引き等	科目登録時期						取消 可否 (※3)	
				春学期登録			秋学期登録				
				1 次	2 次	3 次	1 次	2 次	3 次		
全学オープン科目	グローバル・エデュケーション・センター (GEC) 提供科目			○	○	○	○	○	○	△ (※4)	
	Web 科目登録	アカデミック・ライティング科目	他箇所設置科目 (非算入) または 他箇所設置科目 (算入) 他箇所設置科目 (非算入)	・全学オープン科目履修ガイド ・GEC Web ページ	「春クォーター」「秋クォーター」科目のうち週 2 コマ (週に 2 時限実施する) 科目は、3 次登録の開 放は行いません。 2 次登録までに科目登録をするようにしてください。 ＜例：週 2 コマ科目＞ 火 2 時限・金 2 時限 ※週 2 回授業の科目 水 4 ～ 5 時限 ※ 2 時限連続の科目 水 2 時限 + オンデマンド ※ハイブリッド科目 2 次・3 次登録で登録可能な科目については、 GEC Web ページに掲載する「余裕定員表」を参照 してください。						
		数学科目									
		データ科学科目									
		情報科目									
		英語科目 ※2									
		言語科目									
		保健体育科目									
		自然科学科目									
		人文・社会科学科目									
日本語教育科目											
他大学提供科目			・他大学マニュアル ・GEC Web ページ (https://www.waseda.jp/inst/gec/) →学部学生の方へ →→他大学提供科目	各大学の登録スケジュールや申請方法について は、左記 Web ページを参照してください。						×	
留学センター提供科目											
学部提供全学オープン科目											
日本語教育研究センター (CJL) 提供科目 <※留学生対象>			・全学オープン科目履修ガイド ・留学センター Web ページ ・全学オープン科目履修ガイド ・各学部 Web ページ ・CJL 発行の手引き ・CJL の Web ページ	○	○	○	○	○	○	△ (※5)	
他学部提供科目				○	○	○	○	○	○		
教職等資格関連科目			各学部 Web ページ	—	—	○	—	—	○	—	△ (※6)
他箇所設置科目 (非算入) または 教職科目			『教職課程履修の手引き』 (教職支援センター発行)	○	○	○	○	○	○		

○春学期登録対象科目:「通年」「春学期」「春クォーター」「夏クォーター」「夏季集中」「集中講義(春学期)」「集中講義(春・秋学期)」「春夏期」「夏秋期」「夏シーズン」

○秋学期登録対象科目:「秋学期」「秋クォーター」「冬クォーター」「冬季集中」「春季集中」「集中講義(秋学期)」「冬シーズン」

※1. 科目区分を選択できる科目は、Web 科目登録画面上での初期設定が「他箇所設置科目(非算入)」(卒業所定単位数に算入しない設定) となっているので、卒業単位数に算入したい場合には Web 科目登録時または 3 次登録期間中に科目区分を「他箇所設置科目(講義算入)」へ必ず変更してください。Web 科目登録画面上から変更できない場合は、3 次登録期間終了前までに文学学術院事務所まで申し出てください。それ以降の変更は、いかなる理由があっても認めることができません。

※2. 「Tutorial English」(春クォーター、秋クォーター開講) は、グループ編成の都合上、登録機会が1次登録のみとなります。

※3. 1～2 次登録期間中に Web 科目登録で申請し、履修決定となった科目を 3 次登録期間中に取消可能か示しています。
一部、授業運営に支障が出るため、取消不可の科目があります。以下※4～※6 も確認してください。

※4. GEC 提供の科目のうち、1～2 次登録で決定した「聴講料支払対象科目」、「学術的文章の作成」は取消できません。

※5. 若干数の科目は取消不可となっています。取消不可の科目は「全学オープン科目履修ガイド」科目一覧の備考欄に記載されています。

※6. 教職等資格関連科目のうち「教育実習演習」、「教職実践演習」、「介護体験実習講義」は取消できません。

国際教養学部他学部提供科目登録について

- ・国際教養学部の Web ページ (<https://www.waseda.jp/fire/sils/students/registration/>) で、他学部生が登録可能な科目を公開しますので、事前に確認のうえ、Web から履修申請を行ってください。
- ・1 人 1 科目までの申請となりますので、2 科目以上登録した場合は、無作為に超過分がエラーとなります。
- ・中級科目は 2 年生以上、上級科目は 3 年生以上のみが登録可能です。
- ・英語力の証明は求めませんが、TOEFL ITP 530 点以上の英語力がある方を対象の目安としています。

3-2. 論系ガイダンス（2年生以上）

2025 年度の論系ガイダンス資料等の情報は、3 月上旬に学部ホームページに掲載します。各自で必ず確認をして、新学期・科目登録に臨んでください。

 [文化構想学部ホームページ > 在学生の方へ > 科目登録 > 論系ガイダンス](#)

■ 論系室連絡先

文化構想学部ホームページにて確認してください。

 [文化構想学部ホームページ > 在学生の方へ > 証明書・各種手続き > 各論系 連絡先一覧](#)

3-3. 春学期の科目登録

注)「通年科目」も春学期
の上限単位に含まれます

■ 春学期の登録日程

春学期期間中(4/1~9/20)に実施される全ての科目(通年、春学期、春クォーター、夏クォーター、夏季集中、集中講義(春学期)、集中講義(春・秋学期)、春夏期、夏秋期、夏シーズンの科目など)が登録の対象です。

3月	月	火	水	木	金	土	日
	10	11	12	13	14	15	16
			<在学生> 自動登録 結果発表 (Webで確認)				
			0次登録 9:00 (2年生以上) 17:00				
	17	18	19	20	21	22	23
		0次登録 結果発表 (Webで確認)					
		9:00	1次登録 (在学生)	17:00			
	24	25	26	27	28	29	30
4月	月	火	水	木	金	土	日
	31	1	2	3	4	5	6
		<新入生> 自動登録 結果発表 (Webで確認)					
		9:00	1次登録 (新入生)	17:00			
	7	8	9	10	11	12	13
		1次登録 結果発表 (Webで確認)			2次登録 結果発表 (Webで確認)	授業開始	
		9:00	2次登録	17:00			
		聴講料・実験実習料納入期間 ※1 (4/8~4/14)					
	14	15	16	17	18	19	20
	納入期間 ※1 (4/8~4/14)				9:00	3次登録 17:00	Moodleゲスト 利用期間 ※3
	21	22	23	24	25	26	27
			3次登録 結果発表 (Webで確認)				
		Moodleゲスト利用期間 ※3		聴講料・実験実習料納入期間 ※2 (4/24~4/28)			
	28	29	30	1	2	3	4
	納入期間 ※2 (4/24~4/28)		最終登録 結果発表 (Webで確認)				

※1. グローバル・エデュケーション・センター設置科目「Tutorial English」の1次登録決定科目のみの納入期間です。

※2. 上記の「※1」の科目以外の、聴講料・実験実習料支払い対象全科目の納入期間です。

※3. 3次登録で申請する科目は、各登録最終日の翌日から Waseda Moodle にゲストとして仮登録されます。
(科目登録の結果、不可・選外となった科目はゲスト登録が解除され、Waseda Moodle には表示されなくなります)

3-4. 秋学期の科目登録

■ 秋学期の登録日程

秋学期期間中（9/21～3/31）に実施される全ての科目（秋学期、秋クォーター、冬クォーター、冬季集中、春季集中、集中講義（秋学期）、冬シーズンの科目など）が登録の対象です。

	月	火	水	木	金	土	日
9月	8	9	10 自動登録 結果発表 (Webで確認)	11	12	13	14
			0次登録 9:00 (2年生以上) 17:00				
	15	16	17 0次登録 結果発表 (Webで確認)	18	19	20	21
			1次登録 9:00 17:00				
	22	23	24	25 1次登録 結果発表 (Webで確認)	26	27	28
				2次登録 9:00 17:00			
				聴講料・実験実習料納入期間 ※1 (9/26～)			
10月	月	火	水	木	金	土	日
	29	30	1 2次登録 結果発表 (Webで確認)	2 授業開始	3	4	5
	聴講料・実験実習料納入期間 ※1 (9/26～10/2)						
	6	7	8	9	10	11	12
			3次登録 9:00 17:00		Moodleゲスト利用期間 ※3		
	13	14	15	16	17	18	19
	Moodleゲスト 利用期間 ※3	3次登録 結果発表 (Webで確認)	聴講料・実験実習料納入期間 ※2 (10/15～10/20)				
	20	21	22	23	24	25	26
	納入期間 ※2 (10/15～10/20)		最終登録 結果発表 (Webで確認)				

※1. グローバル・エデュケーション・センター設置科目「Tutorial English」の1次登録決定科目のみの納入期間です。

※2. 上記の「※1」の科目以外の、聴講料・実験実習料支払い対象全科目の納入期間です。

※3. 3次登録で申請する科目は、登録最終日の翌日から Waseda Moodle にゲストとして仮登録されます。
(科目登録の結果、不可・選外となった科目はゲスト登録が解除され、Waseda Moodle には表示されなくなります)

3-5. 大学院文学研究科設置科目の登録方法（先取り履修）

■ 申請条件

以下の全ての条件を満たす学生が対象です。

- 履修学年が4年次以上であること。
- 前年度までの修得単位数が104単位以上（学士入学者は34単位以上）であること。
- （外国語を申請する場合は）前年度までに該当する基礎外国語の必修単位数を修得していること。

■ 申請期間・方法

なるべく担当教員の内諾を事前に得てから申請してください。



■ 申請期間：原則として、秋学期開講科目についても春学期に申請すること。

- ・春学期：4月14日（月）～4月19日（土）17:00
- ・秋学期：10月2日（木）～10月8日（水）17:00

■ 申請方法：MyWaseda 申請フォームで申請してください。詳細は以下を参照してください。

 [文化構想学部ホームページ](#) > [在学生の方へ](#) > [科目登録](#) > [先取り履修](#)

■ 申請可能科目

大学院文学研究科コース設置科目・共通科目 ※学部合併科目は除く

科目種別	先取り履修	文学研究科 修了単位の認定
研究指導	×	×
コース設置科目（演習）	○	×
コース設置科目（講義）	○	○
共通科目（講義）	○	○
共通科目（外国語）大学院設置科目	○	○
共通科目（外国語）学部合併科目	×	×

**演習は履修許可
された場合でも
大学院の単位に
なりません！**

■ 審査結果（登録可否）発表

申請書類をもとに科目担任者やコースの審査等を経て決定し、以下日程で発表しますので、Web 科目登録画面を確認してください。※履修が認められなかった科目は Web 科目登録画面に表示されません。

- ・春学期：4月30日（水）予定
- ・秋学期：10月22日（水）予定

■ 注意事項

- 修得した単位は自由科目として認定されるため、学部の卒業所定単位数に算入されません。
- 大学院文学研究科に入学後、所定期間に単位の認定を申請し、文学研究科運営委員会にて適当と認められたもののみ、演習を除き大学院文学研究科の修了所定単位数に算入することができます。
詳しくは文学研究科ホームページにてお知らせします。
- 学部在学中に登録できる大学院文学研究科設置科目の単位数は16単位までです。
- 申請した科目の取消は認められません。

4 科目登録のルール

4-1. 単位の算入／非算入

科目の種別によって、卒業所定単位数に算入される種類/区分と、されない種類/区分（非算入）があります。

登録制限単位数に含まれるのは、算入する科目のみです。 非算入の科目であっても科目区分変更をすることで、卒業所定単位数に算入することができる科目区分があります。

○算入のみの科目（非算入への変更不可）

文化構想学部設置科目（必修基礎演習、選択基礎演習、基礎講義、基礎外国語、必修英語、
選択外国語、選択英語、講義、専門演習、論系ゼミ、ゼミ論文、卒業研究）

○算入と非算入を選択できる科目（登録時の初期設定は「非算入」になっています）

文化構想学部設置科目（自由科目（講義算入可））
他箇所設置科目（保健体育科目、教職等資格関連科目を除く）

○非算入のみの科目（算入への変更不可）

他箇所設置科目（保健体育科目、教職等資格関連科目）

4-2. 登録制限単位数

卒業必要単位として登録する場合には、以下のとおり年間・各学期・科目種別毎に登録できる制限単位数が設けられていますので、制限を超えない範囲で申請してください。



登録制限単位数は“修得”単位数ではなく、“登録”単位数です。春学期に不合格となった科目も登録単位数としてカウントされます。  [次ページ](#)の「登録制限単位数の考え方」を確認してください。

A 年間・半期 登録制限単位数

年間ごと、半期ごとに登録できる単位数は履修学年ごとに制限があります。

履修学年	1 年生		2 年生		3 年生		4 年生以上	
年間登録制限単位数	42		40		40		44	
半期登録制限単位数	春学期 22	秋学期 22	春学期 22	秋学期 22	春学期 22	秋学期 22	春学期 26	秋学期 26

※この制限に専門特殊研究・フィールド実習・ボランティア実践・自由科目
・他箇所設置科目（非算入）は算入されません。

**ゼミ論・卒研
も含まれる！**

要注意！

学期名称	春学期の制限に算入	秋学期の制限に算入
	通年 、春学期、集中講義（春学期）、集中（春・秋学期）、春夏期、春クォーター、夏クォーター、夏季集中、夏シーズン	秋学期、 夏秋期 、集中講義（秋学期）、秋クォーター、冬クォーター、冬季集中、冬シーズン、春季集中

要注意！**B 「専門演習」半期登録制限単位数 ※自論系・他論系含む**

半期に登録できる専門演習の単位数は履修学年および論系ゼミ/卒業研究の履修によって制限があります。

	履修学年	2 年生		3 年生		4 年生以上	
	学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
演習半期登録制限単位数	論系ゼミ選択	6	6	4	4	6	6
	卒業研究選択			6	6	8	8

C 「他箇所設置科目」在学中修得制限単位数卒業単位に算入できる単位数は在学中に 36 単位までです。(3 年次から編入してきた学生は 18 単位まで)
なお、非算入として登録した科目や留学の単位認定はこの制限に含まれません。**D 「日本語教育研究センター (CJL) 設置科目」制限単位数**登録制限単位数は、算入・非算入問わず 以下のとおりです。

- ◎半期登録制限単位数 : 8 単位
- ◎在学中修得制限単位数 : 32 単位

E 「選択基礎演習」修得制限単位数

在学中に修得できる単位数は 2 単位までです。

F 「専門特殊研究」在学中修得制限単位数

在学中に修得できる単位数は 8 単位までです。

G 「フィールド実習」「ボランティア実践」「インターンシップ」在学中修得制限単位数

在学中に修得できる単位数は、この 3 種類合計で 8 単位までです。

登録制限単位数の考え方

例) 1 年次 秋学期に登録できる単位数

□年間登録制限単位数 42 単位

□半期登録制限単位数 22 単位

◆1 年次春学期に 22 単位登録した場合

1 年次秋学期

42 単位	－	22 単位	=	20 単位
(年間登録制限)	－	(春学期登録)	=	(秋学期登録可能単位数)

◆1 年次春学期に 18 単位登録した場合

1 年次秋学期

42 単位	－	18 単位	=	24 単位	→	22 単位
(年間登録制限)	－	(春学期登録)	=	半期登録制限オーバー	→	(秋学期登録可能単位数)



申請内容のままではオーバーエラーが発生する場合、「算入」として申請されている自由科目（講義）や全学オープン科目および他学部提供科目は、自動的に全て「非算入」に変更されます。「非算入」に変更してもエラーが発生する場合は、ランダムでエラーとなる科目が決定されます（P.25 を確認）。登録結果発表の際は、決定となった科目区分を必ず確認し、科目区分変更期間内に必要に応じて変更してください。

単位制度について

単位制度とは、一定の基準に従って授業科目を履修し、試験等に合格することによって、その授業科目の単位が付与される制度です。本学の各授業科目の単位数は、早稲田大学学則（早稲田大学大学院学則）により、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。また、1 単位あたりに必要となる授業時間数は、授業の方法（講義、演習等）にかかわらず、15 時間から 45 時間までの範囲で各学部が定める時間数としています。本学では、毎週 1 コマ（100 分）で 14 週実施される授業時間数を 30 時間とみなしています（7 週の場合は 15 時間とみなしています）。

そのため、2 単位科目の場合、90 時間に相当する内容の学修が必要となり、例えば講義科目（毎週 1 コマを 14 週）で 2 単位を修得するためには、授業時間数である 30 時間に加え、授業時間以外に約 60 時間に相当する内容の学修を行う必要があります。したがって、14 週の授業に対して毎回概ね 4 時間程度の内容に相当する授業時間外の学修（予習・復習等）が必要となります。

年間登録単位数について

上記の「単位制度について」の通り、単位修得のためには、授業時間だけでなく、授業時間外にも必要な学修時間を確保できるように、1 年間で登録する単位数を制限することが必要となります。そのため、**算入科目（※1）のみならず、非算入科目（※2）を含めて年間で 49 単位を超えないよう、計画的に科目登録をお願いします。**

ただし、教職やその他の資格などの取得にあたって、**非算入科目（※2）**を多く履修する必要があり、49 単位を超えて科目履修せざるを得ないケースは容易に想像されるため、Web 科目登録システムでは、49 単位を超えて**非算入科目（※2）**の登録を制限することは一律いたしません（49 単位を超えて申請してもエラーとならず申請可能です）が、上記の単位制度を十分に理解したうえで、科目を履修してください。

なお、**算入科目**は、所定の登録制限単位数（[P.20](#) 参照）を超えての科目登録はできないのでご注意ください。

（※1）**算入科目**：卒業所定単位数に算入される科目

（※2）**非算入科目**：卒業所定単位数に算入されない科目

（教職等資格関連科目、自由科目（講義算入可）、他箇所設置科目（非算入）等）



年間で**算入科目・非算入科目**あわせて 49 単位を超えて履修している学生のうち、成績（GPA）が著しく低い場合は、事務所からメールでの注意喚起または面談にて、次学期以降の登録単位数について指導が行われる場合があります。

4-3. 授業方法区分とオンライン授業の算入制限

科目登録をする前に、授業がどのような形式で行われるかをシラバスに記載されている**授業方法区分**で必ず確認してください。授業方法によって、後述の授業時間割（曜日時限）の重複不可ルールの対象となるか、授業実施キャンパス間の移動時間確保が必要かどうか異なります。

授業方法区分名称	説明	曜日時限の重複不可ルール	キャンパス間の移動時間確保	オンライン授業 60 単位制限
【対面】	全時限対面として実施（ハイフレックス型(*1)を含む）	対象	必要	(対象外)
【対面】ハイブリッド（対面回数半数以上） *2	対面とオンラインの併用（対面の割合が半数以上）	対象	必要	(対象外)
【オンライン】ハイブリッド（対面回数半数未満） *2	対面とオンラインの併用（対面の割合が半数未満）	対象	必要	対象
【オンライン】フルオンデマンド	全時限フルオンデマンドとして実施	(対象外)	(不要)	対象
【オンライン】リアルタイム配信 *3	全時限をオンラインで行う授業において一部または全時限をリアルタイム配信として実施	対象	(不要)	対象
【非常時】ハイブリッド	非常事態により対面とオンラインの併用により開講	対象	必要	(対象外)
【非常時】フルオンデマンド	非常事態により全時限オンデマンドとして開講	対象	必要	(対象外)
【非常時】リアルタイム配信	非常事態により全時限をオンラインで行う授業において一部または全時限リアルタイム配信として開講	対象	必要	(対象外)

*1「ハイフレックス」は対面で授業を行います。オンラインでも授業を配信しており、対面・オンラインのどちらかを選択して参加できる授業形態です。

*2「ハイブリッド」とは、対面で実施される授業回とオンラインで実施される授業回の両方がある授業形態です。対面の授業回は教室で受講する必要があります。

*3「【オンライン】リアルタイム配信」とは、全時限がオンラインで実施される授業のうち、その一部または全部の授業回を決められた曜日時に Web 会議システム等を用いてリアルタイムで行われる授業形態です。

【注意】卒業所定単位数へのオンライン授業の算入制限について

先頭に【オンライン】と付いている授業方法（【オンライン】ハイブリッド（対面回数半数未満）、【オンライン】フルオンデマンド、【オンライン】リアルタイム配信）の科目について、卒業所定単位（124 単位）に算入できる単位数は 60 単位までに制限されます。つまり、卒業所定単位数（124 単位）の内、最低 64 単位は、対面授業で修得する必要があります。

Web 科目登録の際にシステムでこのチェックは行っていないが、60 単位の制限を超えて先頭に【オンライン】と付いている授業方法区分の科目を登録してしまった場合は、卒業見込み判定や卒業判定の際に事務から連絡をして科目の取消などを行います。科目の取消となった場合も、代わりに別の科目を登録することはできませんので注意してください。

昨年度以前に履修した科目がオンライン授業科目算入上限の対象となるかどうかは、MyWaseda の Web 成績照会画面から確認できます。科目名の末尾に[Online]と記載されている科目のみが、対象となります。ただし、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020 年度、2021 年度に履修した科目については[Online]と記載がなければ対象となりません（下記、非常時扱いとなるため）。

【注意】非常時扱いの授業方法区分について

名称の先頭に【非常時】と付いた授業方法区分（【非常時】ハイブリッド、【非常時】フルオンデマンド、【非常時】リアルタイム配信）は、感染症等の社会的に深刻な緊急事態により対面で授業が実施できない場合に、緊急的な措置としてオンラインで実施する科目に設定される区分です。名称の先頭に【非常時】と付いた授業方法区分の科目はオンライン形式の授業であってもオンライン授業 60 単位制限の対象となりません。また、非常事態が解消された場合は対面を含む従来の授業形態に戻る可能性があるため、科目登録時に曜日時限の重複は認められず、キャンパス間の移動時間確保も必要です。

※学士入学者は、対面授業を 64 単位以上修得するカリキュラムとなっているため、オンライン授業の制限を意識する必要はありません。

4-4. 履修上のルール

ルール違反（エラー）だと科目が登録されません！**A 授業時間割（曜日時限）の重複不可**

同一曜日時限には複数科目を登録できません。

※曜日時限が配当されているオンデマンド科目も対象になります。

B 授業実施キャンパス間の移動時間確保

授業実施キャンパスが異なる科目を登録する場合は以下の移動時間を確保しなければなりません。

- 戸山キャンパス－東伏見キャンパス : 1 時限（100 分間）か昼休み（50 分間）
- 戸山キャンパス－所沢キャンパス : 1 時限（100 分間）
- 戸山キャンパス－早稲田キャンパス : なし
- 戸山キャンパス－西早稲田キャンパス : なし

**重要・注意**

以下のようなケースでは科目登録システムのエラーとはならず科目登録ができてしまいますが、キャンパス移動中にオンライン授業や試験を受けることになり大変危険ですので、**科目登録をしないでください**。仮に科目登録してしまった場合、当該の科目を特例的に取り消すことはできませんので、授業を受講できない場合は不合格の成績がつくことになります。万が一、自己責任で何らかの手段でこれらの科目を受講する場合も、移動中の授業・試験についての配慮は一切ありません。

＜遠隔地で実施される対面授業の間にリアルタイム配信形式の授業を登録するケースの例＞

- 3 時限 戸山キャンパスで対面形式の授業
- 4 時限 リアルタイム配信形式の授業
- 5 時限 所沢キャンパスで対面形式の授業



4 時限目の間に戸山から所沢キャンパスに移動しなければならないが、移動中に授業をオンラインで受講するスケジュールになっている。

いずれかの科目の登録を諦めて下さい。

C 既登録科目の登録不可

同一学期に同一科目は登録できません。

D 既修得科目の登録不可

昨学期までに単位を修得した科目は登録できません。

E 配当年次による制限

科目の配当年次と所属の履修学年によって登録できる科目が制限されます。

履修学年 \ 配当年次	1 年 のみ	1 年 以上	2 年 以上	3 年 以上	4 年 以上	2 年 以下	3 年 以下
1 年次	○	○	×	×	×	○	○
2 年次	×	○	○	×	×	○	○
3 年次	×	○	○	○	×	×	○
4 年次以上	×	○	○	○	○	×	×

4-5. 登録時のエラー



科目登録をする上で陥りがちなミスについて記載されていますので、よく確認してください。

各種登録制限単位数を超過して申請を行ってしまった場合、以下のように登録の処理が行われ、ご自身が本当に希望されていた科目が登録されなくなる可能性がありますので、十分に注意してください。

- ① 「算入」として申請されている自由科目（講義）や全学オープン科目および他学部提供科目が、自動的に全て「非算入」に変更されます。**（非算入科目は、登録制限単位数には含まれません。）**

上記処理が行われた結果、制限単位数を

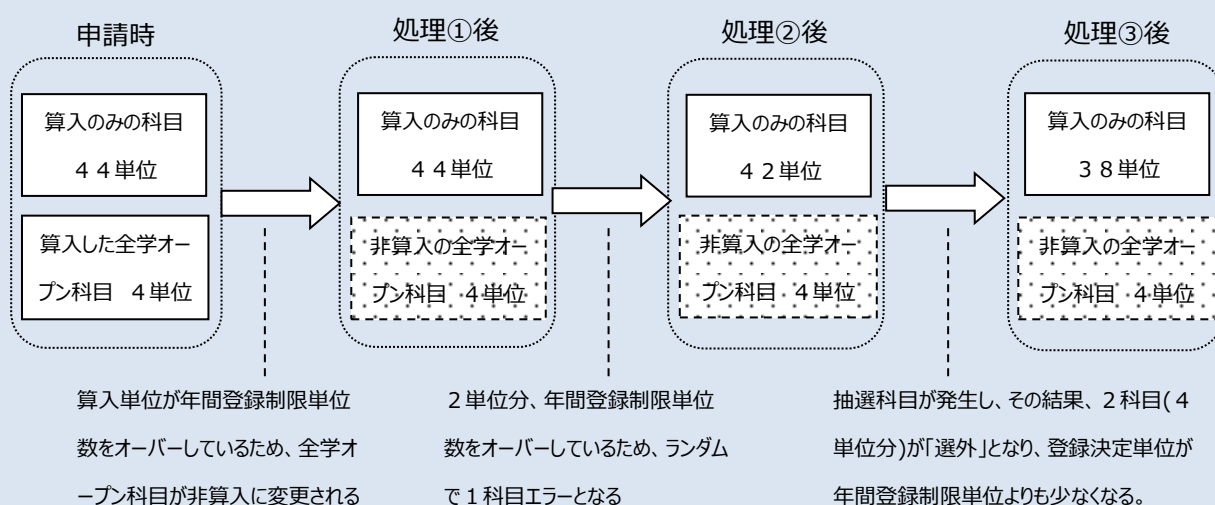
- ・超えている場合 → ②の処理が実行されます
- ・超えていない場合 → ③の処理へ進みます

- ② システムがランダムでエラーとする（登録を認めない）科目を決定します。
（この際に、ご自身の優先順位が高かった科目がエラーになってしまう可能性があります。）

- ③ ①および②の結果、エラーとなっていない科目の中で定員をオーバーしている科目がある場合には、それらの科目について抽選が行われます。（フルオンデマンド科目についても定員が設定されている場合がありますので、ご注意ください。）

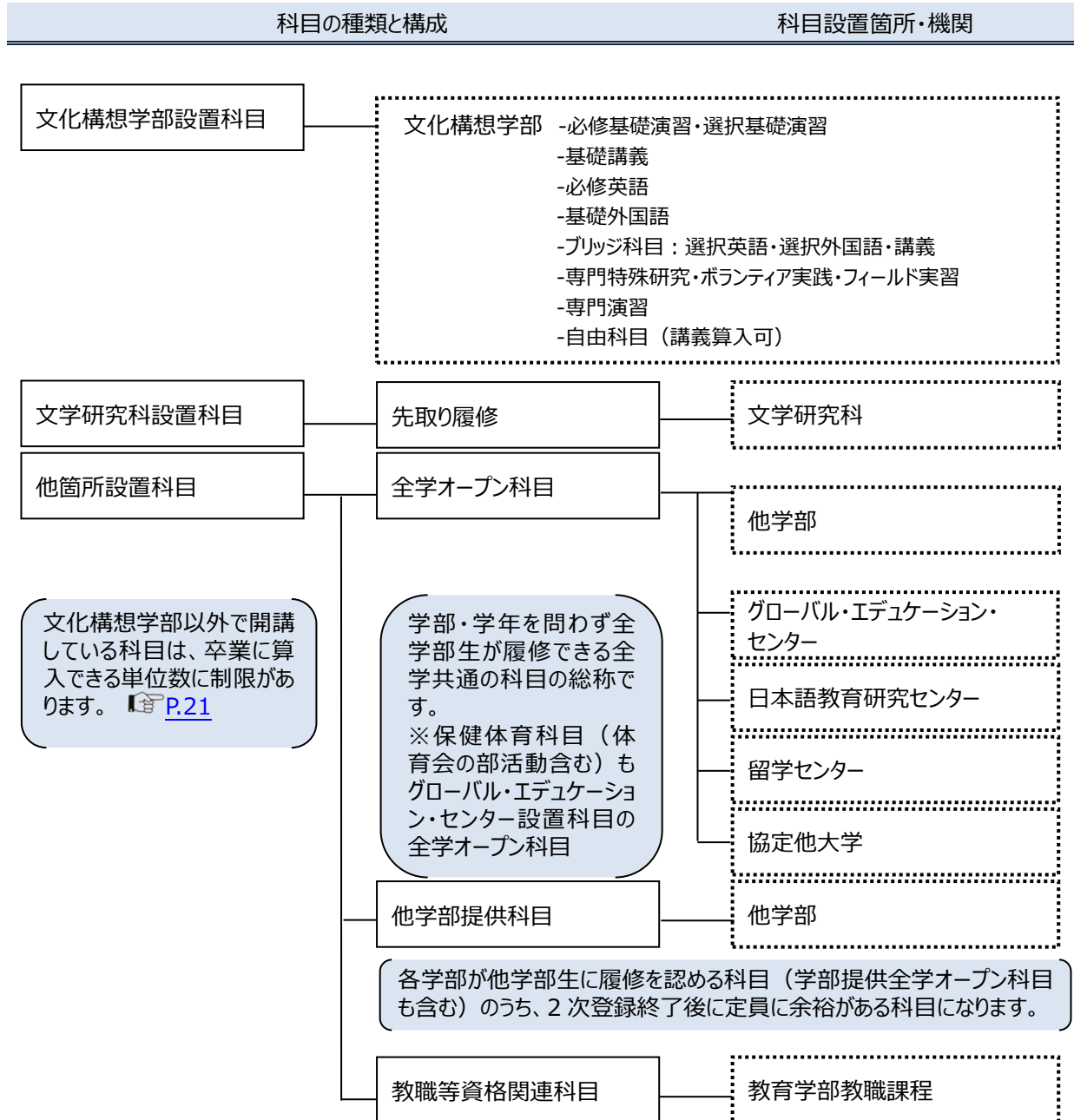
※Web 科目登録システム上での申請単位数が登録上限単位数を超過していた場合、上記②の処理までに登録制限単位数を超えないような処理が実行されるため、③の抽選処理の結果、「選外」となり漏れてしまう科目が発生すると、登録制限単位数よりも決定科目（単位数）が少なくなることもありますので、ご注意ください。

例えば）1年生（年間登録制限単位数：42）が以下のとおり Web 科目登録にて申請してしまった場合



5 科目の構成と種別

5-1. 科目の構成



5-2. 科目とクラス

文化構想学部設置科目・文学部設置科目ならびにクラスの表記は以下となります。（※必修基礎演習は除く）

表記	科目・クラス	例
I、II、III、IV 1、2、3、4 イ、ロ、ハ、ニ	科目表記	「英語1」と「英語2」は同一科目ではありません。 （両方の科目を登録・修得できます。）
A、B、C、D	クラス表記	「英語A」と「英語B」は同一科目です。 （両方の科目を登録・修得できません。）

5-3. 科目の種別

5-3-1. 文化構想学部設置科目（文学研究科設置科目含む）

必修基礎演習	「必修基礎演習」は人文科学を学ぶ上で不可欠な「読む」「書く」「調べる」のスタディスキルを徹底して身に付けるための新入生を対象とした必修科目です。論文の読み方とレポートの書き方を中心に、文献の調べ方や論理的な思考方法などを学ぶ科目です。 14回の授業の前半は、文献の読み方を学びます。指定された文献を個人あるいはグループで読み、内容の紹介、調べたこと、考えたことを発表し、質疑応答を行います。後半は、レポートの書き方を学びます。個人単位で所定のテーマに取り組み、レポートの構想や草稿を発表します。大学図書館の文献検索システムについての実習なども行います。必修基礎演習の担当教員が1年次のクラス担任となります。
選択基礎演習	「選択基礎演習」は論系・コースの専門教育への入門として専門領域固有の面白さや奥深さに触れ、必要な基礎的事項・技能について学習し、2年次以降の専門学問領域へと繋げ高めていくための科目です。 必修基礎演習で身につけた「読む」「書く」「調べる」のスタディスキルと基礎講義で学んだ多彩な専門領域の理解を踏まえ、少人数で行われる演習形式であることを生かした、より実践的でアクティブな内容となっています。各クラスは論系・コースおよび担当者の独自のテーマに基づいた内容で構成されており、内容と担当者は、各年度の成果、学生の反応、論系・コースのニーズ等により必要に応じて年度ごとに変更されています。
基礎講義	「基礎講義」は2年次に進級する論系・コースの総合案内として、文化構想学部・文学部で展開される多彩な学問領域をひととおり概観し、基礎的な知識と個々の講義の内容に基づいて教養を深め、2年次からの専門進級に向けて各自が「何を学びたいのか」という、学修の指標を見出すための科目です。 フルオンデマンド授業により実施され、各自が何を学びたいのかを探る助けとなるように、各論系・コースが作成したコンテンツが用意されています。各コンテンツをしっかりと受講し、各論系・コースの特徴をよく理解することが、進級先を決めるのに役立ちます。授業支援システム Waseda Moodle 上で、興味のあるコンテンツの担当者に質問することもできます。 単位の修得には、所定期間内に30コンテンツ以上を受講することが必要です。「学部総説」コンテンツをのぞく全コンテンツには小テストが設定されていますので、コンテンツを視聴のうえ、コンテンツごとに感想を書き込むことで、受講となります。また、学期末にレポート課題一覧が提示されますので、一つを選んでレポートを提出してください。
必修英語	「必修英語」は読む・書く・話す・聴くというすべてのスキルを総合的に高めることで、様々な場面における幅広いトピックに対応できる英語コミュニケーション能力を磨くための科目です。 1年次から2年次にかけて2年連続（4セメスター）で履修します。1年次はクラスに分かれて授業を行います。2年次は、フルオンデマンドの科目になります。

基礎外国語	専門課程で十分に活用できる外国語能力の獲得を目指し、フランス語、ドイツ語、ロシア語、中国語、スペイン語、イタリア語、朝鮮語、アラビア語の8言語から1言語を選択し、春学期（Step1）・秋学期（Step2）において週4コマと重点的且つ有機的なプログラムで「読む・書く・聞く・話す」の総合的な語学力を養成する科目です。 Q. イロハニの中の一つでも単位を落とした場合、全て再履修しなければならないのでしょうか？ A. 落とした科目のみ再履修となります。例えば春に「Step1 イ」だけを落としたら、次年度の春に「Step1 イ」が自動登録されます。 Q. 外国人留学生なのですが、「日本語」が自動登録されていません。 A. 日本語は自動登録されませんので、自分で好きな日本語を登録してください。春学期と秋学期を合わせて16単位分を科目区分「基礎外国語（日本語）」として登録してください。 Q. 基礎外国語を変更できますか？ A. 変更可能です。ただし、変更前までの取得単位は選択外国語として卒業単位に算入され、基礎外国語は0単位からのスタートとなります。 〔受付期間〕 3月の成績発表日～1週間（土日を除く） ※年1回のみ受付 〔手続方法〕 事務所窓口で申請用紙に記入 ※来訪が難しい場合は、受付期間中に電話やお問い合わせフォーム等で事務所までご連絡ください
ブリッジ科目	文化構想学部・文学部の外国語科目と講義科目を共通化した科目群。人文・社会科学等の古典から先端領域まで幅広く履修できます。「講義」「選択英語」「選択外国語」がブリッジ科目となっています。 Q. 「講義」「選択英語」「選択外国語」はどうやって検索しますか？ A. 「ブリッジ科目」のカテゴリーから検索できます。科目登録画面の科目検索で、「2.科目群」の選択に「ブリッジ科目」を選んでください。
選択英語	選択英語科目は大きく Academic Skills と Intensive Studies の群とに分けられます。カリキュラムの詳細についてはホームページを参照してください。  学部 HP > 在学生の方へ > 科目登録 > Web シラバス > 英語カリキュラムについて ●Academic Skills(AS) 科目群 英語「で」行われる広域科目・専門科目を学ぶために必要な英語能力を身につけることを目的として設置される科目です。この科目群はさらに Writing, Reading, Discussion, Online の4つのカテゴリーに分かれ、またそれぞれの科目には M(Intermediate), U(Upper-intermediate)の2つのレベルが設定されています。（なお、2つのレベル以外に教職を目指す学生を対象として Integrated が設置されています。レベルはMまたはそれ以上になります。） ※2023年度より L (Lower-intermediate)のレベルが廃止されました。 ※『Academic Skills in English』は JCulP プログラム学生以外は履修できません。 ●Intensive Studies(IS) 科目群 英語「で」学ぶ広域科目・専門的な科目です。英語「を」学ぶのではなく、ここでは個々の学問領域について、4つの技能(Reading, Writing, Listening, Speaking)を用いながら英語「で」学びます。この科目群は授業形態によって Lecture-type と Seminar-type に分かります。レベルは、個々の科目により異なりますが、おおよそ Academic Skills の U レベル(Upper-intermediate)程度の能力を要します。 また、グローバル・エデュケーション・センター設置科目の「Tutorial English」も選択英語へ算入することができます。 ※初期設定が「他箇所設置科目（非算入）」（卒業単位に算入しない）となっていますので Web 科目登録時または3次登録期間中に科目区分を「選択英語」に変更してください。

選択外国語	基礎外国語を通じて得た言語能力を活かして、さまざまに特化した分野について学ぶことを目的とした中・上級レベルなどの英語以外の外国語科目です。なお、古典語（ギリシャ語・ラテン語・サンスクリット語・チベット語）は「講義」に含まれるため、選択外国語の単位になりませんので、ご注意ください。
講義	教養・専門を幅広くカバーし、文化・人文・社会の各分野にまたがる古典から先端・新領域まで学ぶことができるように用意され、各々の興味に合わせてダイナミックな学問の広がりを体験し、基礎教養を深めるとともに自身が取り組みたいテーマについて多角的に研究することができる科目群です。
自由科目（講義算入可）	各年次の登録制限単位数（および学期ごとの登録制限単位数）に関わりなく、自由に選択・履修することができる科目で、資格関連科目が設置されています。進級や卒業に必要な単位数には算入されません。なお、「講義」に科目区分変更の手続きを行うことで、卒業所定単位数に算入することができます。その場合、登録制限単位数に含まれますので、ご注意ください。 「自由科目(講義算入可)」：進級や卒業に必要な単位数には算入されません 「講義」：進級や卒業に必要な単位数に算入  区分の変更可
専門特殊研究	大学院等に進学して研究者となることを希望する学生に対して、将来の俊英育成を目標とし専門的内容を学部での早い段階から提供する講義群であり、厳しい訓練を軸にした、専門特殊上級者向け研究会、現代語も含め一般の授業では扱えない高度で難解な原典講読、数学、論理学、プログラミングの問題研究などの講義群で構成されます。 学期のはじめに、開講予定の研究会のテーマと参加方法とが掲示されます。授業は、教室ではなく、研究会ごとに担当教員の研究室などで行われます。学期ごとに通常授業の14回相当以上実施されますが、夏季・冬季・春季休業期間中に合宿形式で集中的に行われることもあります。学期終了後、一定の条件を満たした研究会において、十分な成果を収めた学生についてのみ、単位の認定が行われます。 「専門特殊研究」の履修には、相応の用意と覚悟が必要ですが、大学院の授業の内容や、形式を先取りして経験できるものであり、意欲のある学生はチャレンジしてみることをお勧めします。詳しくは、学部ホームページを参照してください。  学部 HP > 在学生の方へ > 科目登録 > 専門特殊研究・フィールド実習・ボランティア実践
フィールド実習	文学学術院専任教員が設置する実習プログラム（国内外のフィールドワークや現場実習、インターンシップなど）に参加し、その活動を卒業必要単位に認定する科目です。実習の活動報告書および成果物等を提出します。詳しくは、学部ホームページを参照してください。  学部 HP > 在学生の方へ > 科目登録 > 専門特殊研究・フィールド実習・ボランティア実践
ボランティア実践	学生が自らの意志で自発的に関わった福祉・災害救援・人権・平和・環境などの学内外でのボランティア及び社会貢献活動への参加を奨励するとともに、その意義やそこで捉えた問題意識を掘り下げ、自らの勉学への意欲や学問に向き合う姿勢につなげていく「ボランティア実践」は、そこで得られた体験や知見を活動報告書・レポートなどにまとめ、それに対して卒業必要単位に認定される科目です。但し、文学学術院の科目の一環として行った活動や宗教・政治に関わる活動は対象となりません。詳しくは、学部ホームページを参照してください。  学部 HP > 在学生の方へ > 科目登録 > 専門特殊研究・フィールド実習・ボランティア実践

専門演習	「専門演習」は、論系ごとに設定された個別のトピックに基づいて比較的少人数による調査や討論、文献講読などを行い、文化研究のアプローチを実践的に学び、自らの研究領域を構想するための広やかな視野と能力を得るための科目です。 Q. 専門演習は取り消しできますか？ A. 専門演習はクラス数に十分な余裕が無く、多くの選外が発生するため、取り消し出来ないことになっています。そのため、0 次登録を含めて登録する機会を 4 回設けています。
論系ゼミ	所属する論系内に各々に設定された専門分野について、グループ研究・グループ発表などを行いながら、研究テーマに沿った調査、合宿、研究報告書作成などを通じて、各自の課題関心をゼミ生が相互に刺激し合う中で深く掘り下げ、専門性を深めながらも、創造的に論じていくための科目です。 2 年次秋学期に、論系ゼミに所属することを選択申請したうえで、3 年次から 4 年次にかけて 2 年連続（4 セメスター）で履修します。4 年間の学修の成果として、専門演習や論系ゼミなどで深めた専門的な学修の成果として 4 年生にはゼミ論の作成・提出が義務づけられます。
ゼミ論文	専門演習や論系ゼミなどで深めた専門的な学修の集大成として、4 年次に作成・提出する論文です。 論系ゼミで深めた専門性と創造的な視点に基づいて、担当教員との綿密な指導を通じて 1 年間（2 セメスター）をかけて書き上げます。各論系ゼミごとに、研究テーマにそった執筆計画がとられ、提出の期限や方法も異なります。
卒業研究	論系ゼミで設定されている学術分野や研究テーマにとらわれることなく、あらゆる空間的・時間的な文化学のなかから、新しい時代にふさわしい文化をダイナミックに構想していく視点を持って、個別に研究テーマを設定し、専門演習などで深めた専門的な学修の成果として 4 年次に作成・提出する論文・作品です。 2 年次秋学期に、卒業研究を選択することを申請したうえで、4 年次に指導教員との綿密な個別指導を通じて 1 年間（2 セメスター）をかけて作成・提出します。自らの取り組みたい内容や計画を構想する「卒業研究計画書」や、それに基づいて決定した指導教員と論文執筆の取り組みを確認する「仮指導」、そして卒業研究の提出、さらには提出された卒業研究について必要に応じて指導教員との対面で実施される「口述試験」の合格といったプロセスを以って、単位を修得することができます。
文学研究科設置科目	文化構想学部・文学部在学生のうち、大学院文学研究科進学希望者および社会に出てからも更に高度な専門知識を活かしたいと希望する者に対し、大学院の授業科目を学部在学中に先取り履修できる科目です。 文学研究科進学後には、所定の条件を満たした場合、修了単位として認定を受けることができます。  学部 HP > 在学生の方へ > 科目登録 > 先取り履修

5-3-2. 他箇所設置科目

A 全学オープン科目

早稲田大学には、学部・学年を問わず全学生が履修できる科目が数多くあります。これらの科目を総称して「全学オープン科目」と呼びます。全学オープン科目は、グローバル・エデュケーション・センター（GEC）、留学センターをはじめ、学部や研究科、協定を結んでいる他大学などから幅広い分野にわたって提供されています。

学生の皆さんは、所属学部独自のカリキュラムに加えて「全学オープン科目」を選択履修し、修得した単位を所属学部の規定にしたがつて卒業単位に算入することができます。所属学部の授業と学部の垣根を越えた総合大学ならではのスケールで学ぶことのできる全学オープン科目を上手に組み合わせて、自分の世界を広げ、学ぶことの楽しさを実感してください。

全学オープン科目の提供箇所と履修方法について

項目 科目提供箇所	科目、講義内容、科目登録関連の参照先	授業・試験関連の参照先
学部・研究科	・科目提供箇所の Web ページ ・シラバスシステム（Web） ・「全学オープン科目履修ガイド」（Web）	・科目提供箇所の Web ページ
グローバル・エデュケーション・センター（GEC）		
留学センター		
協定他大学 （2年生以上対象・一部1年生も可）	・グローバル・エデュケーション・センターWeb ページ ・他大学交流システム（*1）	・科目を提供している大学の Web ページ（*2）

※全学オープン科目の単位の取り扱いについては、所属学部が発行する「学部要項」および「科目登録の手引き」、マニュアル等で確認してください。

*1...協定他大学提供科目を検索、登録するためのサイトです。アクセス方法は、GEC の Web ページで確認できます。

*2...各大学 Web ページは、「全学オープン科目履修ガイド」および GEC の Web ページで確認できます。

学部・研究科以外の全学オープン科目提供箇所

1 グローバル・エデュケーション・センター（GEC）（<https://www.waseda.jp/inst/gec/>）

GEC では、全学部・全研究科の学生が、専門分野に限らず全く異なる分野も学習できる多種多様な科目を展開しています。

すべての学問の基礎となる大学生の必須スキルとして、アカデミック・ライティング科目（「学術的文章の作成」ほか）、数学科目（「数学基礎プラスα（金利編）」ほか）、データ科学科目（「統計リテラシーα」「データ科学入門α」ほか）、情報科目（「プログラミング初級」ほか）、英語科目（「Tutorial English」「Academic Writing and Discussion in English」ほか）を提供します。また、早稲田大学以外では学ぶ機会の少ない言語科目や、多数の特色あるスポーツ実習科目（「ラグビー」「弓道」ほか）、日本語教育科目（「日本語教育学入門」ほか）等も提供しています。

人間の力量と呼ばれる科目群には問題解決型・体験型の実践的な学びを多く取り入れています。

科目の提供に加えて、GEC では「全学副専攻制度」を設けています。所属している学部で重点的に学ぶ「主専攻」のほかに、その他の学問分野を「副専攻」として体系的に学び、主専攻の補強、第二の強みの獲得、主専攻の応用領域の獲得などを目指します。全学副専攻の修了者には、卒業時に修了証明書が発行されます。

2 留学センター (<https://www.waseda.jp/inst/cie/>)

留学センターは、海外からの留学生受入れや本学の学生の海外留学支援はもちろん、国際教育プログラムの実施拠点として、留学プログラムと連動して履修できる科目、外国語学習・テーマ研究・異文化体験を中心とした短期留学科目のほか、海外の学生とともに授業を本学で履修するサマーセッション科目、海外大学からの教員を招聘して実施する「International Japanese Studies」の科目など、独自の科目を学部生に提供しています。

3 協定他大学 (https://www.waseda.jp/inst/gec/undergraduate/other_univ/)

早稲田大学は協定を結んでいる他大学と互いに科目を提供しあっています。早稲田大学には設置されていない各大学特有の科目も多くラインナップされており、登録の選択肢も広がります。他大学からの提供科目も所属学部の規定に従い卒業単位に算入することが可能です。ただし、履修は2年生以上が対象（一部科目については、1年生も履修可能）です。

B 他学部提供科目

各学部が他学部生に履修を認める科目（学部提供全学オープン科目も含む）です。設置学部での2次登録終了後に定員に余裕がある科目のみ申請することができます。

C 教職等資格関連科目

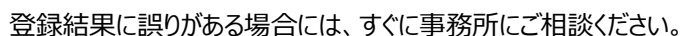
教員免許状を取得するために教育学部教職課程に設置された科目です。自由科目として扱われ、卒業や進級の所定単位数には算入されません。

6-1. 自動登録結果を確認する

自動登録の結果は MyWaseda の Web 科目登録画面（ピンク色の画面）で確認してください。📖資料 1 参照



春学期の自動登録時に必修科目が秋学期科目も含めて登録されます。春学期に休学・留学の学生には復学時に自動登録されます。



6-2. 科目を選ぶ

学部ホームページから参照してください。

■ 文化構想学部 科目登録ページ

科目登録に関する各種情報が掲載されています。科目登録の時期には「余裕定員表」などの科目登録に関する最新情報、科目名変更一覧、「科目登録の手引き」の変更や訂正情報が掲載されますので、必ず確認してください。



 [学部 HP](#)
 [> 在学生の方へ](#)
 [> 科目登録](#)

[illegible][illegible][illegible][illegible]

■ Web シラバス

各HP右上の「データ集」> [シラバス検索](#)

第 6 章 それでは科目登録をはじめよう



早稲田大学全学部の各科目の時間割・授業概要・授業の到達目標・授業計画・教科書・成績評価方法・関連 URL・備考が確認できます。

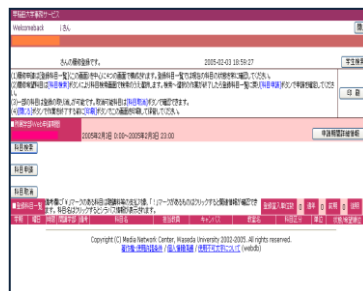
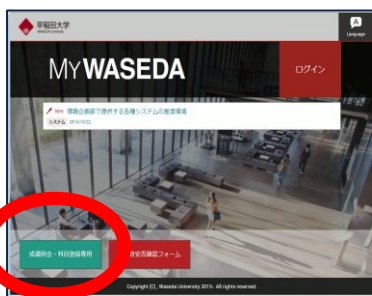
科目登録を行う際は、Web シラバスの内容を確認してから申請をしてください。

なお、授業開始後は最新の授業実施教室も Web シラバスで確認することができます。

6-3. 科目登録する

科目登録は MyWaseda の Web 科目登録画面（ピンク色の画面）で申請してください。科目申請、科目取消、科目区分変更といった手続きや、科目登録の結果を確認するためのページです。申請締め切り時間の直前は大変混雑しますので、時間に余裕をもって期間の前半に申請を行ってください。

緑の ⇒
ボタン



操作手順は

 [資料 1](#) 参照

Q. 科目の検索ができない

A. 科目登録期間が始まる前は Web 科目登録画面で検索できません。また、科目登録期間中でも定員〆切となっている科目は表示されません。

Q. 期限に間に合わなかった

A. 登録期間外の申請はいかなる場合も認められません。これは、P C やネットワークの不調を理由として期限を過ぎた場合でも同様に認められません。学外環境では P C やネットワークの不具合により申請がうまくできない場合があるので、不安のある方は大学内コンピュタールームの P C を利用して登録を行うことを推奨します。

Q. 本当に申請ができているか心配です

A. もう一度 Web 科目登録画面を開いて、選択した科目が「申請中」となっていれば正しく申請済です。

■ 戸山キャンパス内のコンピュタールームと開室時間

号館	階	教室	月～金	土
34 号館	3F	356、357	9:00-20:00	9:00-18:00
36 号館	4F	MM1、MM2		
		MM準備室	9:00-20:15	9:00-18:15

※これは授業期間中の開室時間です。
休業期間等を含めた最新の開室状況は“[Waseda IT Service Portal](#)”よりご確認ください。

■ 推奨環境 Web 科目登録の推奨環境は“[Waseda IT Service Portal](#)”をご確認ください。



“Waseda IT Service Portal”で検索 [<https://support.waseda.jp/it/>]

コンピュタールームや自動証明書発行機の位置・開室時間、MyWasedaをはじめとする、ネットワーク利用案内情報が掲載されています。PC の推奨環境やネットワークの障害情報なども掲載されていますので、適宜参照ください。

PC・ネットワーク関連でのトラブルについては、「よくある質問」を確認することで、多数のケースが解消できます。



■セッションタイムアウト

Web 履修申請画面にて、約 20 分間操作（「登録ボタンを押す」などサーバーとのやり取りがあること）が無い状態が続くと、自動的にサーバーから接続が切れてしまいます（これを「セッションタイムアウト」と呼びます）。一度接続が切れてしまうと、選択・作成中の情報（データ）が消去され、再度ログインからの操作が必要になります。

※「セッションタイムアウト」等を理由とする期間後の申請には一切応じられませんので、十分ご注意ください。



■Web 科目登録の利用可能時間帯

①毎日午前 2 時～午前 7 時はメンテナンス時間のため、Web 科目登録は利用できません。

②利用が集中し、システムの安定稼働に不都合が発生すると判断した場合は、学籍番号末尾による利用時間の指定を実施する場合があります。実施時は MyWaseda のお知らせ機能等でお知らせします。

Web 科目登録	メンテナンス時間 毎日 2:00 ～ 7:00（利用不可）
成績照会	メンテナンス時間 毎日 5:00 ～ 8:00（利用不可）

6-4. 代理人登録について

科目登録は原則として Web 科目登録のみですが、やむを得ず Web 科目登録を行えない場合は代理人による登録を受け付けます。各科目登録期間の初日に以下の書類を持参してください。

a) 委任状 b) 科目登録申請書 c) 委任者学生証コピー d) 代理人身分証明書コピー

※ 委任状・科目登録申請書は文化構想学部ホームページよりダウンロードが可能です。

( [文化構想学部ホームページ](#) > [在学生の方へ](#) > [科目登録](#) > [代理人登録](#))

6-5. 登録結果を確認する

科目登録の結果は Web 科目登録画面（ピンク色の画面）で確認してください。  [資料 1](#) 参照

0～3 次登録結果 履修条件のチェック、抽選等を経て、その結果が発表されます。



最終登録結果 Web 科目登録画面で最終的な登録結果を確認してください。

6-6. 聴講料・実験実習料納入



聴講料・実験実習料の必要な科目が登録決定になったら、対象科目ごとに定められた期間に聴講料・実験実習料を納入してください。

No.	登録学期	納入対象科目	納入期間
1	春学期	春学期 1 次登録で決定した「Tutorial English」のみ	4 月 8 日（火）～4 月 14 日（月） 23:59
2		No.1 以外の春学期科目登録で決定した聴講料・実験実習料支払い対象全科目	4 月 24 日（木）～4 月 28 日（月） 23:59
3	秋学期	秋学期 1 次登録で決定した「Tutorial English」のみ	9 月 26 日（金）～10 月 2 日（木） 23:59
4		No.3 以外の秋学期科目登録で決定した聴講料・実験実習料支払い対象全科目	10 月 15 日（水）～10 月 20 日（月） 23:59

登録決定となった科目の納入期間初日に、Waseda メールアドレス宛に「納入案内メール」が届きますので、メールに記載された手順に従って納入してください。（日本語教育研究センター設置科目は納入票の受取が必要です）

※ 納入案内メールが[迷惑メール]や[ゴミ箱]のフォルダに紛れてしまうことがありますので、見つからない場合は検索ワード：[fee-payment]で検索してみてください。

※ 詳しくは GEC ホームページまたは「全学オープン科目履修ガイド」を参照してください。



● **期日を遅れての聴講料・実験実習料の納入は一切認められません。**

（納入期限間際に納入を試みたが、完了しなかった場合も含む）

未納の場合は、当該科目が取消となるだけでなく、以降の科目登録での抽選における優先順位が下がることがあります。

● **科目ごとに分けての納入・納入後の返金はできません。**

聴講料・実験実習料の合計が高額になる場合がありますので、期日内に納入可能であることを確認してから科目登録をおこなってください。合計金額をすべて納入する必要があります。

● **納入方法の確定後は、別の方法に変更できません。**



● **教職課程の聴講料について**

入学年度によって教職課程の聴講料が異なる場合があります。必ず教育学部発行の『教職課程履修の手引き』を確認してください。



● **図書館司書および学校図書館司書教諭関連科目の聴講料について**

一度納入すれば、在学中有効です。詳細は、教育学部教職課程発行の『教職課程履修の手引き』を確認してください。



**納入を忘れると、
当該科目が取消になって
しまいます！**

資料 1

Web 科目登録操作手順

Web 科目登録利用手順

※凡例  …中心となる作業。数字は、作業順序**【注意】科目登録をWEBで申請する場合、申請する科目をあらかじめ決めて申請をしてください！**

1. Web 科目登録の流れ

「成績照会・科目登録専用ログイン」画面からのログイン

○MyWaseda ログイン前画面左下の＜成績照会・科目登録専用＞

をクリックし＜成績照会・科目登録専用ログイン＞画面からログインを行い、
＜成績照会・科目登録専用メニュー＞から科目登録を選択します。

○登録済みの科目を確認します。

登録科目一覧の確認

①科目検索

- [科目検索]ボタンをクリックすると科目検索画面が表示されます。
- 科目開講箇所を選択し科目群、検索条件を指定して[科目検索]ボタンをクリックします。
- 検索条件に合う履修の許可される科目が表示されます（それ以外の科目は非表示）。

②科目の[選択]

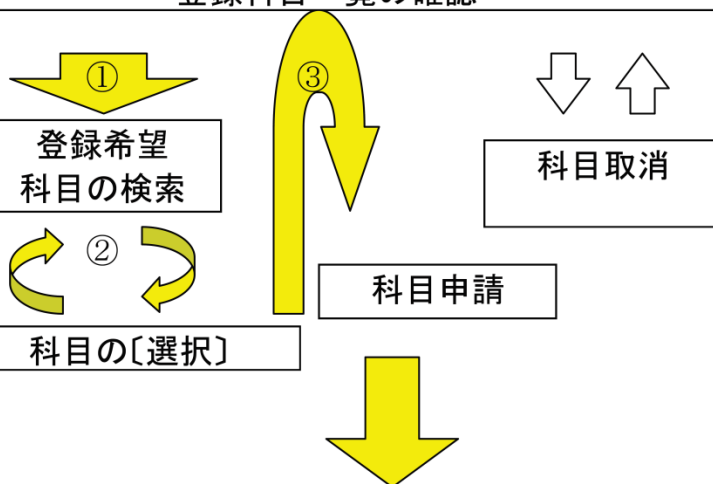
- 選択チェックボックスにチェックを入れます（次の科目を検索するか登録科目一覧に戻ると選択中となります）。※この作業を繰り返します。

③科目申請

- 選択中の科目を[科目申請]ボタンをクリックして申請します。

【重要】

- 検索結果を選択しただけでは、申請は完了しません。必ず[科目申請]ボタンをクリックして、申請を行ってください。
- 登録科目一覧の状態欄に“申請中”と表示されていれば、申請は完了しています。



申請中

エラー

○エラーの場合、エラー内容を確認してエラーを解消します。

抽選/登録チェック

○抽選／登録チェックは大学の行う作業です。

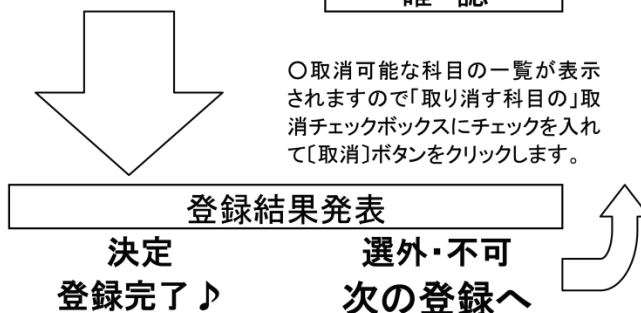
科目取消

○登録科目一覧画面から[科目取消]ボタンをクリックします。

確認

○申請中となった科目は申請が完了しています。登録結果発表で抽選結果を確認します。

○申請時のチェックで判定を行わない履修規定については、その登録結果発表にて併せて発表されます。



2. Web 科目登録画面説明

Web 科目登録は、すべてこの画面（ログイン後、メニューから科目登録を選択した状態）から行います。

(1) 履修申請は[登録科目一覧]（この画面）を中心に4つの画面で構成されます。登録科目一覧では現在の科目の状態を常に確認してください。

(2) 履修希望科目は[科目検索]ボタンにより科目検索画面で検索のうえ選択します。検索～選択の作業が終了したら登録科目一覧に戻り[科目申請]ボタンで申請を確定してください。

(3) 一部の科目は登録の取り消しが可能です。取消可能科目は[科目取消]ボタンで確認できます。

(4) 一部の科目は科目区分の変更が可能です。変更可能科目は[発表後算入変更]ボタンで確認できます。

(5) [閉じる]ボタンで作業を終了する前に[印刷]ボタンでこの画面を印刷して保管してください。

(1) 所属学部Web申請期間
春学期1次登録 2013年3月30日 10:00～2013年4月2日 17:00 申請期間詳細情報

(3) 科目検索
科目申請
科目取消
発表後算入変更

(2) 登録科目一覧

学期	曜日	時限	開講学部	備考	科目名	担当教員	キャンパス	教室名	科目区分	単位	状態/希望順位
春学期	月	38時限	政経		政治学基礎 03	谷藤 悦史	早稲田	15-202	専門・関連・政治	2	申請中
春学期	水	28時限	政経		ゲーム理論入門 03	船木 由喜彦	早稲田	15-401	基礎・入門:必修以外	2	申請中
春学期	金	48時限	政経		比較宗教学α 01	鎌田 東二	早稲田	15-201	隣接・文化・歴史	2	申請中
春学期	土	38時限	政経		計量分析 01	松村 幸輝	早稲田	4-307(PC室)	専門・基礎:必修以外	2	申請中
春学期	月	18時限	政経		経済学入門A 03	長江 亮	早稲田	8-B101	基礎・入門:必修	2	決定
春学期	月	28時限	政経		解析学入門 01	西原 健二	早稲田	1-301	基礎・数学:必修	4	決定

(1) 申請期間表示

科目により申請締切日が異なります。科目群ごとの申請期間を確認してください。

(2) 登録科目一覧

現在の科目登録の状態を科目ごとに表示します。備考欄に「〒」マークの表示される科目は聴講料等の納入が必要です（期限までに納入しない場合、申請科目の登録が取り消されます）。

(3) 各機能ボタン

〔科目検索〕〔科目申請〕〔科目取消〕の各機能ボタンが用意されています。

①〔科目検索〕

〔科目検索〕ボタンを押すと「科目検索画面」に遷移します。「科目検索画面」では、申請しようとする科目の開講箇所を指定して〔確定〕ボタンを押し、科目群を選択します。検索条件には必ず1項目以上を入力します。〔科目検索〕ボタンを押すと申請可能な科目のリストを表示します（履修できない科目はあらかじめ検索対象から除かれます）。

②〔科目申請〕

〔科目申請〕ボタンを押すと、選択中の科目の申請を確定するための確認画面が表示されます。

③〔科目取消〕

〔科目取消〕ボタンを押すと、科目取消を確定するための確認画面が表示されます。取り消すことができるのは、選択中、申請中の科目が対象です。

※学部によっては限られた期間内で登録決定科目を取り消すことができます。

(4) 印刷ボタン

使用中のPCがプリンターに接続している場合、このボタンを押すことで画面イメージを印刷することができます。申請科目の保管に利用してください。

3. Web 科目登録利用手順

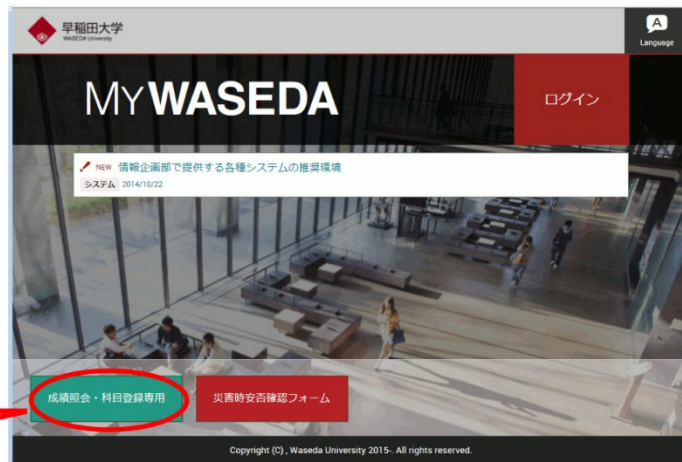
1 成績照会・科目登録専用メニュー

<https://my.waseda.jp/>

上記のURLにアクセスし、
＜成績照会・科目登録専用＞を選択します。

- 専用メニューはMyWaseda ログイン画面の左下にあります
- 科目登録期間中は専用メニューを利用してください。

成績照会・科目登録専用



2 ログイン

Waseda メールアドレス、パスワードを入力して「Login」ボタンをクリックします。

WASEDA University
サインイン

アカウントにアクセスできない場合

WASEDA University
← XXXXXXX@waseda.jp
パスワードの入力

パスワードを忘れた場合

【重要】2021年8月21日より、ログイン画面に加えて、**ログイン時のIDがWasedaメールアドレスに変更**されましたのでご注意ください。詳細はこちらをご参照ください。ログインできない場合（パスワードを忘れた、等）はこちら、初回ログインの方ははこちらをご参照ください。

【重要】2021年8月21日より、ログイン画面に加えて、**ログイン時のIDがWasedaメールアドレスに変更**されましたのでご注意ください。詳細はこちらをご参照ください。ログインできない場合（パスワードを忘れた、等）はこちら、初回ログインの方ははこちらをご参照ください。

3 成績照会・科目登録専用メニュー

ログインすると「成績照会・科目登録専用メニュー」が表示されます。
＜科目登録＞のリンクをクリックします。

○履修申請に関する問い合わせを行う場合には、「お問い合わせフォーム」ボタンをクリックし、必要事項を記入し送信してください。

成績照会・科目登録専用メニュー
「成績照会・科目登録専用メニュー」

- ▶ **科目登録**
- ▶ 成績照会
- ▶ Waseda-netメール

※学部等によって締切日時が異なります。[科目登録関連情報](#)にてご確認ください。

■ ガイド
科目登録日程(締切日時)や利用方法を確認したい
曜日・時間などが講義要項と異なる(変更情報)
よくある質問を確認したい
その他、Web科目登録について質問したい

- 39 -

4

登録科目一覧

科目登録をクリックすると「登録科目一覧画面」が表示されます。
自動登録科目など、登録済科目の状態や時間割を確認します。

- 登録算入単位数で卒業単位に算入される登録済科目の合計単位数がわかります。制限単位数と比較しながら申請してください（登録算入単位数は、通年・春学期・秋学期の合計となります）。

(1) 履修申請は「登録科目一覧」(この画面)を中心に4つの画面で構成されます。登録科目一覧では現在の科目の状態を常に確認してください。

(2) 履修希望科目は「科目検索」ボタンにより科目検索画面で検索のうえ選択します。検索～選択の作業が終了したら登録科目一覧に「科目申請」ボタンで申請を確定してください。

(3) 一部の科目は登録の取り消しが可能です。取消可能科目は「科目取消」ボタンで確認できます。

(4) 一部の科目は科目区分の変更が可能です。変更可能科目は「履修算入変更」ボタンで確認できます。

(5) 「印刷」ボタンで作業を終了する前に印刷ボタンでこの画面を印刷して保管してください。

所属学部Web申込期間 2013年3月30日 10:00～2013年4月2日 17:00 申請期間詳細情報

科目検索

科目申請

科目取消

履修算入変更

登録科目一覧

履修算入単位数 28 学年 0 学期 22 秋学期 6

学期	曜日	時間	開講学部	備考	科目名	担当教員	キャンパス	教室名	履修単位数	科目区分	履修状況
春学期	月	2時限			経済学基礎09	谷藤 悦史	早稲田	15-202	専門・関連・経済	2	申請中
春学期	水	2時限			ゲーム理論入門09	鈴木 由喜恵	早稲田	15-401	基礎・入門・必修以外	2	申請中

5

科目検索

登録希望科目を検索します。

- 学部を選択し「確定」ボタンを押します。
- 次に科目群の中から登録を希望する科目の科目群を選択します。
- 検索条件を1項目以上を入力して「科目検索」ボタンを押します。
- 希望の科目が見つからない場合は検索条件を再度確認し、検索条件を例えば学期のみにするなど極力減らして検索してください。

1. 科目の開講学部を選択して「確定」ボタンを押してください。

2. 科目群を選択してください。

3. 検索条件(1項目以上)を指定して「科目検索」ボタンを押してください。

科目名

学期

曜日

時限

科目検索

いろいろな検索方法

▼科目名
部分一致検索です。

▼曜日・時限
プルダウンメニューで学期・曜日・時限を指定して検索することができます。

6

科目の選択

科目を選択するには、検索結果から科目名の左側にある選択チェックボックスにチェックを入れます。

複数の科目を同時に選択することができます。

選択チェックボックスにチェックが入っている状態で検索を終了して一覧へ戻るをクリックするか次の科目を検索します。選択した科目は登録科目一覧で、[選択中]と表示されます。

2. 科目群の選択

経済学部11(経済科目群)

科目群を選択してください

科目名

学期

曜日

時限

選択

学期

春学期

検索を終了して一覧へ戻る

7

科目申請

選択が終了すると一覧画面に戻り、選択した科目の状態は「選択中」となっています。

「選択中」の科目は「科目申請」ボタンを押して申請を確定します。

- 科目検索を繰り返して複数の科目を同時に申請することもできます。

- 「選択中」の科目がある場合は、「[選択中]の科目があります。[科目申請]ボタンで科目を申請してください。」というメッセージが表示されます。

8

申請の確認

「OK」ボタンをクリックすると申請時登録チェックが行われ、科目の履修可否が判定されます。

- エラーがない場合は状態が「選択中」から「申請中」に変わります。
- エラーが発生するとエラーメッセージが表示されますので、エラーの原因となった科目を取り消して問題を解消し、あらためて「科目申請」ボタンを押してください。

9

科目取消

登録期間中は「申請中」「選択中」の科目を取り消すことができます。科目を取り消すには「科目取消」ボタンをクリックします。

※登録決定科目の取り消し

一部の科目で登録決定科目の取り消しを限られた期間内に行うことが可能です。一度取り消すと登録データが消えてしまい、**再度登録決定に戻すことはできません**ので、十分注意してください。

10 取消の確認

取り消し可能な科目の一覧が表示されますので、取り消したい科目のチェックボックスにチェックを入れて「取消」ボタンを押してください。

○取消ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

さんの履修登録です。 2013-04-01 17:18:12

取消可能な科目は下記の通りです。取り消しますか？
取り消さない場合は登録科目一覧画面へ戻ってください。

取消可能な科目一覧 ☐ 取消 ☐ 科目をチェックし「取消」ボタンを押すと科目が取り消されます。
☐ 取り消しせずに登録科目一覧へ戻る

取消	学期	曜日	時限	開講学部	備考	科目名	担当教員	キャンパス	教室名	科目区分	単位	状態/希望順位
☒	春学期	月	2時限	政経		経済学入門A 03	長江 亮	早稲田	B-B101	基礎・入門・必修	2	選択中・既修済・登録済エラー

11 登録一覧画面の印刷

もし利用中の PC にプリンターが接続されていたら、申請作業が終了した時点で登録科目一覧画面を印刷して保管してください。

- 科目の状態が「申請中」となっている科目が申請の確定した科目です。「選択中」の科目は画面を閉じると情報が破棄されてしまいますので「科目申請」ボタンで申請を確定してください。
- プリンターが接続されていない場合は、申請した科目の状態をメモに残して保管しましょう。

(1)履修申請は[登録科目一覧]この画面を中心として4つの画面で構成されます。登録科目一覧では現在の科目の状態を常に確認してください。
(2)履修希望科目は[科目検索]ボタンにより科目検索画面で検索のうえ選択します。検索～選択の作業が終了したら登録科目一覧に戻り[科目申請]ボタンで申請を確定してください。
(3)一部の科目は登録の取り消しが可能です。取消可能な科目は[科目取消]ボタンで確認できます。
(4)一部の科目は科目区分の変更が可能です。変更可能な科目は[履修科目変更]ボタンで確認できます。
(5)印刷ボタンで作業を終了する際に[印刷]ボタンでこの画面を印刷して保管してください。

※所属学部Web申請規定
春学期1次登録 2013年3月30日 10:00～2013年4月2日 17:00 申請期間詳細情報

科目検索
科目申請
科目取消
履修科目変更

※登録科目一覧
画面に「★」マークのある科目は聴講料等の支払対象。[関連URL]ボタンは関連するWebサイトへのリンク。[入力欄]ボタンは追加で登録する履修の申請画面へのリンクを表示します。科目名はクリックするとシラバス情報が表示されます。

登録科目一覧	学期	曜日	時限	開講学部	備考	科目名	担当教員	キャンパス	教室名	科目区分	単位	状態/希望順位
春学期	月	2時限	政経			経済学入門 03	谷藤 悦史	早稲田	15-202	専門・関連・政治	2	申請中
春学期	水	2時限	政経			ゲーム理論入門 03	鈴木 由喜彦	早稲田	15-401	基礎・入門・必修以外	2	申請中

資料 1 Web 科目登録画面操作手順

登録科目一覧画面上、科目の状態は、次のとおり遷移します。

状 態	説 明	状 態	説 明
選択中	科目検索－〔選択〕後の状態。このまま作業を終了すると選択は無効となります。取消可。	不可	〔選択〕〔申請〕後、履修上の問題があり申請が許可されなかった科目。(発表期間中の表示)
申請中	〔申請〕ボタンにより申請の許可された科目。取消可。	処理中	申請期間が終了し処理中の状態。取消不可。 (申請期間終了後、発表開始前までの表示)
決定	履修の決定した科目。取消不可。(発表開始後の表示)	選外	履修希望者が定員を超えていたため無作為抽選が行われ抽選に外れ、履修の許可されなかった科目。(発表期間中の表示)

※表示件数の制限について

条件を入力し、科目の検索を行う際に検索結果が 100 件より多い場合には、検索結果表示欄にエラーメッセージが表示されます。このメッセージが表示された場合は、曜日、時限、科目名の先頭の数字など、検索条件を追加してから、再度検索を行ってください。

いろいろな申請方法

希望順位登録：希望順位登録とは、抽選が行われる可能性が高い科目を同時に複数申請できる登録方法です。希望順位を選択できる科目群は、希望順位選択のプルダウンメニューが表示されます。希望順位を選択する場合は、必ず第 1 希望から順に選択してください。例えば、第 2 希望のみを選択した場合、抽選は第 1 希望者の後に行われますので、科目を登録できる可能性は極端に低くなります。

科目区分変更：検索結果一覧に表示される「科目区分」の欄がプルダウンメニューで選択可能になっている場合は、科目区分を変更して申請することができます。例えば登録制限単位数オーバーエラーになった科目を一度取り消し、科目区分を制限単位に算入されない科目区分に変更してあらためて申請することにより、申請が受け付けられる場合があります。

科目区分	単位	希望順位
選外・他箇所	2	General Tutorial English(希望順位入力) 1
選外・他箇所	2	General Tutorial English(希望順位入力) 1, 2, 3

科目区分	単位
基礎・社会	4
基礎・社会	
基礎・超過履修	

● 他箇所設置科目を申請してみましょう。

学部を変更し[確定]ボタンをクリックします。
次に科目群の中から登録を希望する科目の科目群を指定します。自学部の科目登録と同じ要領で科目を検索し、選択後、科目申請ボタンを押して申請します。

1. 学部の選択

グローバル

確定

2. 科目群の選択

所定外科目

資料1 Web 科目登録画面操作手順

● 登録結果を確認しましょう。

各登録の発表日時になると、申請した科目の登録結果が発表されます。登録が認められた科目は「決定」、抽選の結果、登録できなかった科目については「選外」、登録エラーのため登録できなかった科目については「不可」がそれぞれ表示されます。

科目区分	単位	状態/希望順位
基礎・社会	4	申請中
基礎・社会	4	申請中
基礎・人文	2	選外
必修・英語 I	2	決定 英語 I (必修) ~3/25/2

4. Web 科目登録上の注意事項

申請科目のチェック機能について

Web 科目登録では、科目申請時に以下のチェックが行われエラー情報を表示します。

[主な登録エラー]

エラー名称	エラー内容	解消方法
既登録エラー	既に登録されている科目を申請している	申請できないため科目取消する
希望順位重複エラー	希望順位を指定する場合に既に同一の希望順位で科目を申請している	同一希望順位の科目についていずれかを科目取消する
曜日時限重複エラー	既に申請・登録されている科目と曜日時限が重複する科目を申請している	いずれかの科目を取消する
前提条件エラー	履修の前提となる条件を満たしていない	申請できないため科目取消する
遠距離エラー	休み時間内で移動できないキャンパスの科目を申請している	いずれかの科目を取消する
制限単位数エラー	登録可能な単位数の上限を超えて申請している	いずれかの科目を取消するか、修正せずに申請を行う (※)

この他にも履修規則上のエラーがあります。内容がわからない場合は、「科目登録関連冊子」などを参照して問題を解決してください。

※制限単位数エラーは修正しなくても申請可能です。但し、エラーのまま申請を行った場合は、登録結果発表時に無作為に選ばれた科目がエラーとなるため注意してください。

5. その他の機能

● 関連ページへのリンク

科目検索画面の備考欄に「関連 URL」ボタンが表示される科目は、関連するホームページへのリンクが設定されています。必要な情報が記載されていますので、必ずクリックして確認ください。

備考	科目名
関連URL	EU/欧州統合研究入門

● 志望理由等の入力が必要な科目

科目検索画面の備考欄に「入力有」が表示される科目は、別画面から「申請フォーム」を呼び出し、志望理由などの内容を入力する必要がある科目です。

※申請フォームは 120 分間操作がないとセッションが切れ、再度呼び出す必要がありますのでご注意ください。

備考	科目名
入力有	EU/欧州統合研究入門

資料1 Web 科目登録画面操作手順

● 聴講料等が必要な科目

科目検索画面の備考欄に「¥(要聴講料等)」が表示される科目は、聴講料等が必要な科目です。

備考	科目名
¥(要聴講料等) 関連URL	General Tutorial English (初級) 37 (早稲田)

● Web シラバスの参照

科目選択画面で科目名をクリックすると、該当科目の Web シラバスを参照することが可能です。

科目名	担当教員
学際研究入門(現代福祉)	久塚 純一

6. エラー表示について

● サービスを提供することができない場合

以下のメッセージが表示された場合は、[お問い合わせフォーム]ボタンを押し、必要事項を記載の上、問い合わせを行ってください。

早稲田大学事務サービス
Welcomeback [] さん
学生向けサービス

サービスを提供することができませんでした。

2014-01-27 17:26:32
エラーコード: 1122-03.5

このエラーに関するお問い合わせはフォームから必要事項を記載し、送信してください。
[お問い合わせフォーム](#)

※内容によっては、返信メールに時間がかかる場合があります。

● 操作を受け付けることができない場合

全てのブラウザを閉じて、「成績照会・科目登録専用ログイン」からログインしてご利用ください。

早稲田大学事務サービス
Welcomeback [] さん
学生向けサービス

操作を受け付けることができません。

次の原因が考えられます。

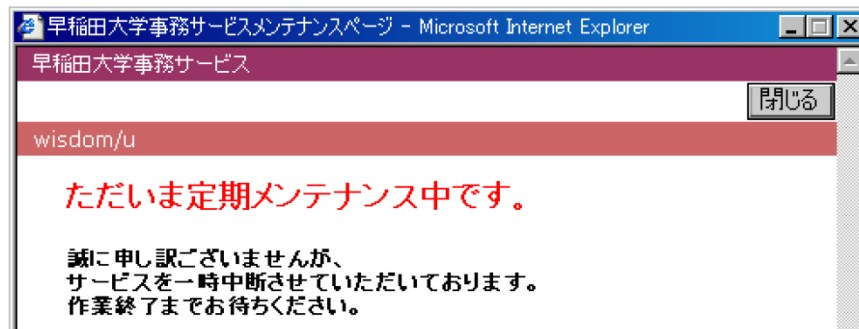
※初期ログイン ID でログインしている。
※「成績照会・科目登録専用メニュー」から「科目登録」を選択していない。
※「成績照会・科目登録専用メニュー」から「科目登録」を選択した後、長時間操作していない。

※初期ログイン ID でログインしている場合は、Waseda ID 取得後にご利用ください。
※「科目登録」は必ず「成績照会・科目登録専用メニュー」から「科目登録」を選択してください。

資料 1 Web 科目登録画面操作手順

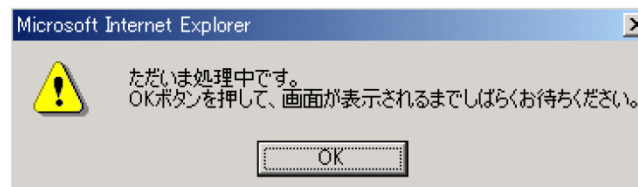
● メンテナンス中の場合

Web 科目登録システムはシステム最適化作業のため、毎日、メンテナンス時間を設けています (2:00AM~7:00AM)。メンテナンス中の場合、以下のメッセージが表示されます。



● 同じボタンを続けて複数回押してしまった場合

[OK] ボタンを押して、処理が終了するまでお待ちください。



7. 推奨環境について

Web 科目登録の推奨環境は下記のウェブサイトをご確認ください。

http://www.waseda.jp/navi/services/system/sys_requirements.html

以上

資料 2

用語集

用語	説明								
学期	春学期のみ授業を行う科目は「春学期」、秋学期のみ授業を行う科目は「秋学期」と表示される。年間を通して授業を行う科目は「通年」、夏季休業期間に授業が行われる科目は「夏季集中」（夏季集中の科目は授業日程に十分注意すること）。								
クォーター科目	通常の春学期科目（14 週間）や秋学期科目（14 週間）の半分の 7 週間で実施する科目です。 <table><tr><td colspan="2">春学期</td><td colspan="2">秋学期</td></tr><tr><td>春クォーター</td><td>夏クォーター</td><td>秋クォーター</td><td>冬クォーター</td></tr></table>	春学期		秋学期		春クォーター	夏クォーター	秋クォーター	冬クォーター
春学期		秋学期							
春クォーター	夏クォーター	秋クォーター	冬クォーター						
科目区分	科目のカリキュラム上の分類。科目区分には、必修基礎演習、基礎講義、基礎外国語、講義、自由科目、専門演習などがあり、科目区分ごとに卒業のために必要となる単位数が定められている。								
配当年次	当該科目を履修可能な学年を表す。当該学年以上の学年が履修可能。 例）配当年次：2 年以上 → 2 年生以上が履修可能な科目								
科目名	科目に付いているアラビア数字（1・2 など）までが科目名。例外として、必修基礎演習、選択基礎演習、基礎講義のアラビア数字はクラスを表す。 例）「人文地理学 2」								
クラス	「科目名」のあとに続く、「A」や「B」などの英字、または必修基礎演習、選択基礎演習、基礎講義のアラビア数字（科目には、複数クラス開講されているものと、1 クラスのみ開講されているものがある）。 例）「書道（書写） 1 A」・「必修基礎演習 1」 注意：科目登録により決定した「クラス」の授業を受講してください。他のクラスに出席し試験を受けても単位は修得できません。また、試験やレポートでは必ず「クラス」を記入してください。								
ブリッジ科目	文化構想学部・文学部を横断した共通科目で、約 1,100 科目設置されている。どちらの学部生も学部の枠を超えて人文・社会科学等の古典から先端領域まで幅広く履修できます。「講義」「選択英語」「選択外国語」がブリッジ科目となっています。								
必修科目	卒業するために必ず単位を修得しなければならない科目。								
自由科目	卒業に必要な単位として扱われず、年間履修制限単位数にも含まれない科目。他箇所設置科目や教職等の資格関連科目が自由科目に該当するが、一部科目は科目申請時に、科目区分を変更して申請することで、卒業に必要な単位として扱うことも可能。								
全学オープン科目	グローバル・エデュケーション・センター、日本語教育研究センター、留学センター設置科目の他、各学部があらかじめ他学部生に対しても開放している科目。								
他学部提供科目	各学部が「全学オープン科目」以外の科目で定員に余裕がある場合に、他学部生に対しても開放する科目。3 次登録で申請することが可能。								
履修学年	履修上の学年を指し、科目登録ではこの履修学年に配当された科目を履修することになる。「形式学年」は過去に休学や留学をした場合でも次年度（4 月）になると 1 年加算されるが、「履修学年」については過去に休学がある場合、「形式学年」から休学年数を減じたものとなる。留学については留学形態によって異なる。								

資料 2 用語集

年間登録制限単位数	1 年間に登録可能な単位数の上限。修得（合格）した単位数ではなく、“登録した”単位数。
半期登録制限単位数	半期あたりに登録可能な単位数の上限。修得（合格）した単位数ではなく、“登録した”単位数。
抽選	履修希望者数が、あらかじめ定められている科目の定員や、割り当てられている教室の収容定員を超えてしまった場合に行われる。抽選に外れた科目は登録されない。
余裕定員表	定員に余裕があり、申請可能な科目の一覧表。 学部ホームページ > 在学生の方へ > 科目登録 > 余裕定員表 で確認することができる。
聴講料・実験実習料	一部科目の受講（登録）にあたって必要となる費用。期限までに納入しなかった場合、聴講料・実験実習料を必要とする科目が取消となるだけでなく、今後抽選時の優先順位がさがることがある。また、聴講料・実験実習料の要否については、Web 科目登録画面から確認することができる。
再履修	以前に登録して成績が不合格であった科目を再び登録・履修すること。必修科目については、成績が合格となるまで再履修を繰り返すことになる。

資料 3

選外者多数発生科目（50 名以上）

申請者を集計し、希望者が定員を上回る科目については、抽選を行います。抽選に漏れた場合には、選外となりその科目は受講できません。昨年度の「選外者数が 50 名以上発生した科目の一覧」については、下表を参照してください。

※科目名は 2024 年度の科目名です。休講・廃止・名称変更になっている科目については、別途ホームページを参照ください。

科目名	選外者数	科目名	選外者数
中国語字幕翻訳 2	50 名以上	中国語字幕翻訳 1	80 名以上
多元文化論系演習（現代ヨーロッパの諸問題）	50 名以上	第三外国語としてのイタリア語入門 1	80 名以上
第三外国語としての朝鮮語入門 1 B	50 名以上	Academic Skills (Reading) Ms C	80 名以上
フランス語の資格をめざす 1（初級） A	50 名以上	Academic Skills (Online) s D	80 名以上
表象・メディア論系演習（ポピュラー音楽論 1）	50 名以上	第三外国語としてのフランス語 1 B	90 名以上
Academic Skills (Reading) Ms B	50 名以上	スペイン語中級（文化を知る） 1	100 名以上
神経・生理心理学	50 名以上	第三外国語としてのフランス語 1 A	100 名以上
文芸・ジャーナリズム論系演習（書物の経済学）	50 名以上	Academic Skills (Reading) Mf D	110 名以上
Academic Skills (Reading) Mf C	60 名以上	Academic Skills (Reading) Mf H	110 名以上
Academic Skills (Discussion) Ms B	60 名以上	第三外国語としての朝鮮語入門 1 A	120 名以上
Academic Skills (Reading) Mf B	60 名以上	複合文化論系演習（感性文化基礎論）	130 名以上
Academic Skills (Online) f D	60 名以上	Academic Skills (Reading) Ms H	130 名以上
文芸・ジャーナリズム論系演習（読者認識論 1）	60 名以上	Academic Skills (Writing) Ms F	130 名以上
現代人間論系演習（現代人のアイデンティティの心理）	70 名以上	Academic Skills (Writing) Uf A	140 名以上
Academic Skills (Online) s A	70 名以上	Academic Skills (Reading) Ms D	160 名以上
表象・メディア論系演習（広告イメージ論）	70 名以上	Academic Skills (Writing) Mf B	180 名以上
表象・メディア論系演習（身体行為分析）	70 名以上	サブカルチャー論 1	180 名以上
Academic Skills (Reading) Ms G	70 名以上	Academic Skills (Writing) Ms B	180 名以上
Academic Skills (Writing) Ms H	70 名以上	オカルト芸術論	200 名以上
Academic Skills (Writing) Mf F	70 名以上	絵画の見方	300 名以上
Academic Skills (Writing) Us A	70 名以上	芸術と社会	400 名以上
朝鮮語中級 A	70 名以上	生活環境美学	500 名以上

資料4

Q&A

学生生活を始めるにあたって、1年生が疑問に思うことを先輩たちにアンケートしました。先輩たちからのアドバイスで不安も少しやわらぐかと思います。ぜひ、参考にしてください。※様々な意見があるので、よく考えて科目登録をしてください。

科目の取り方について



春と秋、どちらを多くするのがおすすめですか？

- 春です。春に多く取って、夏休みで発散して、秋にのんびりすると、期末試験も少ないままお正月へ突入できます。（お正月明けは試験なので、秋は少ないほうが楽です。）
- 春に 22 単位、秋に 20 単位で取りました。春は基礎講義（必修のオンデマンド授業）があるので、それ以外でちょうど両方週 10 コマにしました。
- 春は大学生活に慣れよう。第二外国語（基礎外国語）をとにかく攻略したほうが良い。秋になると雰囲気分かってくるので、秋に多くするのも良いかと思う。
- 大学の講義は高校までと異なる点が多く、特に 1 コマ 100 分というのは体が慣れるまでに時間のかかる人もいます。体力や学習に不安のある人は春を少なめにした方がいかもしれません。ただし、興味深いと思った科目は来年まで待たずに申請するのがいいと思います。



毎学期、登録制限の上限いっぱいを取ったほうがいいですか？

- 上限いっぱいの方がいいです。1・2年のうちに頑張っておかないと、3・4年になったとき、就職活動しながら講義にいっぱい出るとい、大変な状況になってしまいます。
- 万一、単位を落としたことを考えて、なるべく多く取っておいたほうがいいです。
- 無論そうです。特に 1、2 年次はフル単めざして！



科目が多すぎて迷う、何を基準に選ぶべきですか？

- 面白そうな科目を選ぶことが大事です。
- まず題名やシラバスを見て、興味のあるもの全部チェックをつけ、その中から厳選していくといいと思います。
- 必修科目の前後の時間に面白そうな科目があるか探すのを勧めます。
- 自分の興味、時間割、授業の難しさなどを総合的に考えてみて。
- 言語を勉強するのは時間がかかるので、余裕があるうちにやっておいたほうがいいと思います。





おすすめの科目、逆に取り方に注意した方が良い科目はありますか？

- GEC（グローバル・エデュケーション・センター）の体育です！ 文構と文は卒業単位に入らないけれど、週1回でも体を動かすことはいいことだと思います。
- お勧めは意外と GEC。つまり全学部が対象の科目。非常に面白いし、他学部と交流できる。
- 楽そうだからといって興味のない科目を取ると、単位を落とす原因になるので、やめた方が良いでしょう。
- 本気で取つものない資格の授業、教職はリタイアする人も多いです。気軽にとるとヤケドする可能性大。



2年次の論系進学に関して



2年次の論系を考えて登録した方が良いですか？

- 全然考えなくて平気です。1年生の時は何も気にせず好きな科目を取っておけばいいと思います。（でも前々から調べておくと、論系のガイダンスの時に悩まなくて少し楽です。）
- 今後一年のふとしたきっかけで論系を決めるのも楽しめるかもしれません。
- 興味のある論系所属の教授の授業を受けておくと、学問の構成はだいたいつかめるでしょう。論系のHPなどで先生の名前などは確認できます。
- 想像と実際のギャップを埋めるため、その論系や関連の授業を取っておくと良い。Webシラバスで検索してね。
- 2年以上のことより、1年次の必修科目を絶対に落とすな！
- 必修科目は単位を取っておかないと再履修になるし、2年生への進級の条件もあるので、留年にならないようお気をつけて。
- どの論系を選択するか迷っている人は、幅広い分野の授業を履修することで、行きたい進路が見えてくるかもしれません。



副専攻について



副専攻は取ると大変ですか？

- 単位の管理が大変かもしれません。必要なものが他学部にある場合、キャンセルの可・不可、卒業単位への算入・非算入なども考える必要があります。1年生から計画的に取り組まましょう。
- 取る授業の数はある程度必要ですが、力がつきます。
- 何をもって「大変」と言うか。本当にそのテーマを「副専攻」したいなら、どんな困難も乗り越えられるよ！きっと！



教科書について



教科書は最初から持っているほうがいいですか？

- 早目に生協に買いにいくと良いです。特に選択外国語の教科書はすぐになくなっちゃうので、早目に買って置くといいです。品切れしたとき、何週間か待つこともあるので。
- 教授によってはまったく使わない人もいますので、一回目は買っていかなくてもいいと思います。第二外国語（基礎外国語）や必修 EGC などの外国語は必ず使うので、最初から持っておいていいと思います。
- 語学の授業は持っておいて、必要な人はどんどん予習するべきですが、その他の授業は様子見でいいかもしれません。
- 持っていないと試験やレポートの時に慌てることになるので、履修が確定したら手に入れることをお勧めします。



授業について



レポート、試験、発表はどれが大変ですか？

- 試験だけで成績がつけられてしまう講義が一番大変でした。他の講義は小レポート何回か、発表何回か、プラス出席率とかったので、意外と平気です。
- 発表はレポートに基づいて、口頭でという形で行うものなので、二者はほとんど同じくらいです。試験はちゃんと復習すれば、いい点数が取れます。
- 発表はあがり症の人にはきついでしょし、レポートは事前の準備が必要なので、試験よりきついかもかもしれません。
- 試験は一発勝負だし、暗記も必要なので、個人的には大変です。発表は評価があいまいなところがあるので、ある程度しっかりやる必要があります。
- 文キャンは他学部にくらべてレポートの授業が多いですが、外国語はほぼ試験です。発表は班単位が多いので、しっかりと準備、役割分担してがんばりましょう。
- 発表は慣れるまでが大変です（特にグループ発表）。ですが、社会人になった後で必要なプレゼンスキルにつながるので、やっておいて損はないです。



何をやると単位を落とすことになりますか？

- 授業に 2/3 以上（14 回授業の場合 10 回）出席しないと、不可をつけられます。
- 欠席は単位を落とす最大の原因となります。特にギリギリの出席でいると、本当に体調が悪い時や予定が入った時に休めなくなります。止むを得ない場合を除いて出席しておく方が良いです。
- 講義中に寝る（特に試験する科目だと授業に置いて行かれてしまいます）。
- カンニング、剽窃等の不正行為。その学期の単位が全てダメになるので、絶対にやりません。





基礎講義（必修のフルオンデマンド授業）を履修するうえで、アドバイスをください！

- 学期末になると、他の科目の試験やレポートもあるので、なるべく早めに終わっておくのがいいと思います。
- 結構ギリギリまで残してしまって、つらかったんで、できるだけ早めに片づけておいた方がいいです。通学時間とか、お風呂の中で見るとか、工夫するといいです。
- うっかり忘れるとまた秋学期に再履修で1からやり直し、それも忘れると留年なので計画的に進めましょう。



大学生活に関して



サークル、アルバイトはどの程度可能ですか。時間割の組み方で気を付けることはありますか？

- 文構・文だったら4時限、遅くても5時限で終わる授業がほとんどなので、とくに気をつけなくてもサークル・バイトは出来ると思います。
- サークル、バイトとも週2～3程度が一般的な気がします。大学生活は自由に使える時間が多いですが、優先順位をつけて取り組まないと、結局全て中途半端になってしまうので、その点は気をつけてください。
- なるべく空きコマを作らないことをお勧めします。授業と授業の間が空きすぎると、待ち疲れてしまいますから。
- 春休みと夏休みにサークルとバイトがいっぱいできるので、授業期間中とバランスを取るといいです。
- 人によりけり、ようは時間の使い方です。遊んでもいいし、旅行しても良い。早稲田は考えている以上に良いところです。ぜひ、しっかり早大生としてエンジョイしてください。



多くの人は授業が一つもない日(全休)を作りますか？またそのような日は何をしますか？

- 全休を作れるので有れば作ります。週3日休みになりますね。月・金どちらかを全休にできれば毎週三連休です。
- 全休の日には、普段行けない遠くの方に遊びに行ったり、人気テーマパークに行ったりしていました。(平日だと若干人少ないので！)
- バイト三昧です。一日空いているので9時間ぐらいバイトした日もあります。疲労感ハンパないですけど。



資料 5

教職課程に関連する科目の「科目群」について

Web 科目登録システムで教職課程の関連科目を検索するときに「科目群」に何を選擇してよいか分からない場合は、以下の手順で確認してください。

まず、登録したい科目の開講学部を選んで**確定**ボタンを押します。次に、以下の流れにそって**科目群**を選択します。

1. 科目の開講学部を選択して[確定]ボタンを押してください。

2. 科目群を選択してください。

確定ボタンのクリックを忘れずに！

文化構想学部の科目の場合

科目区分(※1)が自由科目（講義算入可）である または、以下のいずれかの 科目 である 憲法、書道（書写）、自然地理学、人文地理学、地誌、法学原論、 政治学原論、経済学原論	〇〇論系演習の科目である	左記以外
科目群は… 自由科目 2. 科目群を選択 自由科目	論系専門科目 2. 科目群を選択して 論系専門科目	ブリッジ科目 2. 科目群を選択 ブリッジ科目

教育学部の科目の場合

教育実習演習〇〇または介護体験実習講義の科目である	新国語教育講座の科目である	左記以外
科目群は… 科目名がそのまま科目群名称となる 2. 科目群を選択してください。 教育実習演習(中・高)(2週間) 2. 科目群を選択してください。 教育実習演習(中・高)(3週間) 2. 科目群を選択して 介護体験実習講義	教科に関する専門的事項/教科に関する科目 2. 科目群を選択してください。 教科に関する専門的事項/教科に関する科目	教職課程科目（教科に関する専門的事項/教科に関する科目を除く） 2. 科目群を選択してください。 教職課程科目(教科に関する専門的事項/教科に関する科目を除く)

グローバル・エデュケーション・センター(GEC)の科目の場合

全学オープン科目履修ガイド(※2)でスポーツ実習Ⅰに分類されている、または科目区分(※1)がスポーツ実習Ⅰの科目	全学オープン科目履修ガイドでスポーツ実習Ⅱに分類されている、または科目区分がスポーツ実習Ⅱの科目
科目群は… スポーツ実習Ⅰ 2. 科目群を選択してください。 スポーツ実習Ⅰ	スポーツ実習Ⅱ 2. 科目群を選択してください。 スポーツ実習Ⅱ

※ 1 科目区分は Web シラバス (<https://www.wsl.waseda.jp/syllabus/JAA101.php>) で確認できます。

※ 2 最新の全学オープン科目履修ガイドは GEC のホームページでも公開されています。

(<https://www.waseda.jp/inst/gec/undergraduate/registration-2/>)

付録 1

教育職員免許状（2018 年度以前入学者）※文化構想学部・文学部共通

付録 1 は、2018 年度以前入学者向けの内容です。

教育職員免許状と同法施行規則の改正を受け、入学年度により適用法令が異なります。

法令ごとに免許状取得の要件（修得が必要な科目や単位数）が決められていますので、履修計画を立てる際には、入学年度をてがかりにご自身の法令・必要な科目等を確認してください。

入学年度	本冊子の表記	証明書の資格名称
2010 年度～ 2018 年度	旧課程 (2018 年度以前入学者)	* * 教諭一種免許状 (平成 10 年改正法 平成 20 年省令改正)
2019 年度～ 2021 年度	新課程 (2019～2021 年度入学者)	* * 教諭一種免許状 (平成 28 年改正法 令和 6 年省令改正)
2022 年度～	新課程 (2022 年度以降入学者)	

※卒業後に科目等履修生として教員免許状取得をする場合のカリキュラム・法令等はこの限りではありません。

卒業までにご自身が適用となる法令に定められる免許状取得要件を満たさず卒業し、卒業後に教員免許状取得を目指す場合は、その時点での最新の法令が適用されます。

在学時と異なる法令が適用される場合、必要な科目や単位数が増える等が想定されることから、正規の学生として在学している間に教員免許状取得要件となっている科目のすべてを履修することをおすすめします。

卒業後も引き続き教員免許状の取得を目指す場合は、履修計画を立てる段階でご自身に適用される法令の確認を含め、文学学術院事務所に相談してください。

【2019 年度～2021 年度入学者の方へ】

2019 年度～2021 年度入学者は、「付録 2. 教育職員免許状（2019 年度～2021 年度入学者）」を参照してください。絶対に「付録 1. 教育職員免許状（2018 年度以前入学者）」および「付録 3. 教育職員免許状（2022 年度以降入学者）」の内容で履修しないでください。誤った要件・科目で履修してしまった場合も、一切の救済措置等を取ることはできません。

【2022 年度以降入学者の方へ】

2022 年度以降入学者は、「付録 3. 教育職員免許状（2022 年度以降入学者）」を参照してください。絶対に「付録 1. 教育職員免許状（2018 年度以前入学者）」および「付録 2. 教育職員免許状（2019 年度～2021 年度入学者）」の内容で履修しないでください。誤った要件・科目で履修してしまった場合も、一切の救済措置等を取ることはできません。

【転部により入学された方へ】

学位課程が継続していると考えられるため、前学籍の入学年度（早稲田大学への入学年度）の課程が適用されます。

【学士・再入学により入学された方へ】

学位課程は継続していないと考えられるため、学士・再入学の入学年度の課程が適用されます。ただし、学士・再入学の場合、前学籍で「教育方法・技術論」（又は同等科目）の単位を修得しているか否かによって適用法令が異なることがありますので、ご自身の適用法令について事前に必ず文学学術院事務局にご確認ください。

1. 教員免許状の種類・教科

1. 文化構想学部・文学部が文部科学省から認定を受けている免許状の種類は、次のとおりです。

- ① 中学校教諭一種免許状（以下「中1」）
- ② 高等学校教諭一種免許状（以下「高1」）

2. 上記①②の免許状のうち、本学部で取得できるものは、以下の教科です。

文化構想学部

中 1	国語 社会 英語
高 1	国語 地理歴史 公民 英語

文学部

中 1	国語 社会 英語 フランス語※ ドイツ語※ ロシア語※ 中国語※
高 1	国語 地理歴史 公民 英語 フランス語※ ドイツ語※ ロシア語※ 中国語※

※文学部におけるフランス語・ドイツ語・ロシア語・中国語の免許状取得は、それぞれ対応するコースに在籍している場合に限ります。

2. 取得要件

教育職員免許状の取得を希望する者は、「教育職員免許法」と「教育職員免許法施行規則」に定められた所定の単位を修得しなければなりません。

対象となる科目は年度によって休講・廃止・名称変更等の変更がありますので、必ず最新年度の『教職課程履修の手引き』（教育学部発行）・『Webシラバス』を併せて参照してください。不明な場合はそのままにせず、必ず科目登録前に文学部・文学部共通科目設置箇所事務所で確認を行うようにしてください。

教員免許状取得要件は以下のとおりです。

【基礎資格】 学士の学位を有すること

【必要単位数一覧】

1. 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

免許法施行規則に定める科目	科目設置箇所	科目名	単位数	備考	最低修得単位数	
					中学 1 種	高校 1 種
66 条の 6 に定める科目	日本国憲法	文化構想・文学部	憲法	2	2	2
			法学原論	2		
			法律学	4		
	体育（実技）	グローバルエデュケーションセンター	スポーツ実習ⅠまたはⅡ *各 1 単位のため、2 科目必要です	各 1	2	2
	外国語コミュニケーション	文化構想・文学部	・JCulP を除く 1 年次に入学した正規生 …必修 EGC イ・ロ（1 年次自動登録科目）※ ・JCulP（JS） …Academic Skills in English（1 年次自動登録科目）※ ・転部入学者・学士入学者・JCulP（OS） …対象科目を文化構想学部・文学部 Web サイトで確認してください。	2	2	2
	情報機器の操作	文化構想・文学部	・JCulP を除く 1 年次に入学した正規生 …基礎講義（1 年次自動登録科目）※ ・転部入学者・学士入学者・JCulP（JS）（OS） …対象科目を文化構想学部・文学部 Web サイトで確認してください。	2	2	2
計					8	8

※ 1 年次自動登録科目である「必修 EGC イ・ロ」「Academic Skills in English」「基礎講義」の単位を修得することで要件を満たす場合は、改めて他の対象科目を履修する必要はありません。

付録 1 教育職員免許状（2018 年度以前入学者）※文化構想学部・文学部共通

2. 教職に関する科目、教科に関する科目、教科又は教職に関する科目

免許法施行規則に 定める科目	科目設置 箇所	科目名	最低修得単位数			
			中学 1 種		高校 1 種	
教職に関する科目（必修）	文化構想・ 文学部／ 教育学部	(a) 参照	3 1 ※ア	左記に加えて 6 単位以上	2 5 ※ア	左記に加えて 1 4 単位以上
教科に関する科目	文化構想・ 文学部	(d) 参照	2 0		2 0	
教科又は教職に関する科目	文化構想・ 文学部／ 教育学部	(c) 参照	2		選択	
教職に関する科目（選択）	教育学部	(b) 参照	選択			
計			59 ※イ		59 ※イ	

要注意！
合計 5 9 単位以上必要！

**要注意！
合計 59 単位以上必要！**

※ア 「特別活動論（中・高）」が 2019 年度より 1 単位になりました（2018 年度までは 2 単位）。2018 年度までに「特別活動論（中・高）」を履修済の場合、教職に関する科目（必修）の最低修得単位数は、中学 32、高校 26 となります。

※イ それぞれの科目の最低修得単位数だけでは、総単位数 59 単位を満たすことができません。任意の科目において最低修得単位数以上の単位を修得し、総修得単位数を必ず 59 単位以上にしてください。

- 必ず最新年度の『教職課程履修の手引き』（教育学部発行）を併せて参照してください。
- 各科目は年度によって休講となる場合があります。科目登録の際には、Web シラバス等で開講状況を確認してください。なお廃止となった科目でもすでに単位を修得している場合は有効です。
- 以前に在籍していた学部・大学等で教員免許状に関連する科目の単位を修得していた場合は「学力に関する証明書」を文学学術院事務所に提出してください。
- 免許種・教科によっては、上記以上の単位数を必要とします。
- 文化構想学部・文学部 Web サイトに「教職履修チェックシート」を掲載しています。修得単位数の確認等に利用してください。また文学学術院事務所にて履修相談を希望する場合は、事前に「教職履修チェックシート」を記入してからお越しください。

**教職履修チェックシートを活用
してください。**

a

教職に関する科目（必修）

免許法施行規則に定める科目		科目名	科目設置箇所	単位数	備考	必修単位数	
						中学 1種	高校 1種
教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割／教員の職務内容(研修, 服務及び身分保障などを含む。)/進路選択に資する各種の機会の提供等	教職論	文構・文	2		2	2
		教職概論（小・中・高）	教育	2	廃止		
		教職概論（中・高）	教育	2			
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論 1 ※1	文構・文	2		2	2
		教育基礎総論 1（小・中・高） ※1	教育	2	廃止		
		教育基礎総論 1（中・高） ※1	教育	2			
		教育原理 ※2	教育	4	廃止		
		教育基礎総論 ※2	教育	4	廃止		
		教育基礎総論（小・中・高） ※2	教育	4	廃止		
		教育基礎総論（中・高） ※2	教育	4	廃止		
	教育に関する社会的, 制度的又は経営的事項	教育学概論 2 ※1 ※3	文構・文	2	廃止	2	2
		教育制度論 ※1 ※3	文構・文	2			
		教育基礎総論 2（小・中・高） ※1	教育	2	廃止		
		教育基礎総論 2（中・高） ※1 ※3	教育	2	廃止		
		教育制度総論（中・高） ※1 ※3	教育	2			
		教育原理 ※2	教育	4	廃止		
		教育基礎総論 ※2	教育	4	廃止		
		教育基礎総論（小・中・高） ※2	教育	4	廃止		
	教育基礎総論（中・高） ※2	教育	4	廃止			
	幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理学	文構・文	2	廃止	2	2
		教育・学校心理学	文構・文	2			
		教育心理学（小・中・高）	教育	2	廃止		
		教育心理学（中・高）	教育	2			
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	教育学概論【2007年度以前】 ※4	文構・文	4	廃止	1	1
		教育原理【2007年度以前】 ※4	教育	4	廃止		
		教育課程編成論（小・中・高）	教育	1	廃止		
		教育課程編成論（中・高）	教育	1			
	各教科の指導法	教科教育法 1・2	教育	4	廃止	4	4
		教科教育法 1 ※5	教育	2			
		教科教育法 2 ※5	教育	2			
	道徳の指導法	教科教育法 3 ※5 ※6	教育	2		2	選択
		道徳教育論（小・中・高）	教育	2	廃止	2	選択
	道徳教育論（中・高）	教育	2				
	特別活動の指導法	特別活動論（小・中・高）	教育	2	廃止	1	1
		特別活動論（中・高） ※7	教育	1			
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法研究（小・中・高）	教育	2	廃止	2	2
		教育方法研究（中・高）	教育	2	廃止		
		教育方法・技術論（中・高）	教育	2			
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法／進路指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論（小・中・高）	教育	2	廃止	2	2
		生徒指導・進路指導論（中・高）	教育	2			
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)/の理論及び方法	教育臨床論	教育	2	廃止	2	2
		生徒理解と教育相談（小・中・高）	教育	2	廃止		
		生徒理解と教育相談（中・高）	教育	2			
教育実習		教育実習演習（3週間） ※8 ※9	教育	5		5	－
		教育実習演習（2週間） ※8 ※9	教育	3		－	3
総合演習または教職実践演習		総合演習（小・中・高）または（中・高）	教育	2	廃止	2	2
		教職実践演習（中・高）	教育	2			
計						31	25

付録 1 教育職員免許状（2018 年度以前入学者）※文化構想学部・文学部共通

- ※1 「教育学概論 1」と「教育学概論 2」、「教育学概論 1」と「教育制度論」、「教育基礎総論 1（小・中・高）または（中・高）」と「教育基礎総論 2（小・中・高）または（中・高）」、「教育基礎総論 1（小・中・高）または（中・高）」と「教育制度総論（中・高）」はそれぞれセットとなっていますので、セットとなっている 2 科目の単位を修得してください。これ以外の組み合わせでの履修は不可とします。※3 も参照してください。
- ※2 廃止となった 4 単位の「教育原理」「教育基礎総論」「教育基礎総論（小・中・高）」「教育基礎総論（中・高）」を履修済みの場合、「教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想」と「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項」の両方の区分を満たします。
- ※3 2019 年度より、「教育学概論 2」→「教育制度論」、「教育基礎総論 2（中・高）」→「教育制度総論（中・高）」に科目名称が変更になりました。また※ 1 の要件を満たすためには、次表の通り、履修することになります。

教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項
「教育学概論 1」を履修	+	・2018 年度以前→「教育学概論 2」 ・2019 年度以降→「教育制度論」 を履修する必要があります。
「教育基礎総論 1（小・中・高）」または 「教育基礎総論 1（中・高）」を履修	+	・2018 年度以前→「教育基礎総論 2（小・中・高）」または 「教育基礎総論 2（中・高）」 ・2019 年度以降→「教育制度総論（中・高）」 を履修する必要があります。

- ※4 2007 年度までに「教育原理」または「教育学概論」の単位を修得済の場合、「教育課程編成論」を履修する必要はありませんが、教職に関する科目の必修単位数の合計は満たす必要があります。詳しくは文学学術院事務所にお問い合わせください。
- ※5 取得を希望する各教科の教育法を履修してください。なお教科教育法の履修にあたっては、前提条件が設定されています。詳しくは『教職課程履修の手引き』を参照してください。
- ※6 **2019 年度以降、「社会科教育法 3」の取得単位は、中学「社会」にのみ使用でき、高校「地理歴史」「公民」の単位とは見なされません。**2018 年度までの「社会科教育法 3」の取得単位は、高校「地理歴史」「公民」の単位として扱われます。**2018 年度以前入学者で、高校「地理歴史」「公民」の免許取得希望者は、「社会科教育法 3」を履修した場合に、その年度によって扱いが異なりますので、ご注意ください。**また、2018 年度までに「社会科教育法 3」の単位を取得した場合も、旧課程で教職の取得要件を満たせないなどの理由で、旧課程で履修した単位を新課程に読み替えるとき、新課程では「社会科教育法 3」の取得単位は高校「地理歴史」「公民」の単位とは見なされません（新課程で履修する場合は、どの年度に「社会科教育法 3」を履修したとしても、高校「地理歴史」「公民」の単位として扱われません）。
- ※7 「特別活動論（中・高）」は 2019 年度より 1 単位になりました（2018 年度までは 2 単位）。2018 年度までに「特別活動論（中・高）」を履修済の場合、教職に関する科目の必修単位数の合計は、中学 32、高校 26 となります。
- ※8 中学校教諭 1 種免許状・高等学校教諭 1 種免許状の両方を取得する場合は「教育実習演習（3 週間）」(5 単位)を登録してください。「教育実習演習（3 週間）」と「教育実習演習（2 週間）」は同一科目扱いのため、在学中にどちらか 1 つの科目しか修得することができません。「教育実習演習（2 週間）」(3 単位)を一度修得してしまうと、在学中には中学校教諭 1 種免許状を取得することはできなくなるため注意してください。
- ※9 「教育実習演習」は 2013 年度より半期化され、春学期に設置されます。但し、教育実習が 8 月～1 月に実施される場合は、夏秋期開講クラスを登録してください。詳細は教育学部発行『教職課程履修の手引き』を参照してください。

【文学部でフランス語・ドイツ語・ロシア語・中国語の免許取得を希望する方への注意事項】

フランス語・ドイツ語・ロシア語・中国語のいずれかの免許のみの取得を希望する場合、教育実習先の確保が難しい場合があります。教育実習先は原則としてご自身の出身校となりますが、出身校でフランス語・ドイツ語・ロシア語・中国語の履修が不可能な場合、当該教科で教育実習を行うことは困難です。**フランス語・ドイツ語・ロシア語・中国語の免許取得を希望される場合、英語や国語などの他教科でも教育実習が可能よう準備しておくことを強くお勧めします**（教育実習を実施する教科で前提条件を満たす必要があります。詳細は『教職課程履修の手引き』を参照してください）。中学・高校において複数教科の免許取得を希望する場合、教育実習は取得希望の教科のうちいずれか 1 教科で構いません（国語で 3 週間(5 単位)の教育実習を行った場合でも、その単位は中学 1 種フランス語の免許取得にも使用できます）。

b 教職に関する科目（選択）

免許法施行規則に定める科目	科目設置箇所	科目名	単位数	備考	履修方法	
					中学 1 種	高校 1 種
教育の基礎理論に関する科目	教育学部	特別支援教育（中・高）	1		選択	選択
		教職研究Ⅰ（学校教育法規）	2	廃止		
		教職研究Ⅱ（教育行政法規）	2	廃止		
		教職研究Ⅲ（日本教育史）	2	廃止		
		教職研究Ⅳ（西洋教育史）	2	廃止		
		教職研究Ⅴ（学校外教育）	2			
		教職研究ⅧⅢ（人権教育論）	2	廃止		
		教職研究Ⅸ（教育経営）	2			
		教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究）	1			
		教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究）	1			
		教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク）	1			
教育課程及び指導法に関する科目	教育学部	総合的な学習・探究論（中・高）	1		選択	選択
		教科教育法 4 ※	2			
		授業技術演習	2			
		教育における ICT 活用（中・高）	1			
計					－	－

※取得を希望する各教科の教育法を履修してください。なお教科教育法の履修にあたっては、前提条件が設定されています。詳しくは『教職課程履修の手引き』を参照してください。また **2019 年度以降、「社会科教育法 4」の取得単位は、中学「社会」にのみ使用でき、高校「地理歴史」「公民」の単位とは見なされません。**2018 年度までの「社会科教育法 4」の取得単位は、高校「地理歴史」「公民」の単位として扱われます。**2018 年度以前入学者で、高校「地理歴史」「公民」の免許取得希望者は、「社会科教育法 4」を履修した場合に、その年度によって扱いが異なりますので、ご注意ください。**また、2018 年度までに「社会科教育法 4」の単位を取得した場合も、旧課程で教職の取得要件を満たせないなどの理由で、旧課程で履修した単位を新課程に読み替えるとき、新課程では「社会科教育法 4」の取得単位は高校「地理歴史」「公民」の単位とは見なされません（新課程で履修する場合は、どの年度に「社会科教育法 4」を履修したとしても、高校「地理歴史」「公民」の単位として扱われません）。

c

教科又は教職に関する科目

免許法施行規則 に定める科目	科目設置 箇所	科目名	単位 数	備考	履修方法	
					中学 1 種	高校 1 種
教科又は教職に 関する科目	文 学 部	教育哲学	2		選択	選択
		教育史学	2			
		教育社会学	2	廃止		
		教育社会学 1	2			
		教育社会学 2	2			
		学校教育学	2	廃止		
		比較・国際教育学（教育改革の視点とその方策）	2			
		教育法・教育行政	2			
		障害と教育（旧科目名称：特殊教育学） ※1	2			
	教育学部	介護体験実習講義 ※2	2		必修	選択
		教職研究 VIII（総合学習の研究）	2			
		教職研究 VII（障害児教育）	2	廃止		
		教職研究 VII（特別支援教育）	2	廃止		
		教職研究 VI（生涯教育）	2			
		教職特講 III（部活動論）	1			
		人間理解基盤講座	2	廃止		
		人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）	2			
		教育インターンシップ	4	廃止		
		初等教育インターンシップ ※2	4			
		学級経営インターンシップ	4	廃止		
		学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）※2	4			
		特別支援教育インターンシップ ※2	4			
		インクルーシブ教育インターンシップ ※2	4			
計					2	－

※1 「特殊教育学」は 2023 年度から「障害と教育」に科目名が変更されました。2022 年度までに修得した「特殊教育学」の単位は有効です。また、「特殊教育学」を修得済みの場合、同一科目である「障害と教育」を履修することはできません。

※2 所定の条件を満たしていなければ介護体験実習講義・初等教育インターンシップ・学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）・特別支援教育インターンシップ・インクルーシブ教育インターンシップを登録できませんので、教育学部発行『教職課程履修の手引き』を参照してください。

上記の科目以外に「中等国語科インターンシップ」「国語科授業技術演習」（いずれも教科又は教職に関する科目）も設置されていますが、2014 年度より当該 2 科目は国語（中・高）の免許取得にしか使用できませんので注意してください（2013 年度までに単位を修得している場合は、中・高全ての教科の単位として使用できます）。

d

教科に関する科目

【教科に関する科目を履修する際の注意事項（全教科共通）】

- 教科・免許種ごとの表に従って必修科目と合計単位数の両方を満たすように修得してください。
なお必修科目だけでは合計単位数を満たせない場合は、選択科目も修得する必要があります。
- **各科目は年度によって休講となる場合があります。科目登録の際には、Web シラバス等で開講状況を確認してください。**
- 他学部 to 同一名の科目が設置されている場合がありますが、必ず文化構想学部・文学部設置の科目を履修してください（他学部設置科目の場合、同一科目名であっても教員免許状取得のための「教科に関する科目」とはみなされません）。ただし、教育学部が開講する「新国語教育講座」は、文化構想学部・文学部生が中学一種「国語」、高校一種「国語」の教員免許状を取得するために、教科に関する科目の選択科目として履修できます。
- 廃止となった科目でもすでに単位を修得している場合は有効です。

【隔年開講科目についての注意（特に文学部でフランス語・ドイツ語・ロシア語・中国語の免許取得を希望する方は注意）】

- 科目によっては隔年開講（1 年ごとに休講→開講→休講→…となる）となる場合がありますので計画的に履修を進めてください。なお、指定科目以外で取得要件を満たすことはできませんので注意してください（代替科目等の設定はありません）。科目の開講状況については必ず学部ウェブページで当該年度の開講科目一覧を確認してください。

学部ウェブページ > 在学生の方へ > 科目登録 > 開講科目一覧・シラバス PDF 版

- **特に中国語の免許取得を希望する場合、必修の「中国語学史 1」と「中国語学史 2」（2 科目両方が必修）が隔年開講かつ配当年次が 2 年生以上（1 年生は履修不可）のため、科目登録できる年度が限られます。**

中国語学史 1：偶数年度に 2 年生以上が履修可能

中国語学史 2：奇数年度に 2 年生以上が履修可能

両科目とも曜日時限なしのフルオンデマンド科目のため、他科目との曜日時限重複によって科目登録できなくなる心配はありませんが、**必ず忘れずに科目登録を行い、不合格にならないように注意してください。**

「中国語学史 1」と「中国語学史 2」を科目登録できるタイミングの例（4 月入学で未進級、休学、留学がない場合）

＜偶数年度に入学した方＞

中国語学史 1：3 年次の 1 回のみ科目登録可能（必ず合格して下さい）

中国語学史 2：2 年次と 4 年次の 2 回のみ科目登録可能

＜奇数年度に入学した方＞

中国語学史 1：2 年次と 4 年次の 2 回のみ科目登録可能

中国語学史 2：3 年次の 1 回のみ科目登録可能（必ず合格して下さい）

■ 国語 (中学校教諭1種免許状、高等学校教諭1種免許状)

免許法施行規則に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	日本語学概論 1	2		2 単位以上 必修
		日本語学概論 2	2		
		複合文化論系演習 (現代日本語研究 1)	2	文構のみ	選択
		複合文化論系演習 (現代日本語研究 2)	2	文構のみ	
		複合文化論系演習 (日本地域言語研究 1)	2	文構のみ	
		複合文化論系演習 (日本地域言語研究 2)	2	文構のみ	
		日本語日本文学演習 3 A (日本語学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 3 B (日本語学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 3 C (日本語学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 3 D (日本語学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 6 A (日本語学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 6 B (日本語学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 6 C (日本語学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 6 D (日本語学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 7 D (日本語学)	2	文のみ	
		日本語日本文学研究 6 (日本語学)	2		
		日本語史 1	2		
		日本語史 2	2		
		日本文法 1	2		
		日本文法 2	2		
2 類	国文学 (国文学史を含む。)	日本文学概論 1	2		2 単位以上 必修
		日本文学概論 2	2		
		多元文化論系演習 (神話の発生と社会)	2	文構のみ	選択
		多元文化論系演習 (東アジアの言葉と書物)	2	文構のみ	
		文芸・ジャーナリズム論系演習 (近代からの日本の文学 1)	2	文構のみ	
		文芸・ジャーナリズム論系演習 (近代からの日本の文学 2)	2	文構のみ	
		日本語日本文学演習 1 A (古典文学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 1 B (古典文学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 1 C (古典文学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 1 D (古典文学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 2 A (近現代文学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 2 B (近現代文学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 2 C (近現代文学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 2 D (近現代文学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 4 A (古典文学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 4 B (古典文学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 4 C (古典文学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 4 D (古典文学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 5 A (近現代文学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 5 B (近現代文学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 5 C (近現代文学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 5 D (近現代文学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 7 A (古典文学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 7 B (近代文学)	2	文のみ	
		日本語日本文学演習 7 C (現代文学)	2	文のみ	
		日本語日本文学研究 1 (上代文学)	2		
		日本語日本文学研究 2 (中古文学)	2		
		日本語日本文学研究 3 (中世文学)	2		
		日本語日本文学研究 4 (近世文学)	2		
		日本語日本文学研究 5 (近代文学)	2		
		日本文学史 1 (上代文学)	2		
		日本文学史 2 (中古文学)	2		
		日本文学史 3 (中世文学)	2		
		日本文学史 4 (近世文学)	2		
		日本文学史 5 (近代文学)	2		
		日本文学史 6 (現代文学)	2		
		日本文化概論 1	2	廃止	
		日本文化概論 1 (古代から中世へ)	2	廃止	
		アジア・日本文化概論 2	2		
		アジア・日本文化研究 2	2	廃止	
		アジア・日本文化研究 2 (宗教の伝統)	2	廃止	
		伝統文化概論 1	2		
		アジア・日本文化研究 5	2	廃止	
		アジア・日本文化研究 5 (歴史と文学)	2	廃止	
		歴史と文学	2		

免許法施行規則に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法	
3 類	漢文学	漢文講読 1	2		2 単位以上 必修	
		漢文講読 2	2			
		基礎漢文 1	2			
		基礎漢文 2	2			
		中国詩歌概論 1（古代の詩歌と文化）	2			
		中国詩歌概論 2（唐詩を読む）	2			
			多元文化論系演習（漢字文化）	2	廃止	選択
			東洋哲学演習 4（中国哲学 1）	2	文のみ	
			東洋哲学演習 5（日本宗教 1）	2	文のみ	
			東洋哲学演習 7（中国哲学 2）	2	文のみ	
			東洋哲学演習 8（日本宗教 2）	2	文のみ	
			中国哲学特論	2		
			東洋思想特論	2		
			仏教漢文の世界	2		
4 類	書道（書写を中心とする。）	書道（書写） 1	2		2 単位以上 必修	
		書道（書写） 2	2		【注意事項】 参照	
計					20 単位以上	

【注意事項】

「書道 (書写)」は中学1種「教科に関する科目」の必修科目ですが、**高校1種の単位としては使用できません**。中・高両方の免許取得を希望する場合は、4 類「書道 (書写を中心とする。)」の単位を除いて合計 20 単位以上となるように修得したうえで「書道 (書写を中心とする。)」の単位を修得するようにしてください (修得の順序は問いません)。

■社会(中学校教諭1種免許状)

免許法施行規則に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	日本史及び外国史	日本史概論 1	2		2 単位以上
		日本史概論 2	2		必修
		西洋史概論 1	2		2 単位以上
		西洋史概論 2	2		必修
		アジア史概論 1	2		2 単位以上
		アジア史概論 2	2		必修
		多元文化論系演習(日本の風土と民俗文化)	2	廃止	選択
		多元文化論系演習(海域文化交流史)	2	廃止	
		多元文化論系演習(アジア地域文化交流)	2	文構のみ	
		多元文化論系演習(東アジア広域秩序)	2	廃止	
		多元文化論系演習(東アジアの国際秩序)	2	文構のみ	
		多元文化論系演習(アジアの文明史)	2	廃止	
		多元文化論系演習(中国の文明史)	2	文構のみ	
		多元文化論系演習(古代オリエント研究)	2	廃止	
		多元文化論系演習(西洋古典研究)	2	文構のみ	
		多元文化論系演習(地中海・イスラーム世界)	2	文構のみ	
		多元文化論系演習(フランス文化)(旧「多元文化論系演習(フランス近現代文化)」)	2	文構のみ	
		多元文化論系演習(ロシア文化論)	2	文構のみ	
		多元文化論系演習(遊牧・オアシス文化論)	2	文構のみ	
		多元文化論系演習(東欧近現代文化)	2	廃止	
		多元文化論系演習(東欧の歴史から)	2	文構のみ	
		多元文化論系演習(ヨーロッパとアジアの接触)	2	文構のみ	
		社会構築論系演習(日本社会の構造—天皇制・王権論)	2	廃止	
		社会構築論系演習(日本社会の構造—近現代国家の成立の諸相)	2	廃止	
		社会構築論系演習(都市と地域の社会史 1—日本)	2	廃止	
		社会構築論系演習(都市地域自治史 2—日本)	2	廃止	
		社会構築論系演習(古代社会の構造—オリエント)	2	廃止	
		社会構築論系演習(西洋社会の構造—ドイツ)	2	廃止	
		社会構築論系演習(西洋社会の構造—西欧)	2	廃止	
		社会構築論系演習(西洋社会の構造—北欧)	2	廃止	
		社会構築論系演習(西洋社会の構造—東欧)	2	廃止	
		社会構築論系演習(西洋社会の構造—ロシア)	2	廃止	
		社会構築論系演習(都市と地域の社会史 2—西洋)	2	廃止	
		社会構築論系演習(都市地域自治史 1—西洋)	2	廃止	
		社会構築論系演習(差別と対立の歴史 1)	2	廃止	
		社会構築論系演習(差別と対立の歴史 2)	2	廃止	
		社会構築論系演習(社会構造論 8)	2	廃止	
		社会構築論系演習(地域・都市論 1)	2	廃止	
		アジア史演習 1(史料研究 1)	2	文のみ	
		アジア史演習 2(史料研究 2)	2	文のみ	
		アジア史演習 3(中国古代史 1)	2	文のみ	
		アジア史演習 4(朝鮮史 1)	2	文のみ	
		アジア史演習 5(中国前近代史 1)	2	文のみ	
		アジア史演習 6(中国古代史 2)	2	文のみ	
		アジア史演習 7(朝鮮史 2)	2	文のみ	
		アジア史演習 8(中国前近代史 2)	2	文のみ	
		アジア史演習 9(アジア地域史)	2	文のみ	
		サブカルでよむ東洋史入門(旧「アジア史学発達史 1」)	2		
		日本史特論 1(旧「アジア史学発達史 2」)	2		
		アジア文化概論 1	2	廃止	
		アジア文化概論 1(内陸アジア)	2	廃止	
		内陸アジア史	2		
		アジア文化概論 2	2	廃止	
		アジア文化概論 2(東アジア)	2	廃止	
		アジア・日本文化研究 1	2		
		アジア・日本文化研究 2	2		
		アジア・日本文化研究 3	2	廃止	
		アジアの地域・都市の歴史	2	廃止	
		イスラーム文化世界	2		
		近現代ロシア史	2		
		近代日本社会論	2		
		国家形成論	2		
		史学概論 1	2	廃止	
		史学概論 2	2	廃止	
		史学概論	2		

免許法施行規則に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類 (続き)	日本史及び 外国史 (続き)	多民族社会アメリカ	2	廃止	選択 (続き)
		地中海文化概論	2		
		朝鮮近現代史	2		
		東南アジア史	2		
		西欧史	2		
		西洋史演習 1 A (西洋古代史)	2	廃止	
		西洋史演習 1 A (西洋中世史)	2	文のみ	
		西洋史演習 1 B (西洋中世史)	2	廃止	
		西洋史演習 1 B (西洋近現代史)	2	文のみ	
		西洋史演習 1 C (西洋近現代史)	2	廃止	
		西洋史演習 2 A (西洋近現代史)	2	文のみ	
		西洋史演習 2 B (西洋近現代史)	2	文のみ	
		西洋史演習 3 A (西洋古代史)	2	廃止	
		西洋史演習 3 A (西洋中世史)	2	文のみ	
		西洋史演習 3 B (西洋中世史)	2	廃止	
		西洋史演習 3 B (西洋近現代史)	2	文のみ	
		西洋史演習 3 C (西洋近現代史)	2	廃止	
		西洋史演習 4 A (西洋近現代史)	2	文のみ	
		西洋史演習 4 B (西洋近現代史)	2	文のみ	
		西洋古代史 1 (ローマ・ヒューマンズム)	2	廃止	
		西洋古代史 1	2	廃止	
		西洋古代史 2 (古代ローマ史)	2	廃止	
		西洋古代史 2	2	廃止	
		西洋古代史	2		
		西洋中世史	2	廃止	
		西洋中世史 1	2		
		西洋中世史 2	2		
		西洋史学発達史 1	2	廃止	
		西洋史学発達史 2	2	廃止	
		西洋史学発達史	2		
		西洋史特論 1	2		
		西洋史特論 2	2		
		西洋史研究 1 (西洋古代・中世史)	2	廃止	
		西洋史研究 1 (西洋古代史)	2	廃止	
		西洋史研究 1 (西洋近現代史)	2		
		西洋史研究 2 (西洋近現代史)	2		
		西洋史研究 3 (西洋古代・中世史)	2	廃止	
		西洋史研究 3 (西洋中世史)	2		
		西洋史研究 4 (西洋近現代史)	2		
		西洋市民社会史	2		
		西洋社会構造論 1—西欧	2	廃止	
		西洋社会構造論 1	2	廃止	
		西洋地域社会論	2		
		西洋社会構造論 2—第一次大戦後ドイツの政治と社会	2	廃止	
		西洋社会構造論 2	2	廃止	
		西洋社会構造論 3—ロシア・東欧	2	廃止	
		西洋社会構造論 3	2	廃止	
		西洋社会の動態	2		
		西洋の地域・都市の歴史	2	廃止	
		日本文化概論 2	2	廃止	
		日本文化概論 2 (近世から近現代へ)	2	廃止	
		多元文化特論 1	2	廃止	
		日本史演習 1 A (古代)	2	文のみ	
		日本史演習 1 B (古代)	2	文のみ	
		日本史演習 2 A (近世)	2	文のみ	
		日本史演習 2 B (近世)	2	文のみ	
		日本史演習 3 A (中世)	2	文のみ	
		日本史演習 3 B (中世)	2	文のみ	
		日本史演習 4 A (近現代)	2	文のみ	
		日本史演習 4 B (近現代)	2	文のみ	
		日本史講義 1 (古代)	2		
		日本史講義 2 (中世)	2		
		日本史講義 5 (近世)	2		
		日本史講義 6 (近現代)	2		
		比較文明論	2		
		中東・イスラーム研究入門	2		
		中東・イスラーム基礎研究	2		

付録1 教育職員免許状(2018年度以前入学者)※文化構想学部・文学部共通

免許法施行規則に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類 (続き)	日本史及び 外国史 (続き)	中東・イスラーム前近代史	2		選択 (続き)
		ポストコロニアル思想文化論	2		
		ヨーロッパ・地中海・イスラーム文化研究 3	2	廃止	
		ヨーロッパ・地中海・イスラーム文化研究 3 (北欧世界とその歴史)	2	廃止	
		北欧世界とその歴史	2	廃止	
		東欧世界とその歴史	2		
		ヨーロッパ・地中海・イスラーム文化研究 4	2	廃止	
		ヨーロッパ・地中海・イスラーム文化研究 4 (中央ユーラシアの諸民族と文化)	2	廃止	
		伝統文化研究 1	2		
		ヨーロッパ・地中海・イスラーム文化研究 5	2	廃止	
2 類	地理学 (地誌 を含む。)	自然地理学 1	2		2 単位以上
		自然地理学 2	2		必修
		人文地理学 1	2		2 単位以上
		人文地理学 2	2		必修
		日本地誌	2	廃止	2 単位以上 必修
		世界地誌	2	廃止	
		地誌 1	2		
		地誌 2	2		選択
		ヨーロッパ・地中海の地誌 (風土論)	2	廃止	
3 類	「法学、 政治学」	法学原論	2		2 単位以上 必修
		法律学	4	廃止	
		政治学原論	2		
4 類	「社会学、 経済学」	社会学概論 1	2		2 単位以上 必修
		社会学概論 2	2		
		社会学特論 1	2		
		社会学特論 2	2		
		経済学原論	2		
		社会学 1	2	廃止	
		社会学 2	2	廃止	選択
		現代人間論系演習 (現代人と家族)	2	文構のみ	
		現代人間論系演習 (現代人と職業)	2	廃止	
		社会構築論系演習 (近・現代社会の制度構造と社会思想の諸相)	2	廃止	
		社会構築論系演習 (社会構造と社会意識)	2	廃止	
		社会学演習 1 (調査演習)	2	廃止	
		社会学演習 1 (専門演習 1)	2	文のみ	
		社会学演習 2 (調査演習)	2	廃止	
		社会学演習 2 (専門演習 2)	2	文のみ	
		社会学演習 3 (専門演習 1)	2	廃止	
		社会学演習 3 (専門演習 3)	2	文のみ	
		社会学演習 4 (専門演習 2)	2	廃止	
		社会学演習 4 (専門演習 4)	2	文のみ	
		宗教社会学	2	廃止	
		消費社会論	2	廃止	
		日常生活の社会学	2		
		ライフストーリーの社会学	2		
		経済と社会	2	廃止	
		経済と国家	2		
		家族と社会	2	廃止	
		労働と社会	2	廃止	
		労働と国家	2		
		文化と社会	2	廃止	
		現代日本社会論	2		
		市民意識論	2		
		平和・人権論	2		
		社会理論と社会システム	2	廃止	

免許法施行規則に 定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
5 類	「哲学、 倫理学、 宗教学」	哲学 1	2		2 単位以上 必修
		哲学 2	2		
		倫理学 1	2		
		倫理学 2	2		
		宗教学 1	2	廃止	
		宗教学 2	2	廃止	
		多元文化論系演習（東アジア宗教文化論）	2	廃止	選択
		多元文化論系演習（東アジアの伝統と宗教文化）	2	文構のみ	
		現代人間論系演習（宗教と共同体）	2	廃止	
		現代人間論系演習（現代日本と宗教）	2	廃止	
		現代人間論系演習（信仰の論理）	2	廃止	
		現代人間論系演習（哲学的「感情」論）	2	廃止	
		現代人間論系演習（現代的人間観の論理と倫理）	2	廃止	
		現代人間論系演習（実存と他者の倫理）	2	文構のみ	
		現代人間論系演習（環境問題の論理と倫理）	2	文構のみ	
		現代人間論系演習（メディアの論理と倫理）	2	廃止	
		現代人間論系演習（消費社会の論理と倫理）	2	廃止	
		現代人間論系演習（サイバー空間の論理と倫理）	2	文構のみ	
		哲学演習 1（ドイツ哲学／現代哲学）	2	文のみ	
		哲学演習 2（英米哲学／現代哲学）	2	文のみ	
		哲学演習 3（中世哲学／美学）	2	廃止	
		哲学演習 3（中世哲学）	2	文のみ	
		哲学演習 4（フランス哲学／現代哲学）	2	文のみ	
		哲学演習 5（宗教哲学／キリスト教思想）	2	廃止	
		哲学演習 5（宗教哲学）	2	文のみ	
		哲学演習 6（古代ギリシア哲学／認識論）	2	廃止	
		哲学演習 6（古代ギリシア哲学）	2	文のみ	
		哲学演習 7（ドイツ哲学／近代哲学）	2	文のみ	
		哲学演習 8（ドイツ哲学／現代哲学）	2	文のみ	
		哲学演習 9（英米哲学／現代哲学）	2	文のみ	
		哲学演習 10（中世哲学／美学）	2	廃止	
		哲学演習 10（中世哲学）	2	文のみ	
		哲学演習 11（フランス哲学／現代哲学）	2	文のみ	
		哲学演習 12（宗教哲学／キリスト教思想）	2	廃止	
		哲学演習 12（宗教哲学）	2	廃止	
		哲学演習 13（古代ギリシア哲学／認識論）	2	廃止	
		哲学演習 13（古代ギリシア哲学）	2	文のみ	
		哲学演習 14（ドイツ哲学／近代哲学）	2	文のみ	
		哲学専門講義 1（ドイツ哲学／現代哲学）	2		
		哲学専門講義 2（英米哲学／現代哲学）	2		
		哲学専門講義 3（中世哲学／美学）	2	廃止	
		哲学専門講義 3（中世哲学）	2		
		哲学専門講義 4（フランス哲学／現代哲学）	2		
哲学専門講義 5（宗教哲学／キリスト教思想）	2				
哲学専門講義 6（古代ギリシア哲学／認識論）	2	廃止			
哲学専門講義 6（古代ギリシア哲学）	2				
東洋哲学演習 3（インド哲学 1）	2	文のみ			
東洋哲学演習 6（インド哲学 2）	2	文のみ			
宗教思想	2	廃止			
哲学的人間学	2				
現代倫理学の方法	2	廃止			
生命倫理	2				
社会倫理学	2				
公共性の哲学思想	2				
中国思想の世界	2				
仏教概論	2				
計					20 単位以上

■地理歴史(高等学校教諭1種免許状)

免許法施行規則に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	日本史	日本史概論 1	2		2 単位以上 必修
		日本史概論 2	2		
		多元文化論系演習(日本の風土と民俗文化)	2	廃止	選択
		多元文化論系演習(海域文化交流史)	2	廃止	
		社会構築論系演習(日本社会の構造—天皇制・王権論)	2	廃止	
		社会構築論系演習(日本社会の構造—近現代国家の成立の諸相)	2	廃止	
		社会構築論系演習(都市と地域の社会史 1—日本)	2	廃止	
		社会構築論系演習(都市地域自治史 2—日本)	2	廃止	
		社会構築論系演習(地域・都市論 1)	2	廃止	
		日本史演習 1 A (古代)	2	文のみ	
		日本史演習 1 B (古代)	2	文のみ	
		日本史演習 2 A (近世)	2	文のみ	
		日本史演習 2 B (近世)	2	文のみ	
		日本史演習 3 A (中世)	2	文のみ	
		日本史演習 3 B (中世)	2	文のみ	
		日本史演習 4 A (近現代)	2	文のみ	
		日本史演習 4 B (近現代)	2	文のみ	
		日本史講義 1 (古代)	2		
		日本史講義 2 (中世)	2		
		日本史講義 5 (近世)	2		
		日本史講義 6 (近現代)	2		
		日本史特論 1 (旧「アジア史学発達史 2」)	2		
		アジア・日本文化研究 3	2	廃止	
		アジア・日本文化研究 1	2		
		国家形成論	2		
		日本文化概論 2	2	廃止	
		日本文化概論 2 (近世から近現代へ)	2	廃止	
		多元文化特論 1	2	廃止	
		近代日本社会論	2		
2 類	外国史	西洋史概論 1	2		2 単位以上 必修
		西洋史概論 2	2		
		アジア史概論 1	2		2 単位以上 必修
		アジア史概論 2	2		
		多元文化論系演習(アジア地域文化交流)	2	文構のみ	選択
		多元文化論系演習(東アジア広域秩序)	2	廃止	
		多元文化論系演習(東アジアの国際秩序)	2	文構のみ	
		多元文化論系演習(アジアの文明史)	2	廃止	
		多元文化論系演習(中国の文明史)	2	文構のみ	
		多元文化論系演習(古代オリエント研究)	2	廃止	
		多元文化論系演習(西洋古典研究)	2	文構のみ	
		多元文化論系演習(地中海・イスラム世界)	2	文構のみ	
		多元文化論系演習(フランス文化) (旧「多元文化論系演習(フランス近現代文化)」)	2	文構のみ	
		多元文化論系演習(ロシア文化論)	2	文構のみ	
		多元文化論系演習(遊牧・オアシス文化論)	2	文構のみ	
		多元文化論系演習(東欧近現代文化)	2	廃止	
		多元文化論系演習(東欧の歴史から)	2	文構のみ	
		多元文化論系演習(ヨーロッパとアジアの接触)	2	文構のみ	
		社会構築論系演習(古代社会の構造—オリエント)	2	廃止	
		社会構築論系演習(西洋社会の構造—ドイツ)	2	廃止	
		社会構築論系演習(西洋社会の構造—西欧)	2	廃止	
		社会構築論系演習(西洋社会の構造—北欧)	2	廃止	
		社会構築論系演習(西洋社会の構造—東欧)	2	廃止	
		社会構築論系演習(西洋社会の構造—ロシア)	2	廃止	
		社会構築論系演習(都市と地域の社会史 2—西洋)	2	廃止	
		社会構築論系演習(都市地域自治史 1—西洋)	2	廃止	
		社会構築論系演習(差別と対立の歴史 1)	2	廃止	
		社会構築論系演習(差別と対立の歴史 2)	2	廃止	
		社会構築論系演習(社会構造論 8)	2	廃止	
		アジア史演習 1 (史料研究 1)	2	文のみ	
		アジア史演習 2 (史料研究 2)	2	文のみ	
		アジア史演習 3 (中国古代史 1)	2	文のみ	
		アジア史演習 4 (朝鮮史 1)	2	文のみ	
		アジア史演習 5 (中国前近代史 1)	2	文のみ	
		アジア史演習 6 (中国古代史 2)	2	文のみ	
		アジア史演習 7 (朝鮮史 2)	2	文のみ	

免許法施行規則に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
2 類 (続き)	外国史 (続き)	アジア史演習 8 (中国前近代史 2)	2	文のみ	選択 (続き)
		アジア史演習 9 (アジア地域史)	2	文のみ	
		サブカルで読む東洋史入門 (旧「アジア史学発達史 1」)	2		
		アジア文化概論 1	2	廃止	
		アジア文化概論 1 (内陸アジア)	2	廃止	
		内陸アジア史	2		
		アジア文化概論 2	2	廃止	
		アジア文化概論 2 (東アジア)	2	廃止	
		アジア・日本文化研究 2	2		
		アジアの地域・都市の歴史	2	廃止	
		イスラーム文化世界	2		
		近現代ロシア史	2		
		史学概論 1	2	廃止	
		史学概論 2	2	廃止	
		史学概論	2		
		多民族社会アメリカ	2	廃止	
		地中海文化概論	2		
		朝鮮近現代史	2		
		東南アジア史	2		
		西欧史	2		
		西洋史演習 1 A (西洋古代史)	2	廃止	
		西洋史演習 1 A (西洋中世史)	2	文のみ	
		西洋史演習 1 B (西洋中世史)	2	廃止	
		西洋史演習 1 B (西洋近現代史)	2	文のみ	
		西洋史演習 1 C (西洋近現代史)	2	廃止	
		西洋史演習 2 A (西洋近現代史)	2	文のみ	
		西洋史演習 2 B (西洋近現代史)	2	文のみ	
		西洋史演習 3 A (西洋古代史)	2	廃止	
		西洋史演習 3 A (西洋中世史)	2	文のみ	
		西洋史演習 3 B (西洋中世史)	2	廃止	
		西洋史演習 3 B (西洋近現代史)	2	文のみ	
		西洋史演習 3 C (西洋近現代史)	2	廃止	
		西洋史演習 4 A (西洋近現代史)	2	文のみ	
		西洋史演習 4 B (西洋近現代史)	2	文のみ	
		西洋古代史 1 (ローマ・ヒューマニズム)	2	廃止	
		西洋古代史 1	2	廃止	
		西洋古代史 2 (古代ローマ史)	2	廃止	
		西洋古代史 2	2	廃止	
		西洋古代史	2		
		西洋中世史	2	廃止	
		西洋中世史 1	2		
		西洋中世史 2	2		
		西洋史学発達史 1	2	廃止	
		西洋史学発達史 2	2	廃止	
		西洋史学発達史	2		
		西洋史特論 1	2		
		西洋史特論 2	2		
		西洋史研究 1 (西洋古代・中世史)	2	廃止	
		西洋史研究 1 (西洋古代史)	2	廃止	
		西洋史研究 1 (西洋近現代史)	2		
		西洋史研究 2 (西洋近現代史)	2		
		西洋史研究 3 (西洋古代・中世史)	2	廃止	
		西洋史研究 3 (西洋中世史)	2		
		西洋史研究 4 (西洋近現代史)	2		
		西洋市民社会史	2		
		西洋社会構造論 1—西欧	2	廃止	
		西洋社会構造論 1	2	廃止	
		西洋地域社会論	2		
		西洋社会構造論 2—第一次大戦後ドイツの政治と社会	2	廃止	
		西洋社会構造論 2	2	廃止	
		西洋社会構造論 3—ロシア・東欧	2	廃止	
		西洋社会構造論 3	2	廃止	
		西洋社会の動態	2		
		西洋の地域・都市の歴史	2	廃止	
		中東・イスラーム研究入門	2		
		中東・イスラーム基礎研究	2		
		中東・イスラーム前近代史	2		

付録1 教育職員免許状(2018年度以前入学者)※文化構想学部・文学部共通

免許法施行規則に 定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
2 類 (続き)	外国史 (続き)	ポストコロナル思想文化論	2		選択 (続き)
		比較文明論	2		
		ヨーロッパ・地中海・イスラーム文化研究 3	2	廃止	
		ヨーロッパ・地中海・イスラーム文化研究 3（北欧世界とその歴史）	2	廃止	
		北欧世界とその歴史	2	廃止	
		東欧世界とその歴史	2		
		ヨーロッパ・地中海・イスラーム文化研究 4	2	廃止	
		ヨーロッパ・地中海・イスラーム文化研究 4（中央ユーラシアの諸民族と文化）	2	廃止	
		伝統文化研究 1	2		
	ヨーロッパ・地中海・イスラーム文化研究 5	2	廃止		
3 類	人文地理学 及び 自然地理学	自然地理学 1	2		2 単位以上 必修
		自然地理学 2	2		
		人文地理学 1	2		2 単位以上 必修
		人文地理学 2	2		
4 類	地誌	日本地誌	2	廃止	2 単位以上 必修
		世界地誌	2	廃止	
		地誌 1	2		
		地誌 2	2		
		ヨーロッパ・地中海の地誌（風土論）	2	廃止	選択
		ヨーロッパ文化研究	2		
計					20単位以上

■公民(高等学校教諭1種免許状)

免許法施行規則に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	法学原論	2		2 単位以上必修
		法律学	4	廃止	
		政治学原論	2		
2 類	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	社会学概論 1	2		2 単位以上必修
		社会学概論 2	2		
		社会学特論 1	2		
		社会学特論 2	2		
		経済学原論	2		
		社会学 1	2	廃止	
		社会学 2	2	廃止	
		現代人間論系演習(現代人と家族)	2	文構のみ	選択
		現代人間論系演習(現代人と職業)	2	廃止	
		社会構築論系演習(近・現代社会の制度構造と社会思想の諸相)	2	廃止	
		社会構築論系演習(社会構造と社会意識)	2	廃止	
		社会学演習 1(調査演習)	2	廃止	
		社会学演習 1(専門演習 1)	2	文のみ	
		社会学演習 2(調査演習)	2	廃止	
		社会学演習 2(専門演習 2)	2	文のみ	
		社会学演習 3(専門演習 1)	2	廃止	
		社会学演習 3(専門演習 3)	2	文のみ	
		社会学演習 4(専門演習 2)	2	廃止	
		社会学演習 4(専門演習 4)	2	文のみ	
		宗教社会学	2	廃止	
		消費社会論	2	廃止	
		日常生活の社会学	2		
		ライフストーリーの社会学	2		
		経済と社会	2	廃止	
		経済と国家	2		
		家族と社会	2	廃止	
		労働と社会	2	廃止	
		労働と国家	2		
		文化と社会	2	廃止	
		現代日本社会論	2		
		市民意識論	2		
		平和・人権論	2		
		社会理論と社会システム	2	廃止	
3 類	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学 1	2		2 単位以上必修
		哲学 2	2		
		倫理学 1	2		
		倫理学 2	2		
		宗教学 1	2	廃止	
		宗教学 2	2	廃止	
		心理学概論 1	2		
		心理学概論 2	2		
		心理学	4	廃止	選択
		多元文化論系演習(東アジア宗教文化論)	2	廃止	
		多元文化論系演習(東アジアの伝統と宗教文化)	2	文構のみ	
		現代人間論系演習(宗教と共同体)	2	廃止	
		現代人間論系演習(現代日本と宗教)	2	廃止	
		現代人間論系演習(信仰の論理)	2	廃止	
		現代人間論系演習(心と物語)	2	廃止	
		現代人間論系演習(物の文化と心の文化)	2	廃止	
		現代人間論系演習(不死の様式)	2	文構のみ	
		現代人間論系演習(現代人のアイデンティティーの心理)	2	文構のみ	
		現代人間論系演習(哲学的「感情」論)	2	廃止	
		現代人間論系演習(現代的人間観の倫理と論理)	2	廃止	
		現代人間論系演習(実存と他者の倫理)	2	文構のみ	
		現代人間論系演習(環境問題の論理と倫理)	2	文構のみ	
		現代人間論系演習(メディアの論理と倫理)	2	廃止	
		現代人間論系演習(消費社会の論理と倫理)	2	廃止	
		現代人間論系演習(サイバー空間の論理と倫理)	2	文構のみ	
		哲学演習 1(ドイツ哲学/現代哲学)	2	文のみ	
		哲学演習 2(英米哲学/現代哲学)	2	文のみ	
		哲学演習 3(中世哲学/美学)	2	廃止	
		哲学演習 3(中世哲学)	2	文のみ	

免許法施行規則に 定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
3 類 (続き)	「哲学、 倫理学、 宗教学、 心理学」 (続き)	哲学演習 4 (フランス哲学／現代哲学)	2	文のみ	選択 (続き)
		哲学演習 5 (宗教哲学／キリスト教思想)	2	廃止	
		哲学演習 5 (宗教哲学)	2	文のみ	
		哲学演習 6 (古代ギリシア哲学／認識論)	2	廃止	
		哲学演習 6 (古代ギリシア哲学)	2	文のみ	
		哲学演習 7 (ドイツ哲学／近代哲学)	2	文のみ	
		哲学演習 8 (ドイツ哲学／現代哲学)	2	文のみ	
		哲学演習 9 (英米哲学／現代哲学)	2	文のみ	
		哲学演習10 (中世哲学／美学)	2	廃止	
		哲学演習10 (中世哲学)	2	文のみ	
		哲学演習11 (フランス哲学／現代哲学)	2	文のみ	
		哲学演習12 (宗教哲学／キリスト教思想)	2	廃止	
		哲学演習12 (宗教哲学)	2	廃止	
		哲学演習13 (古代ギリシア哲学／認識論)	2	廃止	
		哲学演習13 (古代ギリシア哲学)	2	文のみ	
		哲学演習14 (ドイツ哲学／近代哲学)	2	文のみ	
		哲学専門講義 1 (ドイツ哲学／現代哲学)	2		
		哲学専門講義 2 (英米哲学／現代哲学)	2		
		哲学専門講義 3 (中世哲学／美学)	2	廃止	
		哲学専門講義 3 (中世哲学)	2		
		哲学専門講義 4 (フランス哲学／現代哲学)	2		
		哲学専門講義 5 (宗教哲学／キリスト教思想)	2		
		哲学専門講義 6 (古代ギリシア哲学／認識論)	2	廃止	
		哲学専門講義 6 (古代ギリシア哲学)	2		
		東洋哲学演習 3 (インド哲学 1)	2	文のみ	
		東洋哲学演習 6 (インド哲学 2)	2	文のみ	
		宗教思想	2	廃止	
		哲学的人間学	2		
		現代倫理学の方法	2	廃止	
		生命倫理	2		
		社会倫理学	2		
		公共性の哲学思想	2		
		中国思想の世界	2		
		宗教心理学	2	廃止	
		健康心理学 (～2010年度)	2	廃止	
		健康心理学 (2016年度～)	2	廃止	
健康・医療心理学	2				
社会心理学	2				
経済心理学	2				
子どもの発達心理学	2	廃止			
子どものこころ (発達心理学)	2				
大人の発達心理学	2	廃止			
大人のこころ (発達心理学)	2				
仏教概論	2				
計					20単位以上

■英語(中学校教諭1種免許状、高等学校教諭1種免許状)

免許法施行規則に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	英語学	英語学 1	2		2 単位以上 必修
		英語学 2	2		
		多元文化論系演習(英語の構造)	2	文構のみ	選択
		多元文化論系演習(英語教育の諸問題)	2	文構のみ	
		多元文化論系演習(英語圏の言語政策)	2	文構のみ	
		英文学演習 2 A (英語学入門)	2	廃止	
		英文学演習 4 A (英語学)	2	廃止	
		英文学演習 6 B (英語教育理論の検証)	2	廃止	
		英語学習の理論と実践	2		
		英語音声学 1	2	廃止	
		英語音声学 2	2	廃止	
		英語の歴史 1	2		
		英語の歴史 2	2		
		英語圏文化研究 1	2	廃止	
		英語圏文化研究 1 (日本の英語教育)	2	廃止	
		日本の英語教育	2		
2 類	英米文学	イギリス文学史 1	2		2 単位以上 必修
		イギリス文学史 2	2		※ 1 参照
		アメリカ文学史 1	2		2 単位以上 必修
		アメリカ文学史 2	2		※ 1 参照
		多元文化論系演習(英語圏フィクション)	2	廃止	選択
		多元文化論系演習(現代英語圏フィクション)	2	文構のみ	
		多元文化論系演習(英語圏ノンフィクション)	2	廃止	
		英文学演習 1 A (小説入門)	2	文のみ	
		英文学演習 1 B (詩入門)	2	文のみ	
		英文学演習 1 C (戯曲入門)	2	文のみ	
		英文学演習 3 A (小説)	2	文のみ	
		英文学演習 3 B (詩)	2	文のみ	
		英文学演習 3 C (戯曲)	2	文のみ	
		英文学講義Ideas in Context 1	2		
		英文学講義Ideas in Context 2	2		
		英文学講義Ideas in Context 3	2		
		英文学講義Ideas in Context 4	2		
		英文学講義Ideas in Context 5	2		
		英文学講義Ideas in Context 6	2		
		シェイクスピアと現代	2		
		イギリス小説の愉しみ	2		
		アメリカの短編小説	2	廃止	

免許法施行規則に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法		
3 類	英語コミュニケーション	必修English for General CommunicationⅠ	2		2 単位以上 必修	①	①～④ のうちの いずれか 必修
		必修English for General CommunicationⅡ	2				
		再履必修English for General CommunicationⅠ	2	廃止			
		再履必修English for General CommunicationⅡ	2	廃止			
		選択English for General Communication	2	廃止			
		English for Academic Purposes	2	廃止			
		English for Professional Purposes	2	廃止			
		Academic Skills in English 1	2	文構のみ	2 単位以上 必修 ※ 2 参照	②	
		Academic Skills in English 2	2	文構のみ			
		Academic Skills in English 3	2	文構のみ			
		Academic Skills in English 4	2	文構のみ			
		Academic Skills in English 5	2	文構のみ			
		Academic Skills in English 6	2	文構のみ			
		Academic Skills in English 7	2	文構のみ			
		Academic Skills (Integrated) s	2		2 単位以上 必修	③	
		Academic Skills (Integrated) f	2				
		Academic Skills (Writing) Ls	2	廃止	2 単位以上 必修 ※ 3 参照		
		Academic Skills (Writing) Lf	2	廃止			
		Academic Skills (Writing) Ms	2				
		Academic Skills (Writing) Mf	2				
		Academic Skills (Writing) Us	2				
		Academic Skills (Writing) Uf	2				
		Academic Skills (Reading) Ls	2	廃止	2 単位以上 必修 ※ 3 参照	④	
		Academic Skills (Reading) Lf	2	廃止			
		Academic Skills (Reading) Ms	2				
		Academic Skills (Reading) Mf	2				
		Academic Skills (Reading) Us	2				
		Academic Skills (Reading) Uf	2				
		Academic Skills (Discussion) Ls	2	廃止	2 単位以上 必修 ※ 3 参照		
		Academic Skills (Discussion) Lf	2	廃止			
		Academic Skills (Discussion) Ms	2				
		Academic Skills (Discussion) Mf	2				
		Academic Skills (Discussion) Us	2				
		Academic Skills (Discussion) Uf	2				
4 類	異文化理解	英米比較文化論 1	2		2 単位以上 必修		選択
		英米比較文化論 2	2				
		多元文化論系演習（アメリカ文化史）	2	文構のみ			
		多元文化論系演習（イギリス文化史）	2	文構のみ			
		多元文化論系演習（アイルランド文化史）	2	文構のみ			
		英語圏文化概論 1	2				
		英語圏文化概論 1（英語と社会）	2	廃止			
		英語圏文化概論 3	2	廃止			
		英語圏文化概論 3（Contemporary Africa）	2	廃止			
		現代文化研究 1	2				
		アメリカ民衆文化論	2	廃止			
		現代文化概論 2	2	廃止			
		イギリス民衆文化論	2				
		計					

※ 1 2010年度以前入学者は、「イギリス文学史 1」「イギリス文学史 2」「アメリカ文学史 1」「アメリカ文学史 2」のうち 2 単位以上が必修です。

※ 2 Academic Skills in English 1～7は、文化構想学部でJCulP(JS)の学生のみ履修可能です。

※ 3 Academic Skills (Writing)/(Reading)/(Discussion)からそれぞれ2単位以上、計6単位以上が必修です。

■フランス語（中学校教諭1種免許状、高等学校教諭1種免許状）※文学部のみ

免許法施行規則に 定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	フランス語学	フランス語フランス文学演習 9（フランス語学 1）	2		4 単位以上 必修
		フランス語フランス文学演習 10（フランス語学 3）	2		
		フランス語フランス文学演習 14（フランス語学 2）	2		
		フランス語フランス文学演習 15（フランス語学 4）	2		
		フランス語学概論	2		
		フランス語史	2		
2 類	フランス文学	フランス語フランス文学演習 2（フランス文学 1）	2		8 単位以上 必修
		フランス語フランス文学演習 5（フランス文学 2）	2		
		フランス語フランス文学演習 7（フランス文学 3）	2		
		フランス語フランス文学演習 8（フランス文学 5）	2		
		フランス語フランス文学演習 12（フランス文学 4）	2		
		フランス語フランス文学演習 13（フランス文学 6）	2		
		フランス文学史 1	2		
		フランス文学史 2	2		
		フランス中世・ルネサンス文学	2		
		フランス小説	2		
		フランス詩	2		
3 類	フランス語コミュ ニケーション	フランス語で表現する 4（作文中級）	2		4 単位以上 必修
		フランス語で表現する 5（会話・作文上級）	2	廃止	
		フランス語で表現する 5（会話・作文総合）	2		
		フランス語で表現する 9（作文中級）	2		
		フランス語で表現する 10（会話・作文上級）	2	廃止	
		フランス語で表現する 1 0（会話・作文総合）	2		
4 類	異文化理解	フランス語フランス文学演習 3（フランス文化 1）	2		4 単位以上 必修
		フランス語フランス文学演習 6（フランス文化 2）	2		
		フランス語フランス文学演習 11（フランス文化 3）	2		
		フランス語フランス文学演習 16（フランス文化 4）	2		
		フランス比較文化論	2		
計					20単位以上

付録1 教育職員免許状(2018年度以前入学者)※文化構想学部・文学部共通

■ドイツ語(中学校教諭1種免許状、高等学校教諭1種免許状)※文学部のみ

免許法施行規則 に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	ドイツ語学	ドイツ語ドイツ文学演習 3（ドイツの言語）	2		必修
		ドイツ語ドイツ文学演習 6（ドイツの言語）	2		必修
		ドイツ言語文化論	2		必修
2 類	ドイツ文学	ドイツ語ドイツ文学演習 2（ドイツの文学）	2		必修
		ドイツ語ドイツ文学演習 5（ドイツの文学）	2		必修
		ドイツ文学概論 1	2		必修
		ドイツ文学概論 2	2		必修
		ドイツ語圏の文学	2		必修
3 類	ドイツ語コミュニケーション	ドイツ語を書こう 1	2	廃止	4 単位以上 必修
		ドイツ語を書こう 2	2	廃止	
		ドイツ語を話そう 1	2	廃止	
		ドイツ語を話そう 2	2	廃止	
		ドイツ語会話・作文 1	2	廃止	
		ドイツ語会話・作文 2	2	廃止	
		ドイツ語で表現する 5（中級の会話・作文）	2		
		ドイツ語で表現する 6（中級の会話・作文）	2		
		ドイツ語で表現する 7（中級の会話・作文）	2		
		ドイツ語で表現する 8（中級の会話・作文）	2		
		ドイツ語で表現する 9（中級の会話・作文）	2		
		ドイツ語で表現する 10（中級の会話・作文）	2		
		ドイツ語で表現する 11（上級の会話・作文）	2	廃止	
ドイツ語で表現する 12（上級の会話・作文）	2	廃止			
4 類	異文化理解	ドイツ語ドイツ文学演習 8（ドイツ事情）	2		4 単位以上 必修
		ドイツ文化特論	2		
		ドイツ比較文化論 1	2	廃止	
		ウィーン文化論	2		
		ドイツ比較文化論 2	2	廃止	
		ドイツ比較文化論	2		
計					24単位以上

■ロシア語(中学校教諭1種免許状、高等学校教諭1種免許状)※文学部のみ

免許法施行規則に 定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	ロシア語学	ロシア語ロシア文学演習 2（語学）	2		4 単位以上 必修
		ロシア語学	2		
		ロシア語史	2		
2 類	ロシア文学	ロシア語ロシア文学演習 1（19世紀文学Ⅰ）	2	廃止	10単位以上 必修
		ロシア語ロシア文学演習 1（文学・芸術・社会Ⅰ）	2		
		ロシア語ロシア文学演習 3（19世紀文学Ⅱ）	2	廃止	
		ロシア語ロシア文学演習 3（文学・芸術・社会Ⅱ）	2		
		ロシア語ロシア文学演習 5（19世紀文学Ⅲ）	2	廃止	
		ロシア語ロシア文学演習 6（19世紀文学Ⅳ）	2	廃止	
		ロシア語ロシア文学演習 6（ロシア詩論）	2		
		ロシア語ロシア文学演習 7（中世・18世紀文学）	2	廃止	
		ロシア語ロシア文学演習 7（文学・文化理論）	2		
		ロシア語ロシア文学演習 8（現代文学）	2	廃止	
		ロシア語ロシア文学演習 8（現代ロシアの芸術・文化）	2		
		ロシア中世文学	2		
		ロシア現代文学	2		
3 類	ロシア語コミュニ ケーション	ロシア語で表現する 1（作文・エレメンタリー）	2		4 単位以上 必修
		ロシア語で表現する 2（会話・エレメンタリー）	2		
		ロシア語で表現する 3（中級会話・日常生活）	2	廃止	
		ロシア語で表現する 4（作文・ステップアップ）	2		
		ロシア語で表現する 5（会話・ステップアップ）	2		
		ロシア語で表現する 6（中級会話・ロシアの文化）	2	廃止	
		ロシア語力を磨く 2（上級会話）	2		
		ロシア語力を磨く 4（上級会話）	2		
4 類	異文化理解	日露比較文化 1	2		必修
		日露比較文化 2	2		必修
計					22単位以上

■中国語(中学校教諭1種免許状、高等学校教諭1種免許状)※文学部のみ

免許法施行規則に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法		
1 類	中国語学	中国語学史 1	2	※	必修		
		中国語学史 2	2	※	必修		
		中国語中国文学演習 2（中国語文法）	2		4 単位以上 必修		
		中国語中国文学演習 5（中国語音韻論）	2				
		中国語中国文学演習 8（中国語教育法）	2				
		中国語中国文学演習 11（中国語文法）	2				
		中国語中国文学演習 13（中国語音韻論）	2				
中国語中国文学演習 14（中国語教育法）	2						
2 類	中国文学	中国近現代文学史 1（作品で読む中国20世紀文学）	2		必修		
		中国近現代文学史 2（作品で読む中国20世紀・21世紀文学）	2		必修		
		中国語中国文学演習 1（古代文学）	2		4 単位以上 必修		
		中国語中国文学演習 3（近現代文学）	2				
		中国語中国文学演習 4（近世文学）	2				
		中国語中国文学演習 6（近現代文学）	2				
		中国語中国文学演習 9（近現代文学）	2				
中国語中国文学演習 10（近世文学）	2						
中国語中国文学演習 12（近現代文学）	2						
3 類	中国語コミュニケーション	中国語会話（中級） 1 A	2	廃止	4 単位以上 必修		
		中国語会話（中級） 1 B	2	廃止			
		中国語会話（中級） 1 C	2	廃止			
		中国語会話（中級） 1 D	2	廃止			
		中国語会話（中級） 1 E	2	廃止			
		中国語会話（中級） A	2				
		中国語会話（中級） B	2				
		中国語会話（中級） C	2				
		中国語会話（中級） D	2	廃止			
		上級中国語会話 1	2	廃止			
		上級中国語会話 2	2	廃止			
		中国語会話（中級） 2 A	2	廃止			
		中国語会話（中級） 2 B	2	廃止			
		中国語会話（中級） 2 C	2	廃止			
		中国語会話（中級） 2 D	2	廃止			
		中国語会話（中級） 2 E	2	廃止			
		中国語会話（中上級） A	2				
		中国語会話（中上級） B	2				
		中国語会話（中上級） C	2				
		中国語会話（中上級） D	2	廃止			
		中国語作文（中級） 1 A	2	廃止	4 単位以上 必修		
		中国語作文（中級） 1 B	2	廃止			
		中国語作文（中級） A	2				
		中国語作文（中級） B	2				
		中国語作文（中級） 2 A	2	廃止			
		中国語作文（中級） 2 B	2	廃止			
		中国語作文（中上級） A	2				
		中国語作文（中上級） B	2				
		中国語作文（上級）-エッセイを書く	2				
		中国語作文（上級）-ビジネス文を書く	2				
		4 類	異文化理解	中国比較文化論 1（中国民族文化の諸相（南部編））	2		必修
				中国比較文化論 2	2		必修
計					28単位以上		

※「中国語学史 1」と「中国語学史 2」は必修かつ隔年開講の必修科目で、**科目登録できるタイミングが限られるので注意してください。**

付録2

教育職員免許状（2019年度～2021年度入学者）

※文化構想学部・文学部共通

付録2は、2019年度～2021年度入学者向けの内容です。なお、記載内容に変更が生じる可能性があります。その場合は、学部 Web サイト等で周知いたします。

教育職員免許状と同法施行規則の改正を受け、入学年度により適用法令が異なります。

法令ごとに免許状取得の要件（修得が必要な科目や単位数）が決められていますので、履修計画を立てる際には、入学年度をてがかりにご自身の法令・必要な科目等を確認してください。

入学年度	本冊子の表記	証明書の資格名称
2010年度～ 2018年度	旧課程 (2018年度以前入学者)	* * 教諭一種免許状 (平成10年改正法 平成20年省令改正)
2019年度～ 2021年度	新課程 (2019～2021年度入学者)	* * 教諭一種免許状 (平成28年改正法 令和6年省令改正)
2022年度～	新課程 (2022年度以降入学者)	

※卒業後に科目等履修生として教員免許状取得をする場合のカリキュラム・法令等はこの限りではありません。

卒業までにご自身が適用となる法令に定められる免許状取得要件を満たさず卒業し、卒業後に教員免許状取得を目指す場合は、その時点での最新の法令が適用されます。

在学時と異なる法令が適用される場合、必要な科目や単位数が増える等が想定されることから、正規の学生として在学している間に教員免許状取得要件となっている科目のすべてを履修することをおすすめします。

卒業後も引き続き教員免許状の取得を目指す場合は、履修計画を立てる段階でご自身に適用される法令の確認を含め、文学学術院事務所に相談してください。

【2018年度以前入学者の方へ】

2018年度以前入学者は、「付録1. 教育職員免許状（2018年度以前入学者）」を参照してください。絶対に「付録2. 教育職員免許状（2019年度～2021年度入学者）」および「付録3. 教育職員免許状（2022年度以降入学者）」の内容で履修しないでください。誤った要件・科目で履修してしまった場合も、一切の救済措置等を取ることはできません。

【2022年度以降入学者の方へ】

2022年度以降入学者は、「付録3. 教育職員免許状（2022年度以降入学者）」を参照してください。絶対に「付録1. 教育職員免許状（2018年度以前入学者）」および「付録2. 教育職員免許状（2019年度～2021年度入学者）」の内容で履修しないでください。誤った要件・科目で履修してしまった場合も、一切の救済措置等を取ることはできません。

【転部により入学された方へ】

学位課程が継続していると考えられるため、前学籍の入学年度（早稲田大学への入学年度）の課程が適用されます。

【学士・再入学により入学された方へ】

学位課程は継続していないと考えられるため、学士・再入学の入学年度の課程が適用されます。ただし、学士・再入学の場合、前学籍で「教育方法・技術論」（又は同等科目）の単位を修得しているか否かによって適用法令が異なることがありますので、ご自身の適用法令について事前に必ず文学学術院事務所にご確認ください。

1. 教員免許状の種類・教科

1. 文化構想学部・文学部が文部科学省から認定を受けている免許状の種類は、次のとおりです。

- ① 中学校教諭一種免許状（以下「中1」）
- ② 高等学校教諭一種免許状（以下「高1」）

2. 上記①②の免許状のうち、本学部で取得できるものは、以下の教科です。

文化構想学部

中 1	国語 社会 英語
高 1	国語 地理歴史 公民 英語

文学部

中 1	国語 社会 英語 フランス語※ ドイツ語※ ロシア語※ 中国語※
高 1	国語 地理歴史 公民 英語 フランス語※ ドイツ語※ ロシア語※ 中国語※

※文学部におけるフランス語・ドイツ語・ロシア語・中国語の免許状取得は、それぞれ対応するコースに在籍している場合に限ります。

2. 取得要件

教育職員免許状の取得を希望する者は、「教育職員免許法」と「教育職員免許法施行規則」に定められた所定の単位を修得しなければなりません。

対象となる科目は年度によって休講・廃止・名称変更等の変更がありますので、必ず最新年度の『教職課程履修の手引き』（教育学部発行）・『Webシラバス』を併せて参照してください。不明な場合はそのままにせず、必ず科目登録前に文学部・文学部事務所で科目設置箇所事務所で確認を行うようにしてください。

教員免許状取得要件は以下のとおりです。

【基礎資格】 学士の学位を有すること

【必要単位数一覧】

1. 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目	科目設置箇所	科目名	単位数	備考	最低修得単位数	
					中学1種	高校1種
66条の6に定める科目	文化構想・文学部	憲法	2		2	2
		法学原論	2			
	グローバルエデュケーションセンター	スポーツ実習ⅠまたはⅡ *各1単位のため、2科目必要です	各1		2	2
	文化構想・文学部	・JCulPを除く1年次に入学した正規生 …必修 EGC イ・ロ（1年次自動登録科目）※ア ・JCulP（JS） …Academic Skills in English（1年次自動登録科目）※ア ・転部入学者・学士入学者・JCulP（OS） …対象科目を文化構想学部・文学部 Web サイトで確認してください。※ア	2		2	2
	文化構想・文学部	・JCulPを除く1年次に入学した正規生 …基礎講義（1年次自動登録科目）※ア ・転部入学者・学士入学者・JCulP（JS）（OS） …対象科目を文化構想学部・文学部 Web サイトで確認してください。※イ	2		2	2
計					8	8

※ア 1年次自動登録科目である「必修 EGC イ・ロ」「Academic Skills in English」「基礎講義」の単位を修得することで要件を満たす場合は、改めて他の対象科目を履修する必要はありません（2年次に自動登録される「必修 EGC ハ・ニ」の修得では要件を満たすことはできませんので、ご注意ください）。

※イ 2022年度から項目名が変更となりました。必ず「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」2単位もしくは「情報機器の操作」2単位のいずれかを選択してください。「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」1単位と「情報機器の操作」1単位の組み合わせは不可のため十分注意してください。

2. 教科及び教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目		科目設置箇所	科目名	中学 1 種		高校 1 種	
教科及び教科 の指導法に関する 科目 ①	教科に関する専門的事項 ②	文化構想・文学部	(d) 参照	(20)	2 8	(20)	2 4
	各教科の指導法（情報通信技 術の活用を含む。） ③	教育学部	(a) 参照	8		4	
教育の基礎的 理解に関する科 目等（必修）	教育の基礎的理解に関する科目 ④	文化構想・文学部 ／教育学部	(a) 参照	1 0		1 0	
	道徳、総合的な学習の時間等の 指導法及び生徒指導、教育相談 等に関する科目 ⑤			1 0		8	
	教育実践に関する科目 ⑥			7		5	
大学が独自に設定する科目 ⑦		文化構想・文学部 ／教育学部	(c) 参照	2		選択	
教育の基礎的理解に関する科目等（選択）		教育学部	(b) 参照	選択		選択	
最低修得単位数の合計 ⑧				5 9		5 9	

※①、④～⑦それぞれの科目の最低修得単位数だけでは、⑧「最低修得単位数の合計」の59単位を満たすことができません。任意の科目において最低修得単位数以上の単位を修得し、総修得単位数を必ず59単位以上にしてください。

※②「教科に関する専門的事項」については、法令上の最低修得単位数は定められていません。ただし、①「教科及び教科の指導法に関する科目」としては、②「教科に関する専門的事項」と③「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」との合算で、①「教科及び教科の指導法に関する科目」に記載の単位数を修得する必要があります（中学1種は28単位、高校1種は24単位）。また、③「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」については、中学校1種免許取得者は8単位以上、高等学校1種取得者は4単位以上修得することが定められています。

※本冊子では、以後、④「教育の基礎的理解に関する科目」、⑤「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、⑥「教育実践に関する科目」をまとめて、「教育の基礎的理解に関する科目等」と表記します。

- 必ず最新年度の『教職課程履修の手引き』（教育学部発行）を併せて参照してください。
- 各科目は年度によって休講となる場合があります。科目登録の際には、Webシラバス等で開講状況を確認してください。なお廃止となった科目でもすでに単位を修得している場合は有効です。
- 以前に在籍していた学部・大学等で教員免許状に関連する科目の単位を修得していた場合は「学力に関する証明書」を文学学術院事務所に提出してください。
- 免許種・教科によっては、上記以上の単位数を必要とします。
- 文化構想学部・文学部 Web サイトに「教職履修チェックシート」を掲載しています。修得単位数の確認等に利用してください。また文学学術院事務所に履修相談を希望する場合は、事前に「教職履修チェックシート」を記入してからお越しください。

教職履修チェックシートを活用してください。

a

教育の基礎的理解に関する科目等（必修）、各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

免許法施行規則に定める科目区分等		科目設置箇所	科目名	単位数	備考	必修単位数	
						中学 1種	高校 1種
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	文構・文	教育学概論 1 ※1	2		2	2
		教育	教育基礎総論 1（中・高） ※1	2			
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	文構・文	教職論	2		2	2
		教育	教職概論（中・高）	2			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	文構・文	教育制度論 ※1	2		2	2
		教育	教育制度総論（中・高） ※1	2			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	文構・文	教育・学校心理学	2		2	2
		教育	教育心理学（中・高）	2			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		教育	特別支援教育（中・高）	1		1	1
		教育	教育課程編成論（中・高）	1		1	1
		教育	道徳の理論及び指導法	2		2	選択
		教育	【中学】総合的な学習の時間の指導法/【高校】総合的な探求の時間の指導法	1		1	1
		教育	特別活動の指導法	1		1	1
		教育	教育の方法及び技術	2		2	2
		教育	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2		2	2
		教育	生徒指導の理論及び方法	2		2	2
教育実践に関する科目	教育実習	教育	教育実習演習（3週間） ※3 ※4	5		5	－
			教育実習演習（2週間） ※3 ※4	3		－	3
	教職実践演習	教育	教職実践演習（中・高）	2		2	2
計						27	23

免許法施行規則に定める科目区分等		科目設置箇所	科目名	単位数	備考	必修単位数	
						中学 1種	高校 1種
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	教育	教科教育法 1 ※5	2		8	4
			教科教育法 2 ※5	2			
			教科教育法 3 ※5	2			選択
			教科教育法 4 ※5	2			選択

付録 2 教育職員免許状（2019 年度～2021 年度入学者）※文化構想学部・文学部共通

- ※1 「教育学概論 1」と「教育制度論」、「教育基礎総論 1（中・高）」と「教育制度総論（中・高）」はそれぞれセットとなっていますので、セットとなっている 2 科目の単位を修得してください。これ以外の組み合わせでの履修は不可とします。
- ※2 2022 年度より「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」の区分が追加されましたが、2019 年度～2021 年度入学者で在学中に「教育方法・技術論（中・高）」を修得している場合（在学中であれば修得年度はいつでも可）は、「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」の区分の要件も満たしていると見なされます。
- ※3 中学校教諭 1 種免許状・高等学校教諭 1 種免許状の両方を取得する場合は「教育実習演習（3 週間）」(5 単位)を登録してください。「教育実習演習（3 週間）」と「教育実習演習（2 週間）」は同一科目扱いのため、在学中にどちらか 1 つの科目しか修得することができません。「教育実習演習（2 週間）」(3 単位)を一度修得してしまうと、在学中には中学校教諭 1 種免許状を取得することはできなくなるため注意してください。
- ※4 「教育実習演習」は春学期開講クラスと夏秋期開講クラスがあり、教育実習の時期によって登録するクラスが異なります。詳細は教育学部発行『教職課程履修の手引き』を参照してください。
- ※5 取得を希望する各教科の教育法を履修してください。なお教科教育法の履修にあたっては、前提条件が設定されています。詳しくは『教職課程履修の手引き』を参照してください。また「社会科教育法」の取得単位は、中学「社会」にのみ使用でき、高校「地理歴史」「公民」の単位とは見なされません。

【文学部でフランス語・ドイツ語・ロシア語・中国語の免許取得を希望する方への注意事項】

フランス語・ドイツ語・ロシア語・中国語のいずれかの免許のみの取得を希望する場合、教育実習先の確保が難しい場合があります。教育実習先は原則としてご自身の出身校となりますが、出身校でフランス語・ドイツ語・ロシア語・中国語の履修が不可能な場合、当該教科で教育実習を行うことは困難です。**フランス語・ドイツ語・ロシア語・中国語の免許取得を希望される場合、英語や国語などの他教科でも教育実習が可能**なよう準備しておくことを強くお勧めします（教育実習を実施する教科で前提条件を満たす必要があります。詳細は『教職課程履修の手引き』を参照してください）。中学・高校において複数教科の免許取得を希望する場合、教育実習は取得希望の教科のうちいずれか 1 教科で構いません（国語で 3 週間(5 単位)の教育実習を行った場合でも、その単位は中学 1 種フランス語の免許取得にも使用できます）。

b

教育の基礎的理解に関する科目等（選択）

免許法施行規則に定める科目区分等		科目設置箇所	科目名	単位数	備考	履修方法	
						中学 1種	高校 1種
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育	教職研究Ⅲ（日本教育史）	2	廃止	選択	選択
	教職研究Ⅳ（西洋教育史）		2	廃止			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教職研究Ⅰ（学校教育法規）	2	廃止		
			教職研究Ⅱ（教育行政法規）	2	廃止		
			教職研究Ⅴ（学校外教育）	2			
			教職研究Ⅸ（教育経営）	2			
			教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究）	1			
			教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究）	1			
			教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク）	1			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術	授業技術演習	2				
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育における ICT 活用（中・高）	1				

c

大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める 科目区分等	科目設置 箇所	科目名	単位 数	備考	履修方法		
					中学 1 種	高校 1 種	
大学が独自に設定する科目	文構・文	教育哲学	2		選択	選択	
		教育史学	2				
		教育社会学 1	2				
		教育社会学 2	2				
		学校教育学	2	廃止			
		比較・国際教育学（教育改革の視点とその方策）	2				
		教育法・教育行政	2				
		障害と教育（旧科目名称：特殊教育学） ※1	2				
	教育	介護体験実習講義 ※2	2		必修	選択	選択
		人間理解基盤講座	2	廃止			
		人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論 と実践）	2				
		教職研究Ⅵ（生涯教育）	2				
		教職研究Ⅷ（総合学習の研究）	2				
		教職特講Ⅲ（部活動論）	1				
		学級経営インターンシップ	4	廃止			
		学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域 社会における心理支援に関する理論と実践） ※2	4				
		特別支援教育インターンシップ ※2	4				
		初等教育インターンシップ ※2	4				
		インクルーシブ教育インターンシップ ※2	4				
		中等国語科教育インターンシップ ※2 【国語の免許にのみ使用可】	4				
		国語科授業技術演習 【国語の免許にのみ使用可】	2				

※1 「特殊教育学」は2023年度から「障害と教育」に科目名が変更されました。2022年度までに修得した「特殊教育学」の単位は有効です。また、「特殊教育学」を修得済みの場合、同一科目である「障害と教育」を履修することはできません。

※2 所定の条件を満たしていなければ介護体験実習講義・学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）・特別支援教育インターンシップ・初等教育インターンシップ・インクルーシブ教育インターンシップ・中等国語科教育インターンシップを登録できませんので、教育学部発行『教職課程履修の手引き』を参照してください。

d

教科に関する専門的事項

【教科に関する科目を履修する際の注意事項（全教科共通）】

- 教科・免許種ごとの表に従って必修科目と合計単位数の両方を満たすように修得してください。
なお必修科目だけでは合計単位数を満たせない場合は、選択科目も修得する必要があります。
- **各科目は年度によって休講となる場合があります。科目登録の際には、Web シラバス等で開講状況を確認してください。**
- 他学部同一名の科目が設置されている場合がありますが、必ず文化構想学部・文学部設置の科目を履修してください（他学部設置科目の場合、同一科目名であっても教員免許状取得のための「教科に関する専門的事項」の単位とはみなされません）。ただし、教育学部が開講する「新国語教育講座」は、文化構想学部・文学部生が中学一種「国語」、高校一種「国語」の教員免許状を取得するために、教科に関する専門的事項の選択科目として履修できます。
- 廃止となった科目でもすでに単位を修得している場合は有効です。
- **2019年度～2021年度入学者に適用される「新課程（2019～2021年度入学者）」においては、「教科に関する専門的事項」の該当科目が少なくなっています。3年生や4年生に履修しようとしても、履修したい科目が休講であったり、他の必修科目と時間割が重複して履修できなかったりする恐れがありますので、1年生のうちから計画的に履修してください。できるだけ早い段階で要件を満たすことをお勧めします。**

要注意！

【隔年開講科目についての注意（特に文学部でフランス語・ドイツ語・ロシア語・中国語の免許取得を希望する方は注意）】

- 科目によっては隔年開講（1年ごとに休講→開講→休講→…となる）となる場合がありますので計画的に履修を進めてください。なお、指定科目以外で取得要件を満たすことはできませんので注意してください（代替科目等の設定はありません）。隔年開講科目は「備考」欄に「偶数年開講」または「奇数年開講」の記載があります。ただし、諸般の事情により「偶数年開講」「奇数年開講」の記載と実際の開講状況が異なってしまう可能性もありますので、**隔年開講科目の開講状況については必ず学部ウェブページで当該年度の開講科目一覧を確認してください。**

学部ウェブページ > 在学生の方へ > 科目登録 > 開講科目一覧・シラバス PDF 版

- **特に中国語の免許取得を希望する場合、必修の「中国語学史1」と「中国語学史2」（2科目両方が必修）が隔年開講かつ配当年次が2年生以上（1年生は履修不可）のため、科目登録できる年度が限られます。**

中国語学史1：偶数年度に2年生以上が履修可能

中国語学史2：奇数年度に2年生以上が履修可能

両科目とも曜日時限なしのフルオンデマンド科目のため、他科目との曜日時限重複によって科目登録できなくなる心配はありませんが、**必ず忘れずに科目登録を行い、不合格にならないように注意してください。**

「中国語学史1」と「中国語学史2」を科目登録できるタイミングの例（4月入学で未進級、休学、留学がない場合）

＜偶数年度に入学した方＞

中国語学史1：3年次の1回のみ科目登録可能（必ず合格して下さい）

中国語学史2：2年次と4年次の2回のみ科目登録可能

＜奇数年度に入学した方＞

中国語学史1：2年次と4年次の2回のみ科目登録可能

中国語学史2：3年次の1回のみ科目登録可能（必ず合格して下さい）

■国語(中学校教諭1種免許状、高等学校教諭1種免許状)

免許法施行規則に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	日本語学概論 1	2		2 単位以上 必修
		日本語学概論 2	2		
		日本語日本文学研究 6（日本語学）	2		選択
		日本語史 1	2		
		日本語史 2	2		
		日本文法 1	2		
		日本文法 2	2		
2 類	国文学（国文学史を含む。）	日本文学概論 1	2		2 単位以上 必修
		日本文学概論 2	2		
		アジア・日本文化概論 2	2		選択
		伝統文化概論 1	2		
		歴史と文学	2		
		日本語日本文学研究 1（上代文学）	2		
		日本語日本文学研究 2（中古文学）	2		
		日本語日本文学研究 3（中世文学）	2		
		日本語日本文学研究 4（近世文学）	2		
		日本語日本文学研究 5（近代文学）	2		
		日本文学史 1（上代文学）	2		
		日本文学史 2（中古文学）	2		
		日本文学史 3（中世文学）	2		
		日本文学史 4（近世文学）	2		
		日本文学史 5（近代文学）	2		
		日本文学史 6（現代文学）	2		
3 類	漢文学	漢文講読 1	2		2 単位以上 必修
		漢文講読 2	2		
		中国詩歌概論 1（古代の詩歌と文化）	2	奇数年開講	
		中国詩歌概論 2（唐詩を読む）	2	偶数年開講	
		基礎漢文 1	2		
		基礎漢文 2	2		
		中国哲学特論	2		選択
		東洋思想特論	2		
		仏教漢文の世界	2		
4 類	書道（書写を中心とする。）	書道（書写） 1	2		2 単位以上 必修 【注意事項】 参照
		書道（書写） 2	2		
計					20 単位以上

【注意事項】

「書道(書写)」は中学1種「教科に関する専門的事項」の必修科目ですが、**高校1種の単位としては使用できません**。中・高両方の免許取得を希望する場合は、4 類「書道(書写を中心とする。)」の単位を除いて合計 20 単位以上となるように修得したうえで「書道(書写を中心とする。)」の単位を修得するようにしてください(修得の順序は問いません)。

■社会(中学校教諭1種免許状)

免許法施行規則に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	日本史・外国史	日本史概論 1	2		2 単位以上
		日本史概論 2	2		必修
		アジア史概論 1	2		2 単位以上
		アジア史概論 2	2		必修
		西洋史概論 1	2		2 単位以上
		西洋史概論 2	2		必修
		アジア・日本文化研究 1	2		選択
		日本史講義 1 (古代)	2		
		日本史講義 5 (近世)	2		
		日本史講義 6 (近現代)	2		
		日本史特論 1 (旧「アジア史学発達史 2」)	2		
		地中海文化概論	2		
		イスラーム文化世界	2		
		伝統文化研究 1	2		
		アジア・日本文化研究 2	2		
		内陸アジア史	2		
		東欧世界とその歴史	2		
		朝鮮近現代史	2		
		東南アジア史	2		
		サブカルでよむ東洋史入門 (旧「アジア史学発達史 1」)	2		
		西洋史研究 1 (西洋近現代史)	2		
		西洋史研究 2 (西洋近現代史)	2		
		西洋史研究 3 (西洋中世史)	2		
		西洋史研究 4 (西洋近現代史)	2		
		史学概論	2		
		西洋史学発達史	2		
		西洋史特論 1	2		
		西洋古代史	2		
		西洋中世史 2	2		
		西欧史	2		
近現代ロシア史	2				
西洋中世史 1	2				
中東・イスラーム研究入門	2				
中東・イスラーム基礎研究	2				
中東・イスラーム前近代史	2				
ポストコロニアル思想文化論	2				
2 類	地理学 (地誌を含む。)	自然地理学 1	2		2 単位以上
		自然地理学 2	2		必修
		人文地理学 1	2		2 単位以上
		人文地理学 2	2		必修
		地誌 1	2		2 単位以上
		地誌 2	2		必修
		ヨーロッパ文化研究	2		選択
3 類	「法学、政治学」	法学原論	2		2 単位以上
		政治学原論	2		必修
4 類	「社会学、経済学」	経済学原論	2		必修
		消費社会論	2	廃止	選択
		日常生活の社会学	2		
		ライフストーリーの社会学	2		
5 類	「哲学、倫理学、宗教学」	哲学 1	2		2 単位以上 必修
		哲学 2	2		
		倫理学 1	2		
		倫理学 2	2		
		宗教学 1	2	廃止	
		宗教学 2	2	廃止	
		宗教思想	2	廃止	選択
		社会倫理学	2		
		生命倫理	2		
		哲学専門講義 1 (ドイツ哲学／現代哲学)	2		
		哲学専門講義 2 (英米哲学／現代哲学)	2		
		哲学専門講義 3 (中世哲学)	2		
		哲学専門講義 4 (フランス哲学／現代哲学)	2		
		哲学専門講義 5 (宗教哲学／キリスト教思想)	2		
		哲学専門講義 6 (古代ギリシア哲学)	2		
		中国思想の世界	2		
		仏教概論	2		
計					20 単位以上

■地理歴史（高等学校教諭1種免許状）

免許法施行規則に 定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	日本史	日本史概論 1	2		2 単位以上 必修
		日本史概論 2	2		
		アジア・日本文化研究 1	2		選択
		日本史講義 1（古代）	2		
		日本史講義 5（近世）	2		
		日本史講義 6（近現代）	2		
		日本史特論 1（旧「アジア史学発達史 2」）	2		
2 類	外国史	アジア史概論 1	2		2 単位以上 必修
		アジア史概論 2	2		2 単位以上 必修
		西洋史概論 1	2		選択
		西洋史概論 2	2		
		地中海文化概論	2		
		イスラーム文化世界	2		
		伝統文化研究 1	2		
		アジア・日本文化研究 2	2		
		内陸アジア史	2		
		東欧世界とその歴史	2		
		朝鮮近現代史	2		
		東南アジア史	2		
		サブカルでよむ東洋史入門（旧「アジア史学発達史 1」）	2		
		西洋史研究 1（西洋近現代史）	2		
		西洋史研究 2（西洋近現代史）	2		
		西洋史研究 3（西洋中世史）	2		
		西洋史研究 4（西洋近現代史）	2		
		史学概論	2		
		西洋史学発達史	2		
		西洋史特論 1	2		
		西洋古代史	2		
		西洋中世史 2	2		
		西欧史	2		
		近現代ロシア史	2		
		西洋中世史 1	2		
		中東・イスラーム研究入門	2		
		中東・イスラーム基礎研究	2		
		中東・イスラーム前近代史	2		
		ポストコロナル思想文化論	2		
3 類	人文地理学・ 自然地理学	自然地理学 1	2		2 単位以上 必修
		自然地理学 2	2		2 単位以上 必修
		人文地理学 1	2		2 単位以上 必修
		人文地理学 2	2		2 単位以上 必修
4 類	地誌	地誌 1	2		2 単位以上 必修
		地誌 2	2		2 単位以上 必修
		ヨーロッパ文化研究	2		選択
計					20単位以上

■公民(高等学校教諭1種免許状)

免許法施行規則に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	「法学（国際法を含む。） 、政治学(国際政治を含む。）」	法学原論	2		2 単位以上必修
		政治学原論	2		
2 類	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	経済学原論	2		必修
		消費社会論	2	廃止	選択
		日常生活の社会学	2		
		ライフストーリーの社会学	2		
3 類	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学 1	2		2 単位以上必修
		哲学 2	2		
		倫理学 1	2		
		倫理学 2	2		
		宗教学 1	2	廃止	
		宗教学 2	2	廃止	
		心理学概論 1	2		選択
		心理学概論 2	2		
		宗教思想	2	廃止	
		社会倫理学	2		
		子どものこころ（発達心理学）	2		
		大人のこころ（発達心理学）	2		
		生命倫理	2		
		哲学専門講義 1（ドイツ哲学／現代哲学）	2		
		哲学専門講義 2（英米哲学／現代哲学）	2		
		哲学専門講義 3（中世哲学）	2		
		哲学専門講義 4（フランス哲学／現代哲学）	2		
		哲学専門講義 5（宗教哲学／キリスト教思想）	2		
		哲学専門講義 6（古代ギリシア哲学）	2		
		中国思想の世界	2		
		仏教概論	2		
		経済心理学	2		
		社会心理学	2		
		健康・医療心理学	2		
計					20単位以上

■英語(中学校教諭1種免許状、高等学校教諭1種免許状)

免許法施行規則に 定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	英語学	英語学 1	2		2 単位以上 必修
		英語学 2	2		
		日本の英語教育	2		選択
		英語の歴史 1	2		
		英語の歴史 2	2		
		英語音声学 1	2	廃止	
		英語音声学 2	2	廃止	
2 類	英語文学	イギリス文学史 1	2		2 単位以上 必修
		イギリス文学史 2	2		
		アメリカ文学史 1	2		2 単位以上 必修
		アメリカ文学史 2	2		
		英文学講義Ideas in Context 2	2		選択
		英文学講義Ideas in Context 3	2		
		英文学講義Ideas in Context 4	2		
		英文学講義Ideas in Context 5	2		
		英文学講義Ideas in Context 6	2		
		シェイクスピアと現代	2		
イギリス小説の愉しみ	2				
3 類	英語コミュニケーション	Academic Skills in English 4	2	文構のみ ※	2 単位以上 必修
		Academic Skills in English 5	2	文構のみ ※	
		Academic Skills (Integrated) s	2		
		Academic Skills (Integrated) f	2		
4 類	異文化理解	英米比較文化論 1	2		2 単位以上 必修
		英米比較文化論 2	2		
		イギリス民衆文化論	2		選択
		英語圏文化概論 1	2		
計					20単位以上

※ Academic Skills in English 4・5は、文化構想学部でJCulP(JS)の学生のみ履修可能です。

■フランス語（中学校教諭1種免許状、高等学校教諭1種免許状）※文学部のみ

免許法施行規則に 定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	フランス語学	フランス語学概論	2		4 単位以上 必修
		フランス語史	2		
		フランス語フランス文学演習 9（フランス語学 1）	2	奇数年開講	
		フランス語フランス文学演習 1 0（フランス語学 3）	2	偶数年開講	
		フランス語フランス文学演習 1 4（フランス語学 2）	2	奇数年開講	
		フランス語フランス文学演習 1 5（フランス語学 4）	2	偶数年開講	
2 類	フランス文学	フランス文学史 1	2		8 単位以上 必修
		フランス中世・ルネサンス文学	2		
		フランス詩	2		
		フランス小説	2		
		フランス語フランス文学演習 5（フランス文学 2）	2		
		フランス語フランス文学演習 7（フランス文学 3）	2		
		フランス語フランス文学演習 8（フランス文学 5）	2		
		フランス語フランス文学演習 1 2（フランス文学 4）	2		
フランス語フランス文学演習 1 3（フランス文学 6）	2				
3 類	フランス語コミュニ ケーション	フランス語で表現する 4（作文中級）	2		4 単位以上 必修
		フランス語で表現する 5（会話・作文総合）	2		
		フランス語で表現する 9（作文中級）	2		
		フランス語で表現する 1 0（会話・作文総合）	2		
4 類	異文化理解	フランス語フランス文学演習 3（フランス文化 1）	2		4 単位以上 必修
		フランス語フランス文学演習 6（フランス文化 2）	2		
		フランス語フランス文学演習 1 1（フランス文化 3）	2		
		フランス語フランス文学演習 1 6（フランス文化 4）	2		
計					20単位以上

■ドイツ語（中学校教諭1種免許状、高等学校教諭1種免許状）※文学部のみ

免許法施行規則 に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	ドイツ語学	ドイツ言語文化論	2		必修
		ドイツ語ドイツ文学演習 3（ドイツの言語）	2		必修
		ドイツ語ドイツ文学演習 6（ドイツの言語）	2		必修
2 類	ドイツ文学	ドイツ文学概論 1	2		必修
		ドイツ文学概論 2	2		必修
		ドイツ語圏の文学	2		必修
		ドイツ語ドイツ文学演習 2（ドイツの文学）	2		必修
		ドイツ語ドイツ文学演習 5（ドイツの文学）	2		必修
3 類	ドイツ語コミュニ ケーション	ドイツ語で表現する 1 1（上級の会話・作文）	2	廃止	4 単位以上 必修
		ドイツ語で表現する 1 2（上級の会話・作文）	2	廃止	
		ドイツ語で表現する 5（中級の会話・作文）	2		
		ドイツ語で表現する 6（中級の会話・作文）	2		
		ドイツ語で表現する 7（中級の会話・作文）	2		
		ドイツ語で表現する 8（中級の会話・作文）	2		
		ドイツ語で表現する 9（中級の会話・作文）	2		
		ドイツ語で表現する 1 0（中級の会話・作文）	2		
4 類	異文化理解	ドイツ文化特論	2	偶数年開講	4 単位以上 必修
		ウィーン文化論	2		
		ドイツ比較文化論	2		
		ドイツ語ドイツ文学演習 8（ドイツ事情）	2		
計					24単位以上

■ロシア語(中学校教諭1種免許状、高等学校教諭1種免許状)※文学部のみ

免許法施行規則に 定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	ロシア語学	ロシア語ロシア文学演習 2（語学）	2		4単位以上 必修
		ロシア語学	2		
		ロシア語史	2		
2 類	ロシア文学	ロシア語ロシア文学演習 1（文学・芸術・社会I）	2		10単位以上 必修
		ロシア語ロシア文学演習 3（文学・芸術・社会II）	2		
		ロシア語ロシア文学演習 6（ロシア詩論）	2		
		ロシア語ロシア文学演習 7（文学・文化理論）	2		
		ロシア語ロシア文学演習 8（現代ロシアの芸術・文化）	2		
		ロシア中世文学	2		
		ロシア現代文学	2		
3 類	ロシア語コミュニ ケーション	ロシア語で表現する 1（作文・エレメンタリー）	2		4 単位以上 必修
		ロシア語で表現する 2（会話・エレメンタリー）	2		
		ロシア語で表現する 4（作文・ステップアップ）	2		
		ロシア語で表現する 5（会話・ステップアップ）	2		
		ロシア語力を磨く 2（上級会話）	2		
		ロシア語力を磨く 4（上級会話）	2		
4 類	異文化理解	日露比較文化 1	2		必修
		日露比較文化 2	2		必修
計					22単位以上

■中国語(中学校教諭1種免許状、高等学校教諭1種免許状)※文学部のみ

免許法施行規則に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	中国語学	中国語学史 1	2	偶数年開講	必修
		中国語学史 2	2	奇数年開講	必修
		中国語中国文学演習 2 (中国語文法)	2		4 単位以上 必修
		中国語中国文学演習 5 (中国語音韻論)	2		
		中国語中国文学演習 8 (中国語教育法)	2		
		中国語中国文学演習 1 1 (中国語文法)	2		
		中国語中国文学演習 1 3 (中国語音韻論)	2		
		中国語中国文学演習 1 4 (中国語教育法)	2		
2 類	中国文学	中国近現代文学史 1 (作品で読む中国20世紀文学)	2		必修
		中国近現代文学史 2 (作品で読む中国20世紀・21世紀文学)	2		必修
		中国語中国文学演習 1 (古代文学)	2		4 単位以上 必修
		中国語中国文学演習 3 (近現代文学)	2		
		中国語中国文学演習 4 (近世文学)	2		
		中国語中国文学演習 6 (近現代文学)	2		
		中国語中国文学演習 9 (近現代文学)	2		
		中国語中国文学演習 1 0 (近世文学)	2		
3 類	中国語コミュニケーション	中国語会話 (中級)	2		4 単位以上 必修
		中国語会話 (中上級)	2		
		中国語作文 (中級)	2		4 単位以上 必修
		中国語作文 (中上級)	2		
		中国語作文 (上級) -エッセイを書く	2		
		中国語作文 (上級) -ビジネス文を書く	2		
4 類	異文化理解	中国比較文化論 1 (中国民族文化の諸相(南部編))	2		必修
		中国比較文化論 2	2		必修

※「中国語学史 1」と「中国語学史 2」は必修かつ隔年開講の必修科目で、**科目登録できるタイミングが限られるので注意してください。**詳しくは「付録 2」の(35)ページを**必ず確認してください。**

付録 3

教育職員免許状（2022 年度以降入学者）※文化構想学部・文学部共通

付録 3 は、2022 年度以降入学者向けの内容です。なお、記載内容に変更が生じる可能性があります。その場合は、学部 Web サイト等で周知いたします。

教育職員免許状と同法施行規則の改正を受け、入学年度により適用法令が異なります。

法令ごとに免許状取得の要件（修得が必要な科目や単位数）が決められていますので、履修計画を立てる際には、入学年度をてがかりにご自身の法令・必要な科目等を確認してください。

入学年度	本冊子の表記	証明書の資格名称
2010 年度～ 2018 年度	旧課程 (2018 年度以前入学者)	* * 教諭一種免許状 (平成 10 年改正法 平成 20 年省令改正)
2019 年度～ 2021 年度	新課程 (2019～2021 年度入学者)	* * 教諭一種免許状 (平成 28 年改正法 令和 6 年省令改正)
2022 年度～	新課程 (2022 年度以降入学者)	

※卒業後に科目等履修生として教員免許状取得をする場合のカリキュラム・法令等はこの限りではありません。

【2018 年度以前入学者の方へ】

2018 年度以前入学者は、「付録 1. 教育職員免許状（2018 年度以前入学者）」を参照してください。絶対に「付録 2. 教育職員免許状（2019 年度～2021 年度入学者）」および「付録 3. 教育職員免許状（2022 年度以降入学者）」の内容で履修しないでください。誤った要件・科目で履修してしまった場合も、一切の救済措置等を取ることはできません。

【2019 年度～2021 年度入学者の方へ】

2019 年度～2021 年度入学者は、「付録 2. 教育職員免許状（2019 年度～2021 年度入学者）」を参照してください。絶対に「付録 1. 教育職員免許状（2018 年度以前入学者）」および「付録 3. 教育職員免許状（2022 年度以降入学者）」の内容で履修しないでください。誤った要件・科目で履修してしまった場合も、一切の救済措置等を取ることはできません。

【転部により入学された方へ】

学位課程が継続していると考えられるため、前学籍の入学年度（早稲田大学への入学年度）の課程が適用されます。

【学士・再入学により入学された方へ】

学位課程は継続していないと考えられるため、学士・再入学の入学年度の課程が適用されます。ただし、学士・再入学の場合、前学籍で「教育方法・技術論」（又は同等科目）の単位を修得しているか否かによって適用法令が異なることがありますので、ご自身の適用法令について事前に必ず文学学術院事務所にご確認ください。

1. 教員免許状の種類・教科

1. 文化構想学部・文学部が文部科学省から認定を受けている免許状の種類は、次のとおりです。

- ① 中学校教諭一種免許状（以下「中1」）
- ② 高等学校教諭一種免許状（以下「高1」）

2. 上記①②の免許状のうち、本学部で取得できるものは、以下の教科です。

文化構想学部

中 1	国語 社会 英語
高 1	国語 地理歴史 公民 英語

文学部

中 1	国語 社会 英語 フランス語※ ドイツ語※ ロシア語※ 中国語※
高 1	国語 地理歴史 公民 英語 フランス語※ ドイツ語※ ロシア語※ 中国語※

※文学部におけるフランス語・ドイツ語・ロシア語・中国語の免許状取得は、それぞれ対応するコースに在籍している場合に限ります。

2. 取得要件

教育職員免許状の取得を希望する者は、「教育職員免許法」と「教育職員免許法施行規則」に定められた所定の単位を修得しなければなりません。

対象となる科目は年度によって休講・廃止・名称変更等の変更がありますので、必ず最新年度の『教職課程履修の手引き』（教育学部発行）・『Webシラバス』を併せて参照してください。不明な場合はそのままにせず、必ず科目登録前に文学部・文学部事務所で科目設置箇所事務所で確認を行うようにしてください。

教員免許状取得要件は以下のとおりです。

【基礎資格】 学士の学位を有すること

【必要単位数一覧】

1. 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目	科目設置箇所	科目名	単位数	備考	最低修得単位数	
					中学1種	高校1種
66条の6に定める科目	文化構想・文学部	憲法	2		2	2
		法学原論	2			
	グローバルエデュケーションセンター	スポーツ実習ⅠまたはⅡ *各1単位のため、2科目必要です	各1		2	2
	文化構想・文学部	・JCulPを除く1年次に入学した正規生 …必修 EGC イ・ロ（1年次自動登録科目）※ア ・JCulP（JS） …Academic Skills in English（1年次自動登録科目）※ア ・転部入学者・学士入学者・JCulP（OS） …対象科目を文化構想学部・文学部 Web サイトで確認してください。※ア	2		2	2
	文化構想・文学部	・JCulPを除く1年次に入学した正規生 …基礎講義（1年次自動登録科目）※ア ・転部入学者・学士入学者・JCulP（JS）（OS） …対象科目を文化構想学部・文学部 Web サイトで確認してください。※イ	2		2	2
計					8	8

※ア 1年次自動登録科目である「必修 EGC イ・ロ」「Academic Skills in English」「基礎講義」の単位を修得することで要件を満たす場合は、改めて他の対象科目を履修する必要はありません（2年次に自動登録される「必修 EGC ハ・ニ」の修得では要件を満たすことはできませんので、ご注意ください）。

※イ 2022年度から項目名が変更となりました。必ず「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」2単位もしくは「情報機器の操作」2単位のいずれかを選択してください。「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」1単位と「情報機器の操作」1単位の組み合わせは不可のため十分注意してください。

2. 教科及び教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目		科目設置箇所	科目名	中学 1 種		高校 1 種	
教科及び教科 の指導法に関する科目 ①	教科に関する専門的事項 ②	文化構想・文学部	(d) 参照	(20)	2 8	(20)	2 4
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） ③	教育学部	(a) 参照	8		4	
教育の基礎的 理解に関する科目等（必修）	教育の基礎的理解に関する科目 ④	文化構想・文学部 ／教育学部	(a) 参照	1 0		1 0	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 ⑤			1 1		9	
	教育実践に関する科目 ⑥			7		5	
大学が独自に設定する科目 ⑦		文化構想・文学部 ／教育学部	(c) 参照	2		選択	
教育の基礎的理解に関する科目等（選択）		教育学部	(b) 参照	選択		選択	
最低修得単位数の合計 ⑧				5 9		5 9	

※①、④～⑦それぞれの科目の最低修得単位数だけでは、⑧「最低修得単位数の合計」の59単位を満たすことができません。任意の科目において最低修得単位数以上の単位を修得し、総修得単位数を必ず59単位以上にしてください。

※②「教科に関する専門的事項」については、法令上の最低修得単位数は定められていません。ただし、①「教科及び教科の指導法に関する科目」としては、②「教科に関する専門的事項」と③「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」との合算で、①「教科及び教科の指導法に関する科目」に記載の単位数を修得する必要があります（中学1種は28単位、高校1種は24単位）。また、③「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」については、中学校1種免許取得者は8単位以上、高等学校1種取得者は4単位以上修得することが定められています。

※2022年度より⑤「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」に「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」の区分が追加され、「教育におけるICT活用（中・高）」が必修となりました。**2022年度以降入学者は「教育におけるICT活用（中・高）」を必ず修得してください。**なお、⑤「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の法令上の最低修得単位数は中学1種10単位以上、高校1種8単位以上と定められていますが、本学の必修科目を修得すると中学1種11単位、高校1種9単位となるため、上記の表では中学1種11単位、高校1種9単位と表記しています。

※本冊子では、以後、④「教育の基礎的理解に関する科目」、⑤「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、⑥「教育実践に関する科目」をまとめて、「教育の基礎的理解に関する科目等」と表記します。

- 必ず最新年度の『教職課程履修の手引き』（教育学部発行）を併せて参照してください。
- 各科目は年度によって休講となる場合があります。科目登録の際には、Webシラバス等で開講状況を確認してください。なお廃止となった科目でもすでに単位を修得している場合は有効です。
- 以前に在籍していた学部・大学等で教員免許状に関連する科目の単位を修得していた場合は「学力に関する証明書」を文学学術院事務所に提出してください。
- 免許種・教科によっては、上記以上の単位数を必要とします。
- 文化構想学部・文学部 Web サイトに「教職履修チェックシート」を掲載しています。修得単位数の確認等に利用してください。また文学学術院事務所に履修相談を希望する場合は、事前に「教職履修チェックシート」を記入してからお越しください。

教職履修チェックシートを活用してください。

a

教育の基礎的理解に関する科目等（必修）、各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

免許法施行規則に定める科目区分等		科目設置箇所	科目名	単位数	備考	必修単位数	
						中学 1種	高校 1種
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	文構・文	教育学概論 1 ※1	2		2	2
		教育	教育基礎総論 1（中・高） ※1	2			
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	文構・文	教職論	2		2	2
		教育	教職概論（中・高）	2			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	文構・文	教育制度論 ※1	2		2	2
		教育	教育制度総論（中・高） ※1	2			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	文構・文	教育・学校心理学	2		2	2
		教育	教育心理学（中・高）	2			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	教育	特別支援教育（中・高）	1		1	1
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育	教育課程編成論（中・高）	1		1	1
	道徳の理論及び指導法	教育	道徳教育論（中・高）	2		2	選択
	【中学】総合的な学習の時間の指導法/【高校】総合的な探求の時間の指導法	教育	総合的な学習・探究論（中・高）	1		1	1
	特別活動の指導法	教育	特別活動論（中・高）	1		1	1
	教育の方法及び技術	教育	教育方法・技術論（中・高）	2		2	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育	教育における ICT 活用（中・高） ※2	1		1	1
	生徒指導の理論及び方法	教育	生徒指導・進路指導論（中・高）	2		2	2
教育実践に関する科目	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育	生徒理解と教育相談（中・高）	2		2	2
	教育実習	教育	教育実習演習（3週間） ※3 ※4	5		5	－
			教育実習演習（2週間） ※3 ※4	3		－	3
教育実践に関する科目	教職実践演習	教育	教職実践演習（中・高）	2		2	2
計						28	24

免許法施行規則に定める科目区分等		科目設置箇所	科目名	単位数	備考	必修単位数	
						中学 1種	高校 1種
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	教育	教科教育法 1 ※5	2		8	4
			教科教育法 2 ※5	2			
			教科教育法 3 ※5	2			選択
			教科教育法 4 ※5	2			選択

付録 3 教育職員免許状（2022 年度以降入学者）※文化構想学部・文学部共通

- ※1 「教育学概論 1」と「教育制度論」、「教育基礎総論 1（中・高）」と「教育制度総論（中・高）」はそれぞれセットとなっていますので、セットとなっている 2 科目の単位を修得してください。これ以外の組み合わせでの履修は不可とします。
- ※2 2022 年度より「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」の区分が追加され、「教育における ICT 活用（中・高）」が必修となりました。**2022 年度以降入学者は「教育における ICT 活用（中・高）」を必ず修得してください。**
- ※3 中学校教諭 1 種免許状・高等学校教諭 1 種免許状の両方を取得する場合は「教育実習演習（3 週間）」(5 単位)を登録してください。「教育実習演習（3 週間）」と「教育実習演習（2 週間）」は同一科目扱いのため、在学中にどちらか 1 つの科目しか修得することができません。「教育実習演習（2 週間）」(3 単位)を一度修得してしまうと、在学中には中学校教諭 1 種免許状を取得することはできなくなるため注意してください。
- ※4 「教育実習演習」は春学期開講クラスと夏秋期開講クラスがあり、教育実習の時期によって登録するクラスが異なります。詳細は教育学部発行『教職課程履修の手引き』を参照してください。
- ※5 取得を希望する各教科の教育法を履修してください。なお教科教育法の履修にあたっては、前提条件が設定されています。詳しくは『教職課程履修の手引き』を参照してください。また「社会科教育法」の取得単位は、中学「社会」にのみ使用でき、高校「地理歴史」「公民」の単位とは見なされません。

【文学部でフランス語・ドイツ語・ロシア語・中国語の免許取得を希望する方への注意事項】

フランス語・ドイツ語・ロシア語・中国語のいずれかの免許のみの取得を希望する場合、教育実習先の確保が難しい場合があります。教育実習先は原則としてご自身の出身校となりますが、出身校でフランス語・ドイツ語・ロシア語・中国語の履修が不可能な場合、当該教科で教育実習を行うことは困難です。**フランス語・ドイツ語・ロシア語・中国語の免許取得を希望される場合、英語や国語などの他教科でも教育実習が可能よう準備しておくことを強くお勧めします**（教育実習を実施する教科で前提条件を満たす必要があります。詳細は『教職課程履修の手引き』を参照してください）。中学・高校において複数教科の免許取得を希望する場合、教育実習は取得希望の教科のうちいずれか 1 教科で構いません（国語で 3 週間(5 単位)の教育実習を行った場合でも、その単位は中学 1 種フランス語の免許取得にも使用できます）。

b

教育の基礎的理解に関する科目等（選択）

免許法施行規則に定める科目区分等		科目設置箇所	科目名	単位数	備考	履修方法	
						中学 1種	高校 1種
教育の基礎的 理解に関する 科目	教育の理念並びに 教育に関する歴史 及び思想	教育	教職研究Ⅲ（日本教育史）	2	廃止	選択	選択
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教職研究Ⅳ（西洋教育史）	2	廃止		
			教職研究Ⅰ（学校教育法規）	2	廃止		
			教職研究Ⅱ（教育行政法規）	2	廃止		
			教職研究Ⅴ（学校外教育）	2			
			教職研究Ⅸ（教育経営）	2			
			教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究）	1			
			教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究）	1			
			教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク）	1			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術	授業技術演習	2				

c

大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める 科目区分等	科目設置 箇所	科目名	単位 数	備考	履修方法	
					中学 1 種	高校 1 種
大学が独自に設定する科目	文構・文	教育哲学	2		選択	選択
		教育史学	2			
		教育社会学 1	2			
		教育社会学 2	2			
		学校教育学	2	廃止		
		比較・国際教育学（教育改革の視点とその方策）	2			
		教育法・教育行政	2			
		障害と教育（旧科目名称：特殊教育学） ※1	2			
	教育	介護体験実習講義 ※2	2		必修	選択
		人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論 と実践）	2			
		教職研究Ⅵ（生涯教育）	2			
		教職研究Ⅷ（総合学習の研究）	2			
		教職特講Ⅲ（部活動論）	1			
		学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域 社会における心理支援に関する理論と実践） ※2	4			
		特別支援教育インターンシップ ※2	4			
		初等教育インターンシップ ※2	4			
		インクルーシブ教育インターンシップ ※2	4			
		中等国語科教育インターンシップ ※2 【国語の免許にのみ使用可】	4			
		国語科授業技術演習 【国語の免許にのみ使用可】	2			

※1 「特殊教育学」は 2023 年度から「障害と教育」に科目名が変更されました。2022 年度までに修得した「特殊教育学」の単位は有効です。また、「特殊教育学」を修得済みの場合、同一科目である「障害と教育」を履修することはできません。

※2 所定の条件を満たしていなければ介護体験実習講義・学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）・特別支援教育インターンシップ・初等教育インターンシップ・インクルーシブ教育インターンシップ・中等国語科教育インターンシップを登録できませんので、教育学部発行『教職課程履修の手引き』を参照してください。

d 教科に関する専門的事項

【教科に関する科目を履修する際の注意事項（全教科共通）】

- 教科・免許種ごとの表に従って必修科目と合計単位数の両方を満たすように修得してください。
なお必修科目だけでは合計単位数を満たせない場合は、選択科目も修得する必要があります。
- 各科目は年度によって休講となる場合があります。科目登録の際には、Web シラバス等で開講状況を確認してください。
- 他学部に同一名の科目が設置されている場合がありますが、必ず文化構想学部・文学部設置の科目を履修してください（他学部設置科目の場合、同一科目名であっても教員免許状取得のための「教科に関する専門的事項」の単位とはみなされません）。ただし、教育学部が開講する「新国語教育講座」は、文化構想学部・文学部生が中学一種「国語」、高校一種「国語」の教員免許状を取得するために、教科に関する専門的事項の選択科目として履修できます。
- 廃止となった科目でもすでに単位を修得している場合は有効です。
- 2022年度以降入学者に適用される「新課程（2022年度以降入学者）」においては、「教科に関する専門的事項」の該当科目が少なくなっています。3年生や4年生に履修しようとしても、履修したい科目が休講であったり、他の必修科目と時間割が重複して履修できなかったりする恐れがありますので、1年生のうちから計画的に履修してください。できるだけ早い段階で要件を満たすことをお勧めします。



要注意！

【隔年開講科目についての注意（特に文学部でフランス語・ドイツ語・ロシア語・中国語の免許取得を希望する方は注意）】

- 科目によっては隔年開講（1年ごとに休講→開講→休講→…となる）となる場合がありますので計画的に履修を進めてください。なお、指定科目以外で取得要件を満たすことはできませんので注意してください（代替科目等の設定はありません）。隔年開講科目は「備考」欄に「偶数年開講」または「奇数年開講」の記載があります。ただし、諸般の事情により「偶数年開講」「奇数年開講」の記載と実際の開講状況が異なってしまう可能性もありますので、隔年開講科目の開講状況については必ず学部ウェブページで当該年度の開講科目一覧を確認してください。

学部ウェブページ > 在学生の方へ > 科目登録 > 開講科目一覧・シラバス PDF 版

- 特に中国語の免許取得を希望する場合、必修の「中国語学史1」と「中国語学史2」（2科目両方が必修）が隔年開講かつ配当年次が2年生以上（1年生は履修不可）のため、科目登録できる年度が限られます。

中国語学史1：偶数年度に2年生以上が履修可能

中国語学史2：奇数年度に2年生以上が履修可能

両科目とも曜日時限なしのフルオンデマンド科目のため、他科目との曜日時限重複によって科目登録できなくなる心配はありませんが、必ず忘れずに科目登録を行い、不合格にならないように注意してください。

「中国語学史1」と「中国語学史2」を科目登録できるタイミングの例（4月入学で未進級、休学、留学がない場合）

＜偶数年度に入学した方＞

中国語学史1：3年次の1回のみ科目登録可能（必ず合格して下さい）

中国語学史2：2年次と4年次の2回のみ科目登録可能

＜奇数年度に入学した方＞

中国語学史1：2年次と4年次の2回のみ科目登録可能

中国語学史2：3年次の1回のみ科目登録可能（必ず合格して下さい）

■国語(中学校教諭1種免許状、高等学校教諭1種免許状)

免許法施行規則に 定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	国語学（音声 言語及び文章 表現に関するものを含む。）	日本語学概論 1	2		2 単位以上 必修
		日本語学概論 2	2		
		日本語日本文学研究 6（日本語学）	2		選択
		日本語史 1	2		
		日本語史 2	2		
		日本文法 1	2		
		日本文法 2	2		
2 類	国文学（国文学史を含む。）	日本文学概論 1	2		2 単位以上 必修
		日本文学概論 2	2		
		アジア・日本文化概論 2	2		選択
		伝統文化概論 1	2		
		歴史と文学	2		
		日本語日本文学研究 1（上代文学）	2		
		日本語日本文学研究 2（中古文学）	2		
		日本語日本文学研究 3（中世文学）	2		
		日本語日本文学研究 4（近世文学）	2		
		日本語日本文学研究 5（近代文学）	2		
		日本文学史 1（上代文学）	2		
		日本文学史 2（中古文学）	2		
		日本文学史 3（中世文学）	2		
		日本文学史 4（近世文学）	2		
		日本文学史 5（近代文学）	2		
日本文学史 6（現代文学）	2				
3 類	漢文学	漢文講読 1	2		2 単位以上 必修
		漢文講読 2	2		
		中国詩歌概論 1（古代の詩歌と文化）	2	奇数年開講	
		中国詩歌概論 2（唐詩を読む）	2	偶数年開講	
		基礎漢文 1	2		
		基礎漢文 2	2		選択
		中国哲学特論	2		
		東洋思想特論	2		
		仏教漢文の世界	2		
4 類	書道（書写を中心とする。）	書道（書写） 1	2		2 単位以上 必修 【注意事項】 参照
		書道（書写） 2	2		
計					20 単位以上

【注意事項】

「書道(書写)」は中学1種「教科に関する専門的事項」の必修科目ですが、**高校1種の単位としては使用できません**。中・高両方の免許取得を希望する場合は、4 類「書道(書写を中心とする。)」の単位を除いて合計 20 単位以上となるように修得したうえで「書道(書写を中心とする。)」の単位を修得するようにしてください(修得の順序は問いません)。

■社会(中学校教諭1種免許状)

免許法施行規則に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法			
1 類	日本史・外国史	日本史概論 1	2		2 単位以上			
		日本史概論 2	2		必修			
		アジア史概論 1	2		2 単位以上			
		アジア史概論 2	2		必修			
		西洋史概論 1	2		2 単位以上			
		西洋史概論 2	2		必修			
		アジア・日本文化研究 1	2		選択			
		日本史講義 1（古代）	2					
		日本史講義 5（近世）	2					
		日本史講義 6（近現代）	2					
		日本史特論 1（旧「アジア史学発達史 2」）	2					
		地中海文化概論	2					
		イスラーム文化世界	2					
		伝統文化研究 1	2					
		アジア・日本文化研究 2	2					
		内陸アジア史	2					
		東欧世界とその歴史	2					
		朝鮮近現代史	2					
		東南アジア史	2					
		サブカルでよむ東洋史入門（旧「アジア史学発達史 1」）	2					
		西洋史研究 1（西洋近現代史）	2					
		西洋史研究 2（西洋近現代史）	2					
		西洋史研究 3（西洋中世史）	2					
		西洋史研究 4（西洋近現代史）	2					
		史学概論	2					
		西洋史学発達史	2					
		西洋史特論 1	2					
		西洋古代史	2					
		西洋中世史 2	2					
		西欧史	2					
		近現代ロシア史	2					
		西洋中世史 1	2					
		中東・イスラーム研究入門	2					
		中東・イスラーム基礎研究	2					
		中東・イスラーム前近代史	2					
		ポストコロニアル思想文化論	2					
2 類	地理学（地誌を含む。）	自然地理学 1	2		2 単位以上			
		自然地理学 2	2		必修			
		人文地理学 1	2		2 単位以上			
		人文地理学 2	2		必修			
		地誌 1	2		2 単位以上			
		地誌 2	2		必修			
		ヨーロッパ文化研究	2		選択			
3 類	「法学、政治学」	法学原論	2		2 単位以上			
		政治学原論	2		必修			
4 類	「社会学、経済学」	経済学原論	2		必修			
		消費社会論	2	廃止	選択			
		日常生活の社会学	2					
ライフストーリーの社会学		2						
5 類	「哲学、倫理学、宗教学」	哲学 1	2		2 単位以上 必修			
		哲学 2	2					
		倫理学 1	2					
		倫理学 2	2					
		宗教学 1	2	廃止				
		宗教学 2	2	廃止	選択			
		宗教思想	2	廃止				
		社会倫理学	2					
		生命倫理	2					
		哲学専門講義 1（ドイツ哲学／現代哲学）	2					
		哲学専門講義 2（英米哲学／現代哲学）	2					
		哲学専門講義 3（中世哲学）	2					
		哲学専門講義 4（フランス哲学／現代哲学）	2					
		哲学専門講義 5（宗教哲学／キリスト教思想）	2					
		哲学専門講義 6（古代ギリシア哲学）	2					
		中国思想の世界	2					
		仏教概論	2					
		計					20 単位以上	

■地理歴史(高等学校教諭1種免許状)

免許法施行規則に 定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法	
1 類	日本史	日本史概論 1	2		2 単位以上 必修	
		日本史概論 2	2			
		アジア・日本文化研究 1	2		選択	
		日本史講義 1（古代）	2			
		日本史講義 5（近世）	2			
		日本史講義 6（近現代）	2			
		日本史特論 1（旧「アジア史学発達史 2」）	2			
2 類	外国史	アジア史概論 1	2		2 単位以上 必修	
		アジア史概論 2	2			
		西洋史概論 1	2		2 単位以上 必修	
		西洋史概論 2	2			
		地中海文化概論	2		選択	
		イスラーム文化世界	2			
		伝統文化研究 1	2			
		アジア・日本文化研究 2	2			
		内陸アジア史	2			
		東欧世界とその歴史	2			
		朝鮮近現代史	2			
		東南アジア史	2			
		サブカルでよむ東洋史入門（旧「アジア史学発達史 1」）	2			
		西洋史研究 1（西洋近現代史）	2			
		西洋史研究 2（西洋近現代史）	2			
		西洋史研究 3（西洋中世史）	2			
		西洋史研究 4（西洋近現代史）	2			
		史学概論	2			
		西洋史学発達史	2			
		西洋史特論 1	2			
		西洋古代史	2			
		西洋中世史 2	2			
		西欧史	2			
		近現代ロシア史	2			
		西洋中世史 1	2			
		中東・イスラーム研究入門	2			
		中東・イスラーム基礎研究	2			
		中東・イスラーム前近代史	2			
		ポストコロナル思想文化論	2			
3 類	人文地理学・ 自然地理学	自然地理学 1	2			2 単位以上 必修
		自然地理学 2	2			
		人文地理学 1	2		2 単位以上 必修	
		人文地理学 2	2			
4 類	地誌	地誌 1	2		2 単位以上 必修	
		地誌 2	2			
		ヨーロッパ文化研究	2		選択	
計					20単位以上	

■公民(高等学校教諭1種免許状)

免許法施行規則に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	「法律学（国際法を含む。） 、政治学(国際政治を含む。) 」	法学原論	2		2 単位以上必修
		政治学原論	2		
2 類	「社会学、経済学（国際経済を含む。 ） 」	経済学原論	2		必修
		消費社会論	2	廃止	選択
		日常生活の社会学	2		
		ライフストーリーの社会学	2		
3 類	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学 1	2		2 単位以上必修
		哲学 2	2		
		倫理学 1	2		
		倫理学 2	2		
		宗教学 1	2	廃止	
		宗教学 2	2	廃止	
		心理学概論 1	2		
		心理学概論 2	2		
		宗教思想	2	廃止	選択
		社会倫理学	2		
		子どものこころ（発達心理学）	2		
		大人のこころ（発達心理学）	2		
		生命倫理	2		
		哲学専門講義 1（ドイツ哲学／現代哲学）	2		
		哲学専門講義 2（英米哲学／現代哲学）	2		
		哲学専門講義 3（中世哲学）	2		
		哲学専門講義 4（フランス哲学／現代哲学）	2		
		哲学専門講義 5（宗教哲学／キリスト教思想）	2		
		哲学専門講義 6（古代ギリシア哲学）	2		
		中国思想の世界	2		
		仏教概論	2		
		経済心理学	2		
		社会心理学	2		
		健康・医療心理学	2		
計					20単位以上

■ 英語 (中学校教諭1種免許状、高等学校教諭1種免許状)

免許法施行規則に 定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	英語学	英語学 1	2		2 単位以上 必修
		英語学 2	2		
		日本の英語教育	2		選択
		英語の歴史 1	2		
		英語の歴史 2	2		
		英語音声学 1	2	廃止	
		英語音声学 2	2	廃止	
2 類	英語文学	イギリス文学史 1	2		2 単位以上 必修
		イギリス文学史 2	2		
		アメリカ文学史 1	2		2 単位以上 必修
		アメリカ文学史 2	2		
		英文学講義Ideas in Context 2	2		選択
		英文学講義Ideas in Context 3	2		
		英文学講義Ideas in Context 4	2		
		英文学講義Ideas in Context 5	2		
		英文学講義Ideas in Context 6	2		
		シェイクスピアと現代	2		
イギリス小説の愉しみ	2				
3 類	英語コミュニケーション	Academic Skills in English 4	2	文構のみ ※	2 単位以上 必修
		Academic Skills in English 5	2	文構のみ ※	
		Academic Skills (Integrated) s	2		
		Academic Skills (Integrated) f	2		
4 類	異文化理解	英米比較文化論 1	2		2 単位以上 必修
		英米比較文化論 2	2		
		イギリス民衆文化論	2		選択
		英語圏文化概論 1	2		
計					20単位以上

※ Academic Skills in English 4・5は、文化構想学部でJCulP(JS)の学生のみ履修可能です。

■フランス語（中学校教諭1種免許状、高等学校教諭1種免許状）※文学部のみ

免許法施行規則に 定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	フランス語学	フランス語学概論	2		4 単位以上 必修
		フランス語史	2		
		フランス語フランス文学演習 9（フランス語学 1）	2	奇数年開講	
		フランス語フランス文学演習 1 0（フランス語学 3）	2	偶数年開講	
		フランス語フランス文学演習 1 4（フランス語学 2）	2	奇数年開講	
		フランス語フランス文学演習 1 5（フランス語学 4）	2	偶数年開講	
2 類	フランス文学	フランス文学史 1	2		8 単位以上 必修
		フランス中世・ルネサンス文学	2		
		フランス詩	2		
		フランス小説	2		
		フランス語フランス文学演習 5（フランス文学 2）	2		
		フランス語フランス文学演習 7（フランス文学 3）	2		
		フランス語フランス文学演習 8（フランス文学 5）	2		
		フランス語フランス文学演習 1 2（フランス文学 4）	2		
		フランス語フランス文学演習 1 3（フランス文学 6）	2		
3 類	フランス語コミュニ ケーション	フランス語で表現する 4（作文中級）	2		4 単位以上 必修
		フランス語で表現する 5（会話・作文総合）	2		
		フランス語で表現する 9（作文中級）	2		
		フランス語で表現する 1 0（会話・作文総合）	2		
4 類	異文化理解	フランス語フランス文学演習 3（フランス文化 1）	2		4 単位以上 必修
		フランス語フランス文学演習 6（フランス文化 2）	2		
		フランス語フランス文学演習 1 1（フランス文化 3）	2		
		フランス語フランス文学演習 1 6（フランス文化 4）	2		
計					20単位以上

■ドイツ語（中学校教諭1種免許状、高等学校教諭1種免許状）※文学部のみ

免許法施行規則 に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	ドイツ語学	ドイツ言語文化論	2		必修
		ドイツ語ドイツ文学演習 3（ドイツの言語）	2		必修
		ドイツ語ドイツ文学演習 6（ドイツの言語）	2		必修
2 類	ドイツ文学	ドイツ文学概論 1	2		必修
		ドイツ文学概論 2	2		必修
		ドイツ語圏の文学	2		必修
		ドイツ語ドイツ文学演習 2（ドイツの文学）	2		必修
		ドイツ語ドイツ文学演習 5（ドイツの文学）	2		必修
3 類	ドイツ語コミュニ ケーション	ドイツ語で表現する 1 1（上級の会話・作文）	2	廃止	4 単位以上 必修
		ドイツ語で表現する 1 2（上級の会話・作文）	2	廃止	
		ドイツ語で表現する 5（中級の会話・作文）	2		
		ドイツ語で表現する 6（中級の会話・作文）	2		
		ドイツ語で表現する 7（中級の会話・作文）	2		
		ドイツ語で表現する 8（中級の会話・作文）	2		
		ドイツ語で表現する 9（中級の会話・作文）	2		
		ドイツ語で表現する 1 0（中級の会話・作文）	2		
4 類	異文化理解	ドイツ文化特論	2	偶数年開講	4 単位以上 必修
		ウィーン文化論	2		
		ドイツ比較文化論	2		
		ドイツ語ドイツ文学演習 8（ドイツ事情）	2		
計					24単位以上

■ロシア語(中学校教諭1種免許状、高等学校教諭1種免許状)※文学部のみ

免許法施行規則に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	ロシア語学	ロシア語ロシア文学演習 2（語学）	2		4単位以上 必修
		ロシア語学	2		
		ロシア語史	2		
2 類	ロシア文学	ロシア語ロシア文学演習 1（文学・芸術・社会I）	2		10単位以上 必修
		ロシア語ロシア文学演習 3（文学・芸術・社会II）	2		
		ロシア語ロシア文学演習 6（ロシア詩論）	2		
		ロシア語ロシア文学演習 7（文学・文化理論）	2		
		ロシア語ロシア文学演習 8（現代ロシアの芸術・文化）	2		
		ロシア中世文学	2		
		ロシア現代文学	2		
3 類	ロシア語コミュニケーション	ロシア語で表現する 1（作文・エレメンタリー）	2		4 単位以上 必修
		ロシア語で表現する 2（会話・エレメンタリー）	2		
		ロシア語で表現する 4（作文・ステップアップ）	2		
		ロシア語で表現する 5（会話・ステップアップ）	2		
		ロシア語力を磨く 2（上級会話）	2		
		ロシア語力を磨く 4（上級会話）	2		
4 類	異文化理解	日露比較文化 1	2		必修
		日露比較文化 2	2		必修
計					22単位以上

■中国語(中学校教諭1種免許状、高等学校教諭1種免許状)※文学部のみ

免許法施行規則に定める科目		科目名	単位数	備考	履修方法
1 類	中国語学	中国語学史 1	2	偶数年開講	必修
		中国語学史 2	2	奇数年開講	必修
		中国語中国文学演習 2 (中国語文法)	2		4 単位以上 必修
		中国語中国文学演習 5 (中国語音韻論)	2		
		中国語中国文学演習 8 (中国語教育法)	2		
		中国語中国文学演習 1 1 (中国語文法)	2		
		中国語中国文学演習 1 3 (中国語音韻論)	2		
		中国語中国文学演習 1 4 (中国語教育法)	2		
2 類	中国文学	中国近現代文学史 1 (作品で読む中国20世紀文学)	2		必修
		中国近現代文学史 2 (作品で読む中国20世紀・21世紀文学)	2		必修
		中国語中国文学演習 1 (古代文学)	2		4 単位以上 必修
		中国語中国文学演習 3 (近現代文学)	2		
		中国語中国文学演習 4 (近世文学)	2		
		中国語中国文学演習 6 (近現代文学)	2		
		中国語中国文学演習 9 (近現代文学)	2		
		中国語中国文学演習 1 0 (近世文学)	2		
3 類	中国語コミュニケーション	中国語会話 (中級)	2		4 単位以上 必修
		中国語会話 (中上級)	2		
		中国語作文 (中級)	2		4 単位以上 必修
		中国語作文 (中上級)	2		
		中国語作文 (上級) -エッセイを書く	2		
		中国語作文 (上級) -ビジネス文を書く	2		
4 類	異文化理解	中国比較文化論 1 (中国民族文化の諸相(南部編))	2		必修
		中国比較文化論 2	2		必修

※「中国語学史 1」と「中国語学史 2」は必修かつ隔年開講の必修科目で、**科目登録できるタイミングが限られるので注意してください。**詳しくは「付録 3」の(51)ページを必ず確認してください。

付録4

その他資格 ※文化構想学部・文学部共通

1. 図書館司書・学校図書館司書教諭・博物館学芸員・社会教育主事

詳細は教育学部発行『教職課程履修の手引き』を参照してください。

2. 社会福祉主事

社会福祉主事取得要件は以下のとおりです。空欄の場合、該当する科目はありません。

社会福祉に関する科目 法令上の科目名	科目設置 箇所	科目名	単位数	備考 ※2	履修方法
社会福祉概論	文構・文	社会福祉原論	4	廃止	法令上の科目名において3科目以上選択必修 (次ページあり)
	文構・文	現代社会と福祉 1 ※1	2	廃止	
	文構・文	現代社会と福祉 2 ※1	2	廃止	
社会福祉事業史					
社会福祉援助技術論	文構・文	社会福祉援助技術総論	4	廃止	
	文構・文	ソーシャルワーク論 1 ※1	2	廃止	
	文構・文	ソーシャルワーク論 2 ※1	2	廃止	
	文構・文	ソーシャルワーク論 3 ※1	2	廃止	
	文構・文	ソーシャルワーク論 4 ※1	2	廃止	
	文構・文	ソーシャルワーク概論	2		
社会福祉調査論	文構・文	社会調査法 1 ※1	2		
	文構・文	社会調査法 2 ※1	2		
社会福祉施設経営論	文構・文	福祉サービスの組織と経営	2	廃止	
社会福祉行政論					
社会保障論	文構・文	社会保障論	4	廃止	
	文構・文	社会保障 1 ※1	2	廃止	
	文構・文	社会保障 2 ※1	2	廃止	
公的扶助論	文構・文	公的扶助論	2	廃止	
児童福祉論	文構・文	児童福祉論	2	廃止	
	文構・文	児童家庭福祉論	2	廃止	
家庭福祉論					
保育理論					
身体障害者福祉論	文構・文	障害者福祉論	2	廃止	
知的障害者福祉論					
精神障害者保健福祉論	文構・文	精神医学	2	廃止	
老人福祉論	文構・文	老人福祉論	4	廃止	
	文構・文	高齢者福祉論 1 ※1	2	廃止	
	文構・文	高齢者福祉論 2 ※1	2	廃止	
医療社会事業論					
地域福祉論	文構・文	地域福祉論	4	廃止	
	文構・文	地域福祉論 1 ※1	2	廃止	
	文構・文	地域福祉論 2 ※1	2	廃止	
	文構・文	コミュニティ福祉論	2	廃止	
法学	文構・文	法律学（2007年度以降）	4	廃止	
	文構・文	法学原論	2		
民法					
行政法					
経済学	文構・文	経済学原論	2		
社会政策					
経済政策					
心理学	文構・文	心理学	4	廃止	
	文構・文	心理学概論 1 ※1	2		
	文構・文	心理学概論 2 ※1	2		

付録 4 その他資格 ※文化構想学部・文学部共通

社会福祉に関する科目 法令上の科目名	科目設置 箇所	科目名	単位数	備考	履修方法
社会学	文構・文	社会学 1 ※1	2	廃止	法令上の科目名において3科目以上選択必修（続き）
	文構・文	社会学 2 ※1	2	廃止	
	文構・文	社会学理論と社会システム	2	廃止	
	文構・文	社会学概論 1 ※1	2		
	文構・文	社会学概論 2 ※1	2		
教育学	文構・文	教育学概論 1 ※1 ※3	2		
	文構・文	教育学概論 2 ※1 ※3	2	廃止	
倫理学	文構・文	倫理学 1 ※1	2		
	文構・文	倫理学 2 ※1	2		
公衆衛生学					
医学一般	文構・文	医学一般 ※4	4	廃止	
	文構・文	人体の構造と機能及び疾病	2		
リハビリテーション論	文構・文	リハビリテーション論	2	廃止	
看護学					
介護概論	文構・文	介護概論	2	廃止	
栄養学					
家政学					

【注意事項】

- ※1 「現代社会と福祉 1」と「現代社会と福祉 2」、「社会調査法 1」と「社会調査法 2」、「社会保障 1」と「社会保障 2」、「高齢者福祉論 1」と「高齢者福祉論 2」、「地域福祉論 1」と「地域福祉論 2」、「心理学概論 1」と「心理学概論 2」、「社会学 1」と「社会学 2」、「社会学概論 1」と「社会学概論 2」、「教育学概論 1」と「教育学概論 2」、「倫理学 1」と「倫理学 2」は 1、2 の両方の単位を修得してください。
また、「ソーシャルワーク論」は 1、2、3、4 の全ての単位を修得してください。
1、2 両方（ソーシャルワーク論は 1～4 のすべて）の単位を修得しなければ、法令上の科目名を満たしたことはありません。
- ※2 廃止となった科目でも、すでに単位を修得している場合は、資格取得要件として有効です。
- ※3 「教育学概論 2」は 2018 年度をもって廃止となりました。そのため、「教育学概論 2」の単位を修得していない方は、「教育学概論 1」の単位を修得しても、法令上の科目名を満たすことができません。
- ※4 「医学一般（オンデマンド）」は対象科目ではありません。

3. 公認心理師（国家試験受験資格）

詳細は学部ホームページを参照してください。

